



報告事項

報告事項 1

協議会議長

池原 堅

一般社団法人日本ライオンズ執行理事会・理事会・社員総会 報告

- ① 2021～2022 年度第 6 回理事会議事録（2022/6/2 開催）…………… P5～9
- ② 2022～2023 年度第 1 回理事会議事録（2022/7/7 開催）…………… P10～12
- ③ 2022～2023 年度臨時社員総会（全国ガバナー会）（2022/7/7）…………… P13～18
- ④ 2022～2023 年度第 1 回執行理事会次第（2022/7/19 開催）…………… P19～21
- ⑤ 2022～2023 年度第 2 回臨時執行理事会議事録（2022/7/26 開催）…………… P22～24
- ⑥ 2021～2022 年度会計報告…………… P25～37
- ⑦ 2021～2022 年度会議開催実績…………… P38～39
- ⑧ 定款（2022/6/2 第 6 回理事会にて第 5.6.7 条を改定）…………… P40～54
- ⑨ 社員・理事・監事選任規定（2022/6/2 第 6 回理事会にて第 5.6.7 条を改定）…………… P55～56
- ⑩ 2022～2023 年度組織図案…………… P57
- ⑪ 2022～2023 年度理事会内担当事案…………… P58
- ⑫ 2022～2023 年度収支予算案…………… P59
- ⑬ 2022～2023 年度執行理事会・理事会・社員総会日程表案…………… P60
※第 7 回執行理事会（2023/1/20）福山市にて開催決定
- ⑭ 2022～2023 年度社員総会日程表案…………… P61
- ⑮ 2022～2023 年度事業計画案…………… P62
- ⑯ 薬物乱用防止教育認定講師要請認定講座…………… P63～64

報告事項 2

一財）日本ライオンズ理事

福永 栄一

一財）日本ライオンズ主催第 1 回全国特別支援学校フットサル大会について

- ・全国大会：2022 年 11 月 4 日（土）・5 日（日）
- ・中国地区大会：2022 年 8 月 28 日（日）
- ・四国地区大会：2022 年 7 月 10 日（日）開催済み報告
- 大会規約と意義…………… P65～66
- 四国大会概要…………… P67～69
- 中国大会概要…………… P70

報告事項 3

第 8 回スペシャルオリンピックス夏季ナショナルゲーム・広島大会副会長

一社）日本ライオンズ SON 委員会担当事務

福永 栄一

SON 広島大会について

※本日までの進捗状況報告

- ・2021 年 10 月 1 日に **SON MD336 口座**と **SON LCIF 専用口座**を福永元議長名義で開設
- ・2022 年 7 月 1 日に**両口座名義を福永元議長 ⇒ 池原議長 へ変更**
- ・2022 年 7 月 15 日付けで LCIF 専用口座(LCIF30 万ドル交付金口座)を **MD334 管理へ変更**

[SON LCIF 専用口座]

口座名義：ライオンズクラブ国際協会 MD336 LCIF 議長 池原 堅

銀行名：中国銀行

支店名：大供（だいく）支店

口座番号：（普）2541821

⇒

口座名義：ライオンズクラブ SON 支援事業資金

銀行名：みずほ銀行

支店名：名古屋駅前支店

口座番号：（普）3082793

交付金管理責任者：MD334 山本 基博 事業委員長：福永 栄一	
MD336 SON LCIF 専用口座開設のご案内（2021/10/1 付け）	P71
MD334 SON LCIF 専用口座管理情報と関連資料（2022/7/15 付け）	P72～76
一社）日本ライオンズへの会計報告	P77～81

報告事項 4

GMT コーディネーター・GMA 世話人	真鍋 隆
----------------------	------

GMT 報告書（2022 年 6 月末現在）	P82
国際本部集計 クラブ数・会員数（2022 年 7 月末現在）	P83
2022-2023 年度全日本 GAT 体制表	P84
【8MD】第 1 回 GMT 会議議事録（2022/7/20 開催）	P85～89
【MD336】第 1 回 GMA 会議次第（2022/8/2 開催）	P90

報告事項 5

GLT コーディネーター	三島 英揮
--------------	-------

今年度予定されている各研究会・研修プログラム・セミナーについて

- ELLI：EMERGING LIONS LEADERSHIP INSTITUTE**
 （初級ライオンズ・リーダーシップ研究会）
 開催未定
 補助金 複合地区上限 4,500 ドル 準地区上限 1,800 ドル
- RLLI：REGIONAL LIONS LEADERSHIP INSTITUTE**
 （地方ライオンズ・リーダーシップ研究会）
複合地区レベルで開催予定
 補助金 複合地区上限 4,500 ドル 準地区上限 1,800 ドル
- ALLI：ADVANCED LIONS LEADERSHIP INSTITUTE**
 （上級ライオンズ・リーダーシップ研究会）
 開催日程：2023 年 3 月 24 日～26 日
 開催地：タイ・バンコク
 受講料：125 ドル
 申込締切：2022 年 12 月 24 日
- FDI：FACULTY DEVELOPMENT INSTITUTE**
 （講師育成研究会）
 開催日程：2023 年 4 月 28 日～30 日 ※HP 未掲載（8/1 時点）
 開催地：シンガポール
 申込締切：2023 年 1 月 28 日
- LCIP：LIONS CERTIFIED INSTRUCTOR PROGRAM**
 （ライオンズ公認講師プログラム）
 開催日程：2023 年 2 月 24 日～27 日 ※HP 未掲載（8/1 時点）
 開催地：シンガポール
 申込締切：2022 年 11 月 26 日
- 2022～2023 年度 FVDG/DGE セミナー**
 （第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト）セミナー
 研修 1 日目～3 日目 2023 年 2 月 7 日～9 日 米国イリノイ州セントチャーチル
 研修 4 日目 2023 年 7 月 7 日 マサチューセッツ州ボストン
 ※詳細は国際協会 HP 参照
- 2022～2023 年度 336 複合地区第一副地区・第二副地区ガバナー研修会**
開催予定
 例年濱野 GLT エリアリーダー（FVDG/DGE セミナー担当）に講師を依頼し 10 月に開催
 複合地区及び地区補助金プログラム利用
 補助金申請 9/30 までに複合事務局にて処理
 ※出席が確認された第一副地区ガバナー 1 人当たり 100 ドル

※出席が確認された第二副地区ガバナー1人当たり 75 ドル

【8MD】第1回会議議事録（2022/7/19 開催 REAL）……………P91～95

報告事項 6

GST コーディネーター

澤 辰水

「思いやりは大切なこと」奉仕アワード地区推薦について

7月27日（水）複合事務局より関係各位とキャビネット事務局宛で案内済み

9月15日（木）までに準地区 GST コーディネーター推薦書を複合事務局へ提出（件数制限なし）

10月27日（木）第2回ガバナー協議会にて協議の上、国際協会への推薦1件を選定

10月31日（月）複合事務局から国際本部へ提出

国際協会からのお願い……………P96

アワードに関する規則と推薦書フォーマット……………P97～102

【8MD】第1回会議（2022/7/20 開催）……………資料未配信

報告事項 7

SCP・FWT コーディネーター

鵜飼 恵美

【8MD】第1回会議議事録（2022/7/8 開催）……………P103～107

【8MD】第2回会議議事録（2022/7/19 開催）……………P108～112

【MD336】第1回会議次第（2022/7/28 開催）……………P113

「スペシャルティクラブ」の略称について……………P114

報告事項 8

一社）日本ライオンズ監事・336 複合地区会則委員長

岡村 聖爾

ライオンズ必携第60版発行について

発行割り当て数とスケジュールについて……………P115～116

報告事項 9

一社）日本ライオンズ国際大会委員会委員長

福代 明正

第59回 OSEAL フォーラム

開催日程：2022年11月24日（木）～27日（日）※予定

開催地：済州島

第59回 OSEAL フォーラム ステアリング委員会 ⇒公式の委員会は中止（8/8 通達）

開催日程：2022年8月23日（火）～24日（水）

開催地：済州島

OSEAL 調整事務局配信文書（8/8 配信）……………P117

国際会則：フォーラムについて……………P118～120

第105回国際大会

開催日程：2023年7月7日（金）～11日（火）※予定

開催地：米国マサチューセッツ州ボストン

第106回国際大会

開催日程：2024年6月21日（金）～25日（火）※予定

開催地：オーストラリア・メルボルン

報告事項 10

一社）日本ライオンズ ライオン誌日本語版委員会委員長

玉浦 巖

第1回新旧合同会議報告書（2022/7/14 開催）……………P121～123

報告事項 11

YCE・国際関係・レオ委員会委員長

高橋 淳

2021～2022 年度の YCE は派遣、受け入れとも中止でした。そんな状況の中で 336A 地区、336D 地区は工夫を凝らした活動をされました。

2022 年 7 月 7 日、複合地区ガバナー協議会事務局において、新旧委員会をハイブリッド形式で開催しました。

2022 年冬の YCE 事業は、7 月からの日本レベル YCE 委員会の決定によりますが、前年度の同委員会には中止をアドバイスしたことを報告しました。

2023 年夏はまだ何も決定していませんが、開催できることを前提に準備を進めていくこととしました。しかしながら、モントリオール国際大会における日本のライオンズメンバーの感染状況を考えると、もし開催できたとしてもキャンプは実施すべきではないと考えます。

【一社日本 L】第 6 回会議議事録（2022/6/13 開催） P128～132

【MD336】第 1 回会議議事録（2022/7/7 開催） P133～135

報告事項 12

一社）日本ライオンズ国際理事候補者推薦委員会委員

酒井 公一

立候補者 城阪勝喜 335-3R1Z 大阪港 LC

2022 年 8 月 4 日第一回国際理事推薦委員会が開かれ、城阪勝喜 L より立候補届があり立候補必要書類を審議した結果、城阪勝喜 L を満場一致にて推薦を致しました。

報告事項 13

アラート委員会委員長

高岡 英治

【一社日本 L】第 1 回アラート準備会議事録（2022/8/5 開催） P136～138

【MD336】第 1 回アラート委員会次第（2022/8/17 開催） P139

その他報告事項

一般社団法人日本ライオンズ 第6回理事会議事要録

開催日時: 2022 年 6 月 2 日 (水) 13:30～16:00

場所: フクラシア八重洲

1. 開会宣言

村木専務理事

2. 理事長の挨拶

来期からは、2年理事に委員長をお願いし、1年理事には副委員長に入って頂くように変更を図る

ライオン誌のデジタル化、2023年3月事務所移転に伴い効率の良い事務所作り等の話があった

3. 本日の出席者確認

理事長 仁科良三

副理事長 山川洋、古川隆、松岡勲

専務理事 村木秀之

常務理事 鶴嶋浩二、下間俊悦、山本基博、三宮秀介、福永栄一

理 事 森川明治郎（欠席）、中谷宜巨、伊藤明彦(欠席)、石橋貞、岡村聖爾(欠席)、森口孝行（欠席）、川島正行、渡部雅文、藏大介、永田賢司、山田實紘（欠席）、鈴木誓男

監 事 竹下直義（欠席）、高橋克文、福田恵太、吉見章一（欠席）

理事総数22 名の内17名出席、監事総数4名の内2名出席、理事会の定足数充足

オブザーバー3名の出席

池田和司法律顧問、吉田宗一郎会計顧問、菅原雅雄事務総長

4. 議事録作成人及び議事録署名人の指名

議事録作成人 鶴嶋浩二常務理事、福永栄一常務理事

議事録署名人 理事長、本日出席の全監事

5.協議事項

松岡副理事長より議案説明

① 一般社団法人日本ライオンズ定款の変更

a.b.

(1)山田元国際会長を名誉理事長に就任頂く

(2) GAT 日本全域リーダー関係の7名を参与

(3)一般財団日本ライオンズ並びに日本ライオンズ大学校より社団からの要請として1名の理事の要請

(4)各委員会の構成について、今期までは、1年目の常務理事に各委員会、委員長として担当1年目理事については、常務理事としてお入り頂くが、8委員会の副委員長として活動頂く

(5)組織について、SONの委員会に関しては、本年11月実施の為、新たに日本ライオンズ70周年記念事業委員会を立ち上げる

MD330村木議長、MD337古川議長に就任頂く

(6)LQ,薬物乱用防止については、MD336 福永議長にご就任頂く

(7)その他の委員会については、今年度委員長を務めた各議長に再度就任頂く

(8)新たに就任頂く8議長に関しては、予定者ということで案としていれてある

担当員会については、財務はMD333松本議長予定者が希望、他については推薦、取り纏め頂き、報告頂く

(9)VISION2025 については、必要に応じて委員会を開催する

城阪元アポインティに引き続き担当頂く

(10)外部折衝全般、他団体との包括交渉前理事長という立場で仁科理事長に担当頂く

c.次年度組織図案

(1) 村木現専務理事が来期理事長として推薦を受けている

副理事長3名2022-2023議長MD332田名部L、2021-2022議長MD333山川L、MD337古川Lが推薦を受けている

(2) 専務理事として2021-2022議長MD334山本L に推薦がでている

(3) 8複合地区のうち残る7複合地区議長においては、常務理事として信任頂くように考慮頂いている

上記内容推薦することで、承認を得た

②第4回社員総会時間割について

6月15日（水）

13：30～16：00

AP日本橋

③第4回総会審議事項について

7月7日（木）臨時社員総会

7月中旬までに監査終了とする→7/22（金）

7月末から8月に総会を開催するという事で承認を得た

④シーハン次期国際会長公式訪問及び晩餐会、ガバナー懇談会について

7月19日（火）PM公式訪問登録料16,000円

7月20日（水）10：00～13：00ガバナーとの懇談会

16日（土）～21日（木）までオールジャパンライオンは、ウェルカムで迎えることに賛同を得た

⑤日本ライオンズ70周年記念事業実施について

実施については、賛同済み、次年度でしっかりアクティビティについて検討することに賛同を得た

⑥次年度社員総会の開催について

7月7日（木）人事面での臨時社員総会とする

6. 報告事項

①モントリオール国際大会への参加について

国際大会委員長鶴嶋常務理事、川島理事より報告があった

参加人数については、238名前後

パレードコンテストに参加する

6月6日、9日OSEALによるウェビナーがある（2回）のでご覧頂きたい

プラカード、国旗等を持つ方の要請がきているので、6月のウェビナーが終了次第国際大会委員会を開催したい。

必要な書類等について、参加者にメールを流して問題なく参加頂けるようにしたい

大会に参加しなければ、議決権はなし。

長澤国際理事候補者への投票にご協力頂きたい。

鶴嶋常務理事より、ガバナーエレクトが国際大会に参加をし、宣誓書類にサインをしなくてもガバナーになれるのか。それで良いのかと多数質問が来て困っているので皆さんに聞いてみたい。ただ、私が参加した4月8日名古屋でのGMA会議時時に山田元国際会長へその旨を確認したところ、国際大会に参加し、ガバナー宣誓式に出席しないガバナーエレクトは、暫定地区の扱い。然るに、1250名以下の地区と同じ扱いとなる。どこかの会則の方が日本の会則上行かなくてもガバナーになれるとおっしゃったらしいが、私の方ではお答えしかねるので、本日の議事録に乗せてしっかり発信して欲しいと、国際大会委員会に関連

し報告があった

②会則委員会

三宮会則委員長より報告があった。

今年度の各複合地区で改正項目を読み上げて頂いた。

必携に各複合地区は独立した項目と・・・・・・2016年7月一般社団法人日本ライオンズを設立し日本のライオンズ共通な事項について必要な各種会議を用い進歩向上を図りつつあるという文言を入れたいと思っている

不老元国際理事よりリジョン・ソーンの編成については地区ガバナーの裁量により、自由に変更することができるというのは今の方針と違うと指摘があったが、標準地区付則会則第5条4項（a）の項目に地区キャビネットの承認ありが入っている。かつクラブ・地区国際協会にとって最善である場合に地区ガバナーは、リジョン・ソーンを変更できるとあり、自由裁量により変更できるということではないので、これを会則の文言に改める

去年改訂された会則を追加する

20日に会則委員会で最終の確認をする。

10月ころには手元に届くようにしたい

③SON広島大会

福永委員長より報告があった

各地区からの協賛金について19,373,797円の入金を頂いている

現在MD336で募金をおこなっており、この金額が6月末に戻ってくるので2,000万円は超えるものと思われる。

Tシャツ、ピンのキット販売、1万円で引き続き現在も行っているのもので、感謝するとともにご協力をお願いしたい。

レガシーランナーの募集をMD335に依頼しているが、延長し募集しているので、MD330の方へ協力要請をしている。

④アラート委員会

山川委員長より報告があった

2022.3.16福島沖で震度6強の地震があり、相馬地域では3.11より、建物内部に被害があった。瓦が落ちるなど、17日の夜から雨予報であり、緊急的にご支援が頂きたいと橋本ライオンを通じ332D地区の地区ガバナー、第一副地区ガバナーより要請があった。経験上、私の判断で対応指示をだし、その日の夜19時には一部であるが、第1陣がブルーシート、土嚢袋、ロープを奉仕させて頂いた。第2陣として22日に相馬市へ寄付をした。迅速な対応に感謝され、アラートとして成果をあげることができたが、指示系統がうまくできなかった。

マニュアルは出来てはいたが、素案であった為、決定されておらず結果として指示系統等うまく機能できていなかった。今回の災害レベルは2で1つの準地区若しくは1つの複合地区レベルでの対応であった。マニュアルをきちんとまとめあげ、来期に対応していきたい。
※アラート委員会の今回の件は、仁科理事長もグループラインに入っており、承知していた。日本ライオンズアラート委員会緊急支援金会計より120万円拠出したいが賛同頂けるか。
→賛同

⑤ウクライナ支援について

⑥LCIF

ウクライナ支援について世界で4月末の時点で合計約500万ドル、日本は3番目と鈴木理事より報告があった。

今後の日程の確認。6月15日（水）全国ガバナー会

以上

2022（令和4）年6月2日

議事録署名人

代表理事

仁科良三

監事

高橋克文

監事

福田恵太

2022-23 年度

一般社団法人日本ライオンズ 第1回理事会議事録

開催日時 : 2022 年 7 月 7 日(木) 14:00—14:20

場 所 : フクラシア八重洲 会議室 A (東京・八重洲)

理事総数 : 23 名

監事総数 : 4 名

出席者数 : 22 名 欠席 1 名

吉本晴夫、須藤敏幸(WEB)、田名部智之、松本宰史(WEB)、増澤義治(WEB)、吉村弘吉、池原 堅(WEB)、玉川 孝、村木秀之、鶴嶋浩二、下間俊悦、山川 洋、山本基博、三宮秀介、福永栄一、古川 隆、仁科良三、藏 大介(WEB)、永田賢司(欠席)、長澤千鶴子(WEB)、鈴木誓夫(WEB)、不老安正(WEB)、城阪勝喜(WEB)

出席監事 : 今井文彦、石岡憲義、橋本勝策、岡村聖爾(WEB)

14:00 村木秀之専務理事の進行により開会

1. 議長選出

参加者の同意を得たので、仁科良三理事を仮議長に指名

2. 議案審議

第1号議案 新理事長並ぶに執行理事の選任

2022~2023 年度執行理事名簿(案)について、2021~2023 年度村木秀之専務理事から説明。執行部案として 2021~2022 年度 MD330 議長村木秀之を 2022~2023 年度理事長として推薦する。

仁科良三議長から他に 2022~2023 年度理事長に立候補する人の有無を確認した。参加者からの立候補がないことを確認の上、2022~2023 年度理事長を 2021~2022 年度 MD330 議長村木秀之とする案にて賛否をとり、全員賛成にて 2022~2023 年度理事長に 2021~2022 年度 MD330 議長村木秀之とすることが決定した。

仁科良三議長から副理事長 3 名と専務理事、常務理事 7 名の承認を求め、全員賛成にて第一号議案をすべて可決した。

村木秀之新理事長から就任のあいさつ

2021~2022 年度 MD330 議長の村木秀之です。よろしくお願いいたします。

昨年度は専務理事として一般社団法人日本ライオンズ(以降社団とする)の有り方、組織の進め方を学ばせていただきました。今年度は理事長として昨年度の方針等を継続していく所存です。2016 年社団が設立して以降、山田實廣 PIP、鈴木誓夫 LCIF 理事を初めとする歴代の国際理事、GAT をはじめとする国際役員の皆さん、社団の理事等の役職を

担っていただいた皆さんに対し、厚くお礼を申し上げます。

今年度の執行理事に就任された副理事長、専務理事、常務理事の皆さんの協力をいただき、法人業務を全うしていく所存です。

社団法人格を持つ日本ライオンズはブランディングをさらに進め、会員増強の実現と寄付を集めること等により、様々な活動ができる団体にしていく所存です。理事の皆さんの協力をお願いし、就任の挨拶とします。

ここからは第1号議案にて承認されました、MD334 山本基博が進行を務める。

第2号議案以降の説明を村木秀之理事長にお願いする。

第2号議案 名誉理事長の選任

既に前年度理事会で承認いただいた内容につき、古川隆副理事長から報告する。

山田實廣元国際会長には名誉理事長として、これまでの貴重な経験から、日本ライオンズの象徴的存在として、今後は社団に対して様々な観点からご教示いただくことをお願いしたい。名誉理事長は理事としての決議権はなく、任期は2年とし、再任を妨げないこととする

第3号議案 事業計画(案)について

村木秀之理事長から以下の通り説明

前年度からの継続審議となっている「70周年記念事業」について、8月9日の第一回社員総会にむけて執行理事会、理事会が開催されるので、ご検討いただく。

再開発計画に伴う事務局の移転に関して、日本ライオンズビジョン2025委員会 城阪勝喜委員長を中心にして、日々刻々と状況が変化している中で、早急に移転先を確定する必要がある、今年度の事業計画に含める。随時報告を重ねながら進めていく。

第4号議案 新年度第一回定時社員総会の開催について

山本基博専務理事から説明

第一回社員総会は2022年8月9日(火)に開催する。

村木秀之理事長

開催方法についてはコロナ感染症の状況を確認して、対面・リモート・ハイブリットいずれの方法で開催するか、理事長に一任願いたい。賛成多数で承認。

14:20 山川 洋副理事長により閉会宣言

2022 年 7 月 7 日

議事録署名人

代表理事 村木秀之 【押印省略】

監事 今井文彦 【押印省略】

監事 石岡憲義 【押印省略】

監事 橋本勝策 【押印省略】

監事 岡村聖爾 【押印省略】

日時：令和4年7月7日（木曜日）13時30分

場所：フクラシア八重洲A会議室・ZOOM（ハイブリッド開催）

参加者：別紙の通り

議事録作成人：MD331 理事 鶴嶋浩二・MD337 副理事長 古川隆

議事録署名人：331-B 地区ガバナー 阿部 昭・337-E 地区ガバナー 高田 啓世

定足数の確認：社員総数 62 名。

本日の出席者 52 名、欠席 10 名、（うち議決権行使 9 名）で計 62 名となり、定款第 17 条により総正社員過半数の出席をもって本社員総会は成立、定款第 18 条により決議は出席総正社員の過半数をもって決することとする。

村木専務理事

臨時社員総会を開催します。

今回は、ハイブリッド形成にて開催です。着座のまま行います。

参加者リストをご覧ください。

MD335 吉本議長遅れて参加されます。

正社員数 62 名リアル参加 23 名 ウェブ参加 29 名 議決権行使書提出者 9 名 合計 61 名です。

正社員過半数が出席のため成立しております。

仁科理事長

私の役目は、世界につながる団体である。子供達に対して優しさと強さを伝えていく役割がある。LCIF と共に財団、ライオンズ大学校を交えて強い日本ライオンズを作り上げていきたい。

社会に認めてもらえるライオンズ。社団にも夢があり社会のリーダーとして行きたいと思っております。

村木専務理事

本日の議長は仁科理事長にお願いいたします。

本日の議事の内容は、1 部から 3 部の構成となっております。

議事録署名人は 331-B 地区阿部ガバナー、337-E 地区高田ガバナー、

議事録作成人は鶴嶋常務理事、古川副理事長にお願いいたします。

議事運営ルールの説明。

■ 第 1 部

○第一号議案：新入社員承認の件

仁科理事長

一号議案をお願いいたします。

古川副理事長

第一号議案社員退会承認の件。定款 26 条により理事の任期は選後 1 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。また、監事の任期は選後 2 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

定款により監事 4 名の任期は 2 年で、新年度は新たな 4 名の監事が交代となりますが、前年度決算業務処理等の監査がありますので、2020～22 年度の監事 4 名は 8/9 開催予定の第一回定時社員総会の終了時をもって新旧監事交代をして頂きます。

仁科理事長

質問はございますか？

なければ、決議を行います。賛成できない棄権の方は挙手ください。

→満場一致で可決。

○第二号議案：新理事・新監事の選任

村木専務理事

新理事新監事の構成員の件ですが、ご覧の通り新理事 23 名新監事 4 名 計 27 名です。

質問はございますか？

なければ、決議を行います。賛成できない棄権の方は挙手ください。

→満場一致で可決。

■ 第 2 部 14：00-

新年度理事会

第一回理事会議事録を別途参照。

■ 総会再開

村木新理事長

1 号議案は 2022-23 年度執行理事の説明。黄色い紙の通りの役員が決まりました。一般社団法人日本ライオンズがこの構成員でスタートします。

この皆様と共に運営して参ります。また、日本ライオンズのブランディングをはかっていきたいと思ひます。

新年度理事会第 1 号議案～4 号議案の説明。（第一回理事会議事録を別途参照。）

以降、議長は村木秀之新理事長となり、山本基博新専務理事の司会で進行。

■ 第 3 部 14：30-

報告事項

会則委員会委員長

三宮秀介理事

・必携第 60 版の件

7 月 8 日には発注します。過去の発行部数を加味して 65,000 部の発行をします。追加があ

った場合には再発注します。

下間俊悦理事

・70周年事業について

執行理事会で承認、理事会で承認だけではなく、議長、ガバナーからも意見を出してもらい皆さんにて協議の上決定してください。

閉会：

山川洋副理事長

議事録作成人

MD331 鶴嶋浩二理事

MD337 古川隆副理事長

2022年7月7日

議事録署名人

議長・代表理事

村 木 秀 之【押印省略】

331-B 地区ガバナー

阿 部 昭【押印省略】

337-E 地区ガバナー

高 田 啓 世【押印省略】

2022年7月7日(木) 13:30-16:00

フクラシア八重洲 A会議室+ZOOM

出席者リスト【2022/07/07 10:00 現在】

2022-23 年度正社員【地区ガバナー】

330-A 地区ガバナー 増田 正明 WEB
330-B 地区ガバナー 中澤 一浩【欠席】○
330-C 地区ガバナー 沼田 浩正【欠席】○
331-A 地区ガバナー 松浦 淳一 WEB
331-B 地区ガバナー 阿部 昭
331-C 地区ガバナー 馬場 哲也 WEB
332-A 地区ガバナー 岡田 殉
332-B 地区ガバナー 栗村 安弘 WEB
332-C 地区ガバナー 遠藤 誠 WEB
332-D 地区ガバナー 石澤 孝【欠席】○
332-E 地区ガバナー 吾妻 正章 WEB
332-F 地区ガバナー 松井 寛信 WEB
333-A 地区ガバナー 石川 幸夫【欠席】○
333-B 地区ガバナー 三枝 久夫 WEB
333-C 地区ガバナー 高橋 順之 WEB
333-D 地区ガバナー 大関 健一【欠席】○
333-E 地区ガバナー 渡辺 博 WEB
334-A 地区ガバナー 岩田 有司【欠席】○
334-B 地区ガバナー 宇納 一 WEB
334-C 地区ガバナー 太田 厚利
334-D 地区ガバナー 戸祭 宏樹 WEB
334-E 地区ガバナー 滝澤 文雄【欠席】○
335-A 地区ガバナー 浜原 正豊 WEB
335-B 地区ガバナー 津田 勝之 WEB
335-C 地区ガバナー 一盛 広樹 WEB
335-D 地区ガバナー 濱本 嘉代子 WEB
336-A 地区ガバナー 市村 通夫【欠席】○
336-B 地区ガバナー 西尾 慎一 WEB
336-C 地区ガバナー 弓場 秀俊 WEB
336-D 地区ガバナー 中島 繁【欠席】○
337-A 地区ガバナー 二場 安之
337-B 地区ガバナー 杉野 恭市 WEB
337-C 地区ガバナー 濱田 浩平
337-D 地区ガバナー 川田代 泰和 WEB
337-E 地区ガバナー 高田 啓世

※○は議決権行使

(2022-2023 年度)

2021-23 国際理事 藏 大介 WEB
2021-23 国際理事 永田 賢司【欠席】
2022-24 国際理事 長澤 千鶴子 WEB
2022-23 LCIF 理事 鈴木 誓男 WEB
一般財団法人日本ライオンズ理事長 不老 安正 WEB
日本ライオンズ大学校学長 城阪 勝喜 WEB
2021-22 一般社団法人日本ライオンズ理事長 仁科 良三

(2022-23 年度 協議会議長)

MD330 議長 吉本 晴夫
MD331 議長 須藤 敏幸 WEB
MD332 議長 田名部 智之
MD333 議長 松本 宰史 WEB
MD334 議長 増澤 義治 WEB
MD335 議長 吉村 弘吉
MD336 議長 池原 堅 WEB
MD337 議長 玉川 孝

(2021-22 年度 協議会議長)

MD330 議長 村木 秀之
MD331 議長 鶴嶋 浩二
MD332 議長 下間 俊悦
MD333 議長 山川 洋
MD334 議長 山本 基博
MD335 議長 三宮 秀介
MD336 議長 福永 栄一
MD337 議長 古川 隆

(2022-23 年度監事) 2年任期の1年目

MD330 元議長 今井 文彦
MD331 元議長 石岡 憲義
MD334 元議長 橋本 勝策
MD336 元議長 岡村 聖爾 WEB

正社員総数 62 名 (出席 52 名・欠席 10 名)

(2021-22 年度監事)

2020-22 監事 (MD332 元議長) 竹下 直義 WEB
2020-22 監事 (MD333 元議長) 高橋 克文
2020-22 監事 (MD335 元議長) 福田 恵太
2020-22 監事 (MD337 元議長) 吉見 章一 WEB

【正社員】 臨時全国ガバナー会出席者数 内訳：

【2022/07/07 10:00 現在】

	出席	欠席*	小計
D G	26	9	35
理事	22	1	23
監事	4	0	4
52(対面 23/WEB29) 10			62 (名)

議決権行使書

第 1 号議案	新社員入社承認の件	賛 9	否 0
第 2 号議案	新理事・新監事の選任	賛 9	否 0

オブザーバー

(名誉理事長)

2015-2016 国際会長

山 田 實 紘【欠席】

(参与)

2022-2023 年度 G A T 東日本副全域副リーダー/

元国際理事 川 島 正 行

2022-2023 年度 G A T 西日本副全域副リーダー

松 岡 勲 WEB

2022-2023 年度 G A T エリアリーダー

F W T 及び MD330/331 担当

小 川 晶 子 WEB

2022-2023 年度 G A T エリアリーダー

G L T 及び MD334/335 担当

濱 野 雅 司【欠席】

2022-2023 年度 G A T エリアリーダー

G S T 及び MD336/337 担当

識 名 安 信 WEB

2022-2023 年度 G A T メンター

田 中 敏 朗【欠席】

2020-21 ライオン誌日本語版委員会委員長

団 英 男 WEB

同 編集長

星 野 勝 美 WEB

OSEAL 調整事務局

マ ー ズ 佐 子【欠席】

法律顧問

池 田 和 司

会計顧問

吉 田 宗 一 郎

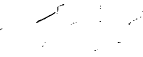
事務総長

菅 原 雅 雄

以上

第1回執行理事会

2022 年 7 月 19 日 (月) 11:00-13:00 (ウインクあいち)

1. 出席者確認、本日の資料確認進行について
2. 議事録作成人の指名:(2名) — 
3. 確認事項:

(1) 法人組織・各委員会について

① 法人組織図資料 1

② 各委員会と担当

a. 委員会の任務

b. 委員会の出席者:

- ・各委員会委員長(前議長)、副委員長(現議長)、各 MD 委員
- ・各委員会初回開催は理事長が招集人となる。
- ・PR マーケティング委員会(ライオン誌委員会)には職権委員として現国際理事も含まれる。
- ・対面開催時の 8 MD 委員の旅費はライオン誌委員会を除き 8 MD プール旅費制となり、旅費の算出は旅費補助規程による。
- ・法人理事会、執行理事会及び社員総会集合開催時の旅費補助はなし。
(前年度第 4 回理事会にて改正)

③ 法人理事会内分野別担当理事(案)資料 2

- ・現議長、前議長の構成による担当制

(2) 各委員会の議事要録の作成と扱いについて:

委員会内で作成人を決め、原稿作成後、法人事務所宛に送付。最終的に
理事長の確認を得てから配信する。※8MD、35 地区へ配信。

☆前年度は委員会内部の記録として扱い、内部配信のみとして委員会出席者に配信。

(3) 各法人会議議事要録の作成と扱いについて:

【執行理事会議事録】

作成人 2 名を指名し、原稿を作成。理事長へ提出後、配信の確認を得てから
執行理事会構成員へ配布。また、直近の理事会へ提出する。

☆協議内容が継続または保留中のものもあり、8MD、35 地区へは配信されない。

【理事会議事録】

理事会内で作成人 2 名指名、議事録署名人は理事長の他、出席した全監事の了承が必要となるために、時間がかかる傾向有。記名押印が必要。(定款第 43 条) ※8MD、35 地区へ配信。
☆会議終了後 1 週間以内に 2 名の作成人によってまとめたものを法人事務所宛に送付。

【社員総会（全国ガバナー会）議事録】

理事会内で作成人 2 名指名。議事録署名人は議長の他、2 名の社員を指名する。
内容の了承後、記名押印が必要。(定款第 21 条) ※8MD、35 地区へ配信。

4. 協議事項：

- (1) 今年度事業計画（案）……………資料 3
- (2) 法人関連各会議日程（案）……………資料 4、5
定時社員総会、理事会、執行理事会等
- (3) 新年度予算（案）……………資料 6
- (4) 日本ライオンズ 70 周年記念事業について

5. 報告事項

- ① 2021-22 年度 決算報告（7/22 監査 一般社団法人日本ライオンズ）
- ② SON 広島大会支援金状況……………資料 7
- ③ 公益財団法人麻薬覚せい剤乱用防止センセンターからの情報
 - a. 認定講師育成講座開催関連
 - b. UNODC 事務局長来日時、政府要人との会談に際しての協力依頼
- ④ 第 95 回オセアルフォーラム（チェジュ）について
第 1 回ステアリング会議開催【2022 年 8 月 24 日(水)】……………資料 8
- ⑤ SON ゴリサーノ・アワード授賞式について（9/15 ニューヨーク）

6. その他

本日のまとめ

以上

(2022-2023 年度)

第 1 回執行理事会

◎日 時 : 2022 年 7 月 19 日 (火) 11:00 - 13:00

◎場 所 : ウィンクあいち 12 階小会議室 C 1210

◎出席者 :

一般社団法人 日本ライオンズ

理事長	むらき ひでゆき 村木 秀之	(東京数寄屋橋 LC)
副理事長	たなぶ ともゆき 田名部 智之	(八戸 LC)
副理事長	やまかわ ひろし 山川 洋	(牛久茎崎 LC)
副理事長	ふるかわ たかし 古川 隆	(福岡くしだ LC)
専務理事	やまもと もとひろ 山本 基博	(恵那 LC)
常務理事	よしもと はるお 吉本 晴夫	(藤沢中央 LC)
常務理事	すどう としゆき 須藤 敏幸	(伊達 LC)
常務理事	まつもと おさし 松本 宰史	(南房総 LC)
常務理事	ますざわ よしはる 増澤 義治	(諏訪湖 LC)
常務理事	よしむら ひろよし 吉村 弘吉	(和歌山 LC)
常務理事	いけはら かたし 池原 堅	(福山久松 LC)
常務理事	たまがわ たかし 玉川 孝	(熊本葵 LC)
理事	つるしま こうじ 鶴嶋 浩二	(札幌中島 LC)
法律顧問	いけだ こうじ 池田 和司	(東京桜門 LC) 【欠席】
会計顧問	よしだ そういちろう 吉田 宗一郎	(東京武蔵野 LC) 【欠席】
事務総長	すがわら まさお 菅原 雅雄	(東京堀留 LC) 【欠席】

以上

2022-23年度
一般社団法人日本ライオンズ第2回執行理事会議事録

開催日時：2022年7月26日(月)11:00～12:00

場 所：日本ライオンズ事務所・ZOOM

開催形式：ハイブリッド型式

出席者数：13名 欠席1名（仁科前理事長オブザーバー出席）

- ・理事長 村木秀之 ・副理事長 田名部智之(ZOOM) ・副理事長 山川洋 ・副理事長 古川隆
- ・専務理事 山本基博 ・常務理事 吉本晴夫(ZOOM) ・常務理事 須藤敏幸(ZOOM)
- ・常務理事 松本宰史 ・常務理事 増澤義治 ・常務理事 吉村弘吉(欠) ・常務理事 池原堅
(ZOOM) ・常務理事 玉川孝 ・理事 鶴嶋浩二 ・理事 城坂勝喜

★11：00 山本基博専務理事の進行により開会

1. 出席者状況報告、 山本基博専務理事
2. 村木理事長より開会の挨拶 コロナ感染拡大によりハイブリッド型式で開催
3. 議事録作成人の指名：須藤敏幸(331)、吉村弘吉(335) 吉村議長移動中のため⇒池原堅(336)
4. 本日の次第に従い議題・進行の確認、午後開催の第2回理事会及び事務所物件内見について
5. 審議事項：

(1) 第一号議案法人組織・各委員会構成について山本専務理事より説明

- ① 2022-23年度法人組織図(案) 資料1
- ② 法人理事会内分分野別担当理事(案) 資料2について 承諾
GMA・LCIFの吉村(335)→吉本(330)に訂正
委員会構成のライオンズクエスト等副委員長をMD337玉川氏へ
アラート委員会副委員長をMD330吉本氏に訂正

第2号議案:2021-23年度計算書類及び事業報告について鶴嶋理事及び山本専務理事より説明

資料3.4

会計監査で指摘された件で監査情報が見られないことについて説明する。

7/22監査委員会開催 監査済みであるが印鑑は未 準備は進めている。 承諾

第3号議案:2022-23年度事業計画案及び収支予算書(案)について山本専務理事より説明

鶴嶋理事より事業計画案及び収支予算書について説明 資料5.6 承諾

第4号議案:2022-23年度社員総会日程案について山本専務理事より説明 資料7

社員総会第1回～4回は別紙、日程表により開催する。別紙参照方

第1回定時社員総会開催概要について山本専務理事より説明 資料8 承諾

8/9AP日本橋Gルームで13:30～16:00開催 出席者:正社員総勢62名、

オブザーバーとして全日本全域リーダー、GATエリアリーダー等参与7人、ライオン誌委員長、編集委員長2人、OSEAL調整事務局長、法律顧問、会計顧問 以上、出席予定。東京での開催。
第4号議案迄承諾された。

報告事項：

(1) 日本ライオンズ70周年記念事業について

～古川(337)委員長より説明:今年度中に案をまとめる予定、内容については全国一斉に実施できる事業を考えている。例えば、環境保全関係、ごみ収集量を競い合うようなもの。村木理事長含め、検討して行きたい。

(2) SON広島大会支援関連

資料9

～SON広島大会について口座名義変更、寄付金報告等資料参照方

(3) SONゴリサーノ・アワード授賞式(9/15ニューヨーク)について山本専務理事より報告

資料10

～SON等団体、個人で多大な貢献者に対して受賞される最高位の賞で村木理事長出席予定。

(4) 公益財団法人麻薬覚せい剤乱用防止センター関連について山本専務理事説明

・認定講師育成講座開催 既に報告されているもの報告のみ

・UNODC事務局長と外務省との会談に際しての協力依頼(7/27)山本専務理事報告

～外務省にて国連麻薬・銃器関係事務総長ワーリー氏と薬物乱用防止センター藤野理事が出席される。

(5) 第59回オセアルフォーラム(チェジュ)について山本専務理事より説明 資料11

第1回ステアリング会議開催【2022年8月24日(水)】

8月23、24日韓国・チェジュで開催。村木理事長が出席の予定

今後の予定ではフィリピン・マニラ、タイ・バンコック・パタヤその後2025年に札幌が立候補の予定。

開催地および次期国際理事候補者の選考の件で確認、意見交換がされた。

各会議【議事要録】の作成と配信について山本専務理事より説明

★発言議事録ではなく、簡潔な議事要録スタイルが望ましい。

<各委員会>

委員会内で作成人を決め、原稿作成後、法人事務所宛てに送付。

最終的に理事長の確認を得てから配信する。※8MD、35地区へ配信。

★前年度は委員会内部の記録として扱い、内部配信のみとして委員会出席宛て配信。

<執行理事会>

作成人2名を指名し、原稿を作成。理事長へ提出後、配信の確認を得てから執行理事会構成員へ配布。又、直近の理事会へ提出する。

★協議内容が継続または保留中のものもあり、8MD、35地区へは配信されない。

<理事会>

理事会内で作成人2名指名、議事録署名人は理事長の他、出席した全監事の下承が必要となるため、時間がかかる傾向あり。記名捺印が必要。(定款第43条)※8MD、35地区へ配信

★会議終了後1週間以内をめどに2名の作成人によってまとめたものを法人事務所

宛てに送付。

<社員総会>(通称全国ガバナー会)

理事会内で作成人2名指名。議事録署名人は議長の他、2名の社員を指名する。

内容の了承後、記名捺印が必要。(定款第21条)※8MD、35地区へ配信。

内容について承諾

5. 閉会：山川副理事長

今後の法人会議予定 (参考資料添付)

山川副理事長より説明

会議終了後、事務所物件移転先内見を行う。

午後13:30～第2回理事会が開催。

以上

2022年7月26日

議事録作成人

常務理事(MD336)池原 堅

2021－2022年度
一般社団法人日本ライオンズ会計報告書

2022/7/22 会計監査

一般社団法人日本ライオンズ会計報告書

2021年7月1日～2022年6月30日の財政状況を下記のとおりご報告します。

2022年7月22日

一般社団法人日本ライオンズ 理事長

仁科 良三



下記の会計報告は、監査の結果適正に表示されているものと認めます。

2022年7月22日

2021－2022年度日本ライオンズ会計監査委員

330複合地区監査委員

中野 了



331複合地区監査委員

小玉 誠



332複合地区監査委員
一般社団法人日本ライオンズ監事

竹下 直義



333複合地区監査委員
一般社団法人日本ライオンズ監事

高橋 克文



334複合地区監査委員

丸山 正芳



335複合地区監査委員
一般社団法人日本ライオンズ監事

福田 恵太



336複合地区監査委員

矢野 敏明



337複合地区監査委員
一般社団法人日本ライオンズ監事

吉見 章一



I 貸借対照表

一般社団法人日本ライオンズ

2022年6月30日現在

(2021.6.30)

(単位：円)

科 目	当年度末A	前年度末B	差異 (A-B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0	28,828	△ 28,828
銀行預金	304,466,579	516,495,876	△ 212,029,297
郵便貯金	0	1,461,925	△ 1,461,925
郵便振替	8,364,108	7,329,884	1,034,224
未収入金	9,719,097	8,875,876	843,221
前払費用	314,550	0	
頒布品	188,243	103,297	84,946
流動資産合計	323,052,577	534,295,686	△ 211,243,109
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産	0	0	0
(3) その他の固定資産			
敷金	11,976,840	11,976,840	0
什器備品	108,639	217,273	△ 108,634
その他固定資産合計	12,085,479	12,194,113	△ 108,634
固定資産合計	12,085,479	12,194,113	△ 108,634
資産合計	335,138,056	546,489,799	△ 211,351,743
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	100,900	262,000	△ 161,100
オリンピック支援預り金 (注1)	0	212,548,570	△ 212,548,570
アラート委員会預り金	7,306,718	8,525,057	△ 1,218,339
未払消費税	33,400	534,400	△ 501,000
未払金	3,634,861	4,133,288	△ 498,427
流動負債合計	11,075,879	226,003,315	△ 214,927,436
2. 固定負債	0	0	0
負債合計	11,075,879	226,003,315	△ 214,927,436
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	324,062,177	320,486,484	3,575,693
正味財産合計	324,062,177	320,486,484	3,575,693
負債及び正味財産合計	335,138,056	546,489,799	△ 211,351,743

注： 1. オリンピック支援預り金の残金は、2021年12月に各複合地区へ返金しました。

Ⅱ 正味財産増減計算書
一般社団法人日本ライオンズ
2021年7月1日～2022年6月30日

(単位:円)

科 目	当年度予算	当年度A	前年度B	差異 (A-B)
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取賛助会費	76,800,000	78,471,840	81,245,280	△ 2,773,440
②寄付金	0	112,338	153,891	△ 41,553
③国際協会補助金	17,280,000	18,760,451	17,721,862	1,038,589
④国際協会翻訳料	120,000	129,500	132,871	△ 3,371
⑤ライオン誌送料収益	25,810,000	24,371,601	25,227,057	△ 855,456
⑥広告料	300,000	174,240	283,140	△ 108,900
⑦受取利息	16	12	22	△ 10
⑧雑収益	350,000	378,851	360,528	18,323
⑨各種会議旅費分担金収益 (注1)	3,600,000	1,183,000	89,000	1,094,000
⑩頒布品収益 (注2)	1,000,000	705,536	18,955,220	△ 18,249,684
経常収益合計	125,260,016	124,287,369	144,168,871	△ 19,881,502
(2) 経常費用				
①ライオン誌直接出版費	(45,650,000)	(45,699,903)	(47,406,924)	△ 1,707,021
印刷費	10,030,000	10,425,800	11,497,200	△ 1,071,400
ライオン誌送料	25,810,000	24,986,524	25,808,158	△ 821,634
発送事務費	5,000,000	5,356,267	5,197,083	159,184
旅費交通費	180,000	792	0	792
編集関係諸費	80,000	80,700	75,420	5,280
原稿料・編集費	4,550,000	4,849,820	4,827,600	22,220
広告関係諸費	0	0	1,463	△ 1,463
②デジタル版関連費 (ウェブマガジン)	(6,230,000)	(5,062,448)	(4,752,642)	309,806
旅費交通費	2,000,000	1,943,889	2,045,322	△ 101,433
原稿料・編集費	3,190,000	2,061,950	1,669,800	392,150
サーバー管理費	970,000	971,520	971,520	0
その他	70,000	85,089	66,000	19,089
③各種委員会会議 (注1)	(4,330,000)	(2,082,125)	(395,792)	1,686,333
旅費交通費	4,200,000	1,938,300	328,880	1,609,420
会議費	100,000	143,825	46,365	97,460
雑費	30,000	0	20,547	△ 20,547
④頒布品原価 (注2)	450,000	359,467	11,579,784	△ 11,220,317
⑤事務費	(70,640,000)	(67,491,754)	(75,796,237)	△ 8,304,483
理事会旅費	4,500,000	3,989,660	4,467,653	△ 477,993
会計監査旅費	600,000	375,648	206,468	169,180
国際大会・アジアフォーラム関係費		0	5,600	△ 5,600
NLLI次世代セミナー会場費補助	1,500,000	0	0	0
人件費 (注3)	34,794,000	34,345,338	40,384,214	△ 6,038,876
福利厚生費 (注3)	5,000,000	4,649,979	5,958,004	△ 1,308,025
旅費交通費 (注3)	1,366,000	1,462,445	1,799,996	△ 337,551
印刷費	400,000	459,918	369,926	89,992
通信費	1,420,000	1,238,986	1,203,823	35,163
備品・消耗品費	350,000	199,748	257,934	△ 58,186
事務用品費	600,000	554,933	548,946	5,987
図書費	50,000	58,800	68,432	△ 9,632
リース・レンタル料	700,000	671,880	554,208	117,672
I T関連費	1,870,000	1,659,020	1,465,970	193,050
支払手数料	260,000	291,691	271,706	19,985
顧問料	1,160,000	1,199,000	1,188,000	11,000
地代家賃 (注4)	14,000,000	14,054,712	14,654,712	△ 600,000
水道光熱費	800,000	762,935	754,579	8,356
雑費	720,000	922,917	910,632	12,285
減価償却費	0	478,344	108,634	369,710
租税公課 (注2)	550,000	115,800	616,800	△ 501,000
経常費用合計	127,300,000	120,695,697	139,931,379	△ 19,235,682
当期経常増減額	△ 2,039,984	3,591,672	4,237,492	△ 645,820
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益合計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
雑損失	0	15,979	28,332	△ 12,353
経常外費用合計	0	15,979	28,332	△ 12,353
当期経常外増減額	0	△ 15,979	△ 28,332	12,353
3. 財務活動収支の部				
(1) 財務活動収益				
前年度繰越金取崩収入	3,000,000			
(2) 財務活動支出				
財務活動収支差額	3,000,000			
当期一般正味財産増減額	960,016	3,575,693	4,209,160	△ 633,467
一般正味財産期首残高		320,486,484	316,277,324	4,209,160
一般正味財産期末残高		324,062,177	320,486,484	3,575,693
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
III 正味財産期末残高		324,062,177	320,486,484	3,575,693

注: 1. 会議のほとんどがウェブで行われた2020-21年度に比べ、2021-22年度は対面開催が増えましたが、予算の半分にも到達しませんでした。
2. 頒布品収益、頒布品原価、及び租税公課の減少要因は、2021-22年度にはライオンズ必携を発行しなかったためです。
3. 人件費、福利厚生費、旅費交通費 (定期代) の減少には、職員の異動が反映しています。
2021年4月退職1名、2022年2月退職1名、入所1名、短時間勤務→フルタイム1名、4月再雇用契約1名、5月退職1名。
4. 地代家賃は2021年1月から一般財団法人日本ライオンズからの分担金 (月額10万円) を減額して表示しています。

Ⅲ 財産目録
一般社団法人日本ライオンズ
2022年6月30日現在

(単位: 円)			
貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金及び預金			
現金	手許保管		0
銀行預金	三菱東京UFJ銀行京橋支店 (普) 0548024	アラート委員会緊急支援金の預り金	7,306,718
	三菱東京UFJ銀行京橋支店 (普) 0548320	運転資金として保管している	297,159,861
	三菱東京UFJ銀行京橋支店 (普) 0604392	オリンピック・パラリンピック支援金	0
郵便振替	ゆうちょ銀行〇一九支店 (当座) 00170-8-514451	運転資金として保管している	8,364,108
		(現金及び預金合計)	312,830,687
未収入金	国際協会PR補助金	下半期2022年1月～6月分\$80,351.00×120.823532 円	9,708,292
	頒布品売上代金	ライオンズ文庫代	9,805
	懇親会費立替分		1,000
		(未収入金合計)	9,719,097
前払費用	フクラシア八重洲	2022年7月7日 臨時社員総会会場費	249,150
	アイラック愛知(株)	2022年7月19日 第1回執行理事会会場費	15,900
	(株)モリサワ	ライオン誌フォント使用料 2022/8/1～翌7/31	49,500
		(前払費用合計)	314,550
頒布品	事務所内/ライオンズ必携第59版0冊@118円	2020年10月20日発行2020-21年度 (会議資料・頒布単価200円)	0
	事務所内/ライオンズクラブ役員必携 14冊@293円	2020年11月20日発行2020-21年度 (会議資料・頒布単価500円)	4,102
	事務所内 ライオンズ・スクール初級編2069冊@89円 (ライオンズクラブ入門)	2022年4月8日発行第4版第3刷 (ライオン誌頒布単価400円)	184,141
		(頒布品合計)	188,243
流動資産合計			323,052,577
(固定資産)			
敷金	三菱地所リアルエステートサービス(株)	JOTOビル9階901号室 (52.53坪/173.67㎡)	11,976,840
		(敷金合計)	11,976,840
什器備品	事務所内設置の備品等	会議用テーブル・イス・書類ロッカー (連絡事務所)	1
		職員用事務机・椅子@セット (ライオン誌)	108,637
		富士ゼロックス・A3カラーレーザープリンター (ラ誌)	1
		(什器備品合計)	108,639
固定資産合計			12,085,479
資産合計			335,138,056
(流動負債)			
預り金	諸税	職員給与預かり住民税等	100,900
アラート委員会預り金	法人会計	アラート委員会緊急支援金を法人口座で預かっている	7,306,718
		(預り金合計)	7,407,618
未払消費税	京橋税務署	2021-2022年度消費税	33,400
		(未払消費税合計)	33,400
未払金	日本年金機構中央年金事務所	社会保険料6月事業主負担分	282,762
	各種会議旅費	2021-22年度社団会計監査旅費 (7月22日開催)	168,000
	共同印刷(株)	ライオン誌7・8月号印刷費	1,722,600
	(株)宛名商会本店	ライオン誌7・8月号発送作業費	699,916
	障害者支援情報センター	ライオン誌7・8月号発送作業費	220,500
	佐川急便(株)	ライオン誌7・8月号送料等	501,985
	取材交通費	ライオン誌 6/24、6/24-27取材分	39,098
			3,634,861
流動負債合計			11,075,879
固定負債合計			0
負債合計			11,075,879
正味財産			324,062,177

日本ライオンズ オリンピック・パラリンピック支援協力金口座 特別会計

(1) 貸借対照表
2022年6月30日現在

(単位：円)

借 方	金 額	貸 方	金 額
<流動資産計>	0	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023 - 0604392 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ」	0	預り金	0
		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		残 高	0
合 計	0	合 計	0

(2) 収支計算書

自 2015年7月 1日
至 2022年6月30日

(単位：円)

支出の部		金 額	収入の部		金 額
<支出計>		493,091,001	<収入計>		493,091,001
パラサポート選手育成支援金 2018年5月交付（148人） 91,350,000 2018年返戻金（1人） (580,000) 2019年5月交付（186人） 101,560,000		192,330,000	会員協力金拠出 MD330内拠出金 93,979,506 MD331内拠出金 28,494,000 MD332内拠出金 45,598,636 MD333内拠出金 53,996,000 MD334内拠出金 78,964,000 MD335内拠出金 60,781,500 MD336内拠出金 67,800,250 MD337内拠出金 63,467,000		493,080,892
次世代Tシャツ・タオル支援 (株)東亜パッチ・トロ フィー)		3,000,000	会員協力拠出金合計		493,080,892
1000年オリーブ植樹 オリーブの木、搬入費用 12,808,800 (2019年8月) オリーブメンテナンス等 2,403,500 (南蕎麥園植物場) (2021年2月)		15,212,300			
モニュメント モニュメント制作費用 39,490,000 (2019年8月) モニュメント式典費用 268,400 (陶丹青社) (2020年4月)		39,758,400			
パラ競技招待事業 初回申込金(2020年4月) 30,000,000 残高返金 (2021年9月) 5,033,000 (関近畿日本ツーリスト首都圏)		24,967,000			
残金返金(2021年12月) MD330 41,466,865 MD331 12,569,738 MD332 20,115,497 MD333 23,825,280 MD334 34,839,302 MD335 26,817,037 MD336 29,913,235 MD337 28,000,686 残金返金合計 217,547,640		217,547,640			
支払手数料 振込手数料(累計) 245,506		245,506	受取利息(累計)		10,109
最終残高を社団決済用口座へ振替(2021年12月) オリ・パラ残金 29,547 受け取り利息 (2022年3月) 608		30,155			
残 高		0			
合 計		493,091,001	合 計		493,091,001

東京オリンピック・パラリンピック支援金

(単位:円)

小計点4位算出

小計点5位算出

MD	地区名	2015-2016年度	2016-2017年度	2017-2018年度	2018-2019年度	2019-2020年度	2020-2021年度	地区累計額	MD累計額	入金額%	2021年11月 末残高	2021年12月 MD宛返金額
330	330-A地区	17,002,000	8,084,000	7,906,000	8,054,000			41,046,000	93,979,506	8.324%	217,582,467	18,111,564
	330-B地区	10,000,000	10,000,000	7,926,454	6,523,569			34,450,023		6.986%		15,200,311
	330-C地区	7,640,125	3,592,358	3,714,000	3,537,000			18,483,483		3.748%		8,154,990
	MD330計	34,642,125	21,676,358	19,546,454	18,114,569	0		93,979,506				41,466,865
331	331-A地区	1,060,000	2,350,125	2,290,500	2,264,625	2,236,500		10,201,750	28,494,000	2.068%		4,499,605
	331-B地区	0	2,261,000	2,179,000	2,148,000	4,118,000		10,706,000		2.171%		4,723,715
	331-C地区	0	1,945,000	1,910,000	1,890,000	1,841,250		7,586,250		1.538%		3,346,418
	MD331計	1,060,000	6,556,125	6,379,500	6,302,625	8,195,750		28,494,000				12,569,738
332	332-A地区	1,704,000	1,685,000	1,735,000	1,687,000	1,617,000		8,428,000	45,598,636	1.709%		3,718,484
	332-B地区	1,539,000	1,523,000	1,485,000	1,476,000	1,421,000		7,444,000		1.509%		3,283,319
	332-C地区	1,359,000	1,371,500	1,307,500	1,317,500	1,274,000		6,629,500		1.344%		2,924,308
	332-D地区	1,937,136	1,963,000	1,954,000	1,974,000	1,887,000		9,715,136		1.970%		4,286,374
	332-E地区	1,675,000	1,658,000	1,654,000	1,620,000	1,545,000		8,152,000		1.653%		3,596,638
	332-F地区	1,086,000	1,073,000	1,027,000	1,045,000	999,000		5,230,000		1.060%		2,306,374
	MD332計	9,300,136	9,273,500	9,162,500	9,119,500	8,743,000		45,598,636				20,115,497
333	333複合地区 (333-A、B、 C、D、E地区) 一括	10,966,000	10,969,000	10,871,000	10,718,000	10,472,000		53,996,000	53,996,000	10.950%		23,825,280
334	334-A地区	0	9,046,000	4,358,000	4,244,000	4,062,000		21,710,000	78,964,000	4.402%		9,577,980
	334-B地区	3,104,000	3,019,000	3,019,000	2,995,000	2,948,500		15,085,500		3.059%		6,655,847
	334-C地区	2,993,000	2,909,000	2,915,000	2,820,000	2,798,000		14,435,000		2.927%		6,368,638
	334-D地区	3,815,000	3,773,500	3,766,500	3,741,500	3,636,000		18,732,500		3.799%		8,265,957
	334-E地区	1,828,000	1,850,000	1,841,000	1,782,000	1,700,000		9,001,000		1.825%		3,970,880
	MD334計	11,740,000	20,597,500	15,899,500	15,582,500	15,144,500		78,964,000				34,839,302
335	335-A地区	1,971,000	1,919,000	1,841,000	1,824,000	1,766,000		9,321,000	60,781,500	1.890%		4,112,308
	335-B地区	5,188,000	5,094,000	4,925,000	4,984,000	4,883,000		25,074,000		5.085%		11,064,068
	335-C地区	3,729,000	3,637,000	3,563,000	3,570,000	3,513,000		18,012,000		3.652%		7,946,111
	335-D地区	1,742,000	1,708,500	1,655,500	1,630,500	1,638,000		8,374,500		1.698%		3,694,550
	MD335計	12,630,000	12,358,500	11,984,500	12,008,500	11,800,000		60,781,500				26,817,037
336	336-A地区	0	7,506,000	7,561,500	9,808,000			24,875,500	67,800,250	5.044%		10,974,859
	336-B地区	2,803,000	2,813,000	2,695,000	2,584,000	2,511,000		13,406,000		2.718%		5,913,891
	336-C地区	3,130,000	3,106,000	2,992,000	2,943,000	2,824,000		14,995,000		3.041%		6,616,682
	336-D地区	3,762,500	3,708,750	3,580,000	3,472,500	(4年間で徴収済)		14,523,750		2.945%		6,407,803
	MD336計	9,695,500	17,133,750	16,828,500	18,807,500	5,335,000		67,800,250				29,913,235
337	337-A地区	4,349,000	4,268,000	4,213,500	4,153,000	4,102,500		21,086,000	63,467,000	4.276%		9,303,826
	337-B地区	2,150,000	2,131,000	2,124,000	2,101,000	2,097,000		10,603,000		2.150%		4,678,023
	337-C地区	0	5,502,000	2,676,500	2,584,000	2,445,500		13,208,000		2.678%		5,826,858
	337-D地区	2,267,000	2,210,500	2,169,500	2,112,000	2,011,500		10,770,500		2.184%		4,752,001
	337-E地区	1,554,000	1,554,500	1,565,500	1,563,500	1,562,000		7,799,500		1.581%		3,439,978
	MD337計	10,320,000	15,666,000	12,749,000	12,513,500	12,218,500		63,467,000				28,000,686
MD合計/A		100,353,761	114,230,733	103,420,954	103,166,694	71,908,750		493,080,892	493,080,892	99.984%		217,547,640
										振込手数料		5,280
										社団へ振替		29,547
										合計	217,582,467	217,582,467

2021年12月16日、残高217,582,467円を入金額の割合に応じて各複合地区へ返金。

振込手数料5,280円を差し引いた残高29,547円は、(一社)日本ライオンズの雑収入として振替。

MDへの残金返金後の2022年2月に入金された受取利息608円は、翌3月に(一社)日本ライオンズの雑収入として振替。

日本ライオンズ・アラート委員会緊急支援金口座 特別会計

(1) 貸借対照表

2022年6月30日現在

(単位:円)

借 方	金 額	貸 方	金 額
<流動資産計>	7,306,718	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023-0847891 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ・ アラート委員会 委員長 小林 聡」 ↓ (2021.10.8 口座移動) 普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023-0548024 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ」	7,306,718	預り金 未払金	0 0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		次期繰越金	7,306,718
合 計	7,306,718	合 計	7,306,718

(2) 収支計算書

自 2021年7月1日
至 2022年6月30日

(単位:円)

支出の部	金 額	収入の部	金 額
<支出計>	1,218,442	<収入計>	8,525,160
残高証明書発行手数料 2022年3月福島県沖地震災害支援 332-D地区へ支払(2022年6月) ブルーシート、ロープ、土嚢袋 支払手数料	770 1,217,672 1,217,012 660	前期繰越金 受取利息	8,525,057 103
次期繰越金	7,306,718		
合 計	8,525,160	合 計	8,525,160

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 公益法人会計基準について（平成20年4月11日付け内閣府公益認定等委員会）に基づく会計処理を行っています。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法について
該当事項はありません。
- (3) 頒布品の評価基準及び評価方法について
頒布品の評価方法は、個別原価法を採用しています。
- (4) 固定資産の減価償却について
減価償却は定額法によっています。
- (5) 引当金の計上基準について
該当事項はありません。
- (6) 消費税の会計処理について
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 基本財産の増減額及びその残高

該当事項はありません。

3. 固定資産の取得額、減価償却累計額および当期末残高

（単位：円）

科 目	期首取得価額	増加資産	減価償却累計額	当期末残高	
什器備品	349,198	0	349,197	1	（会議テーブル・イス・ロッカー）
什器備品	760,441	0	651,804	108,637	（ライオン誌職員事務机・イス）
什器備品	540,000	0	539,999	1	（ライオン誌ゼロックス複合機）
什器備品		369,710	369,710	0	（パソコン2台）
合 計	1,649,639	369,710	1,910,710	108,639	

日本ライオンズ・アラート委員会緊急支援金口座 特別会計

(1) 貸借対照表
2022年6月30日現在

(単位：円)

借 方	金 額	貸 方	金 額
<流動資産計>	7,306,718	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023-0847891		預り金	0
口座名義「一般社団法人日本ライオンズ・ アラート委員会 委員長 小林 聡」			
↓ (2021.10.8 口座移動)			
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023-0548024	7,306,718	未払金	0
口座名義「一般社団法人日本ライオンズ」			
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		次期繰越金	7,306,718
合 計	7,306,718	合 計	7,306,718

(2) 収支計算書

自 2019年10月28日
至 2022年6月30日

(單位：円)

支出の部		金 額	収入の部		金 額
<支出計>		33,946,047	<収入計>		41,252,765
2019年台風19号水害支援			緊急支援金拠出(2019年台風19号水害支援)		
MD330		223,790	MD330内拠出金	730,974	22,095,412
指定寄付	722,030		MD331内拠出金	500,000	
お見舞金	270,000		MD332内拠出金	510,500	
返戻金	(768,240)		MD333内拠出金	1,143,000	
MD332		6,223,971	MD334内拠出金	1,398,367	
指定寄付	1,548,471		MD335内拠出金	7,581,599	
お見舞金	1,440,000		MD336内拠出金	5,058,446	
丸森町商工会(電子レンジ)	2,000,000		MD337内拠出金	5,172,526	
本宮市立町地区(米/醤油/味)	1,235,500		緊急支援金合計	22,095,412	
MD333		1,842,203	拠出内訳:		
指定寄付	1,002,203		支援先指定	4,955,968	
お見舞金	840,000		無指定	17,139,444	
MD334		2,712,414			
指定寄付	2,262,414				
お見舞金	450,000				
2020年7月豪雨災害支援			緊急支援金拠出(2020年7月水害支援)		19,157,096
337-E地区(熊本県)			MD330内拠出金	660,786	
7月支援分	8,802,390	11,014,039	MD331内拠出金		
8月支援分	2,211,649		MD332内拠出金	4,006,165	
			MD333内拠出金	2,263,500	
アラート活動費		369,190	MD334内拠出金		
7月熊本豪雨災害視察交通費2人	93,340		MD335内拠出金	11,559,145	
2020/11/27アラート全体会議会場費	104,020		MD336内拠出金		
2020/11/27全体会議旅費補助6人	166,000		MD337内拠出金	667,500	
振込手数料	5,830		その他/振込人不明	0	
			緊急支援金合計	19,157,096	
2021年2月福島県沖地震災害支援		407,220	受取利息		257
332-D地区(相馬LC、新地LC)					
ブルーシート、ロープ、土のう袋					
2020年12月~2021年1月		9,934,778			
新型コロナウイルス感染対策支援					
旭川への支援物資	3,000,470				
グアムへの支援物資	6,934,308				
2021年8月 残高証明書発行手数料		770			
2022年3月福島県沖地震災害支援		1,217,672			
332-D地区(福島県)					
ブルーシート、ロープ、土嚢袋	1,217,012				
支払手数料	660				
次期繰越金		7,306,718			
合 計		41,252,765	合 計		41,252,765

殘高証明書 ACCOUNT BALANCE CERTIFICATE

≡ 104-0028

東京都 中央区 八重洲 2丁目
6番15号JOTOビル9階

株式会社三菱UFJ銀行



作成日 令和04年07月01日

一般社団法人 日本ライオンズ 様

WUFG Bank, Ltd.

多取引店 京橋 支店

電話 03 (3535) 2311

NH9A1A20220702 013658

0023 RYBT150D E N 1

(全回座一(口座別) 一)

同文のもの 1 通発行の内第 1 号
(023-1984160)

令和 04 年 06 月 30 日現在の貴方ご名義下記勘定残高について
相違ないことを証明いたします。

THIS IS TO CERTIFY THAT THE BALANCE OF YOUR ACCOUNT(S)
WITH MUFGBank, Ltd. SHOWS THE AMOUNT(S) INDICATED BELOW.

1 ページ

[illegible]

- ・この証明書金額は訂正いたしません。
- ・金額は、証明日現在の元帳最終残高を表わし決済未確認の証券類を含んでいることがあります。この場合はその金額を「(内決済未確認証券類)」に表示します。
- ・「当座貸越(総合)」には、普通預金貸越型のカードローンご利用額も含まれます。
- ・口座番号欄は、口座指定のご依頼の場合のみ表示します。

YB I 0 1 N H 9 A 1 A R 0 0 0 4 8 1 3

2260955

1/1

以上

PBTNP

振替口座残高証明書

口座番号	00170-8- 514451
------	-----------------

加入者名	一般社団法人 日本ライオンズ
------	----------------

令和 4年 6月30日現在の口座残高

*****8, 364, 108円

上記のとおり証明します。

令和 4年 7月 1日
ゆうちょ銀行

このご案内につきまして、ご不明な点などがございましたら、
お手数ですが、貯金事務センター（電話番号は表面に記載）まで
お問い合わせください。

〒100-0004

東京都千代田区大手町 1-9-2

グランキューブ 11 階

三菱地所リアルエステートサービス株式会社 御中

残高確認御依頼の件

拝 啓 ますますご隆盛のことと存じます。

今般当法人の会計監査に関し監査人は貴社との貸借関係につき確認を望んでおります。

令和 4 年 6 月 30 日現在、当法人帳簿上の貴方残高は下記の通りです。

つきましてはお手数をおかけし恐縮ですが、下記金額等に相違ない場合は末尾にご署名の上、またもし相違がある場合は差額の明細を備考欄・余白または別紙にご記入の上、一般社団法人日本ライオンズあてに直接ご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-15

JOTO ビル 9F

一般社団法人日本ライオンズ



取引年月日	貴社に対する	摘 要	金 額	備 考
2015 年 6 月 1 日	債権・債務	敷金	11,976,840	
債権（債務）残高			11,976,840	

勘定残高確認書

〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-15 JOTO ビル 9F

一般社団法人日本ライオンズ 御中

令和 4 年 6 月 30 日現在、当方の

に対する債務（債権）は〒 11,976,840 であることを確認いたします。

（日付） 2022 年 6 月 28 日

（会社名）

三菱地所リアルエステートサービス株

ビル運営部長 本城 拓

（代表者名または担当責任者名）



一般社団法人日本ライオンズ 2021-22年度 各種会議開催実績

2022.7.11現在

年月日	曜日	時間	会合名	場所
2021/8/2	月曜日	13:30-16:00 14:00-14:55	第1回全国ガバナー会(社員総会)・第1回理事会(新)	ウインクあいち(名古屋)+WEB(ZOOM)
2021/8/17	火曜日	13:30-15:30	第1回PRマーケティング委員会(ライオン誌日本語版委員会)新旧	WEB(ZOOM)
2021/8/23	月曜日	15:00-18:00	第1回執行理事会	WEB(ZOOM)
2021/9/9	木曜日	10:00-12:00	第2回PRマーケティング委員会(ライオン誌日本語版委員会)	WEB(ZOOM)
2021/9/10	金曜日	13:30-15:30	第1回アラート委員会	WEB(ZOOM)
2021/9/13	月曜日	10:00-12:00	理事長・専務理事懇談	事務所
2021/9/24	金曜日	13:30-16:00	第1回アラート全体会議	WEB(ZOOM)
2021/9/27	月曜日	13:30-15:30	第1回会則委員会	WEB(ZOOM)
2021/9/29	水曜日	13:30-15:30	第1回YCE委員会	WEB(ZOOM)
2021/9/30	木曜日	14:00-15:00	ライオン誌・第1回ウェブマガジン推進小委員会	WEB(ZOOM)
2021/10/7	木曜日	14:00-16:00	第3回PRマーケティング委員会(ライオン誌日本語版委員会)	WEB(ZOOM)
2021/10/11	月曜日	13:30-15:30	正副理事長・専務理事会議	WEB(ZOOM)
2021/10/21	木曜日	14:00-15:30	ウェブマガジン推進小委員会	WEB(ZOOM)
2021/10/27	水曜日	13:30-16:00	第2回アラート全体会議	WEB(ZOOM)
2021/11/4	木曜日	14:00-16:00	第4回PRマーケティング委員会(ライオン誌日本語版委員会)	WEB(ZOOM)
2021/11/8	月曜日	13:30-16:00	第2回会則委員会	WEB(ZOOM)
2021/11/9	火曜日	13:30-16:00	第2回YCE委員会	事務所+WEB(ZOOM)
2021/11/15	月曜日	13:30-16:00	第1回国際大会委員会	WEB(ZOOM)
2021/11/22	月曜日	14:00-16:00	第2回執行理事会	フクラシア八重洲東京ステーション+WEB(ZOOM)
2021/11/25	木曜日	13:30-16:00	第2回理事会	フクラシア八重洲東京ステーション
2021/11/30	火曜日	14:00-16:00	第3回アラート全体会議	WEB(ZOOM)
2021/12/2	木曜日	11:00-13:00	第3回執行理事会	名古屋(334Aキャビネット事務局)
2021/12/6	月曜日	13:30-16:00	第3回YCE委員会	事務所+WEB(ZOOM)
2021/12/13	月曜日	14:00-16:00	第5回PRマーケティング委員会(ライオン誌日本語版委員会)	松本楼+WEB(ZOOM)
2021/12/16	木曜日	11:00-12:30	第4回執行理事会	事務所
2021/12/16	木曜日	13:30-16:00	第2回全国ガバナー会(社員総会)	WEB(ZOOM)
2021/12/20	月曜日	14:00-16:00	第4回アラート全体会議	WEB(ZOOM)
2021/12/21	火曜日	13:30-16:00	第1回国際理事候補者推薦委員会	フクラシア八重洲
2022/1/13	木曜日	13:30-16:00	第3回会則委員会	WEB(ZOOM)
2022/1/13	木曜日	14:00-16:00	第6回PRマーケティング委員会(ライオン誌日本語版委員会)	WEB(ZOOM)
2022/1/18	火曜日	11:00-12:30	第8回SON夏季ナショナルゲーム広島大会第1回委員会	WEB(ZOOM)
2022/1/18	火曜日	13:30-16:30	第5回執行理事会	WEB(ZOOM)
2022/1/24	月曜日	13:30-16:00	緊急執行理事会	WEB(ZOOM)
2022/1/25	火曜日	13:30-16:30	第3回理事会・第2回国際理事候補者推薦委員会との合同会議	WEB(ZOOM)
2022/1/31	月曜日	13:30-16:00	第5回アラート全体会議	WEB(ZOOM)
2022/2/2	水曜日	13:30-16:00	臨時理事会	WEB(ZOOM)
2022/2/3	木曜日	14:00-16:00	第7回PRマーケティング委員会(ライオン誌日本語版委員会)	WEB(ZOOM)
2022/2/15	火曜日	14:00-16:00	ライオン誌・財務小委員会	WEB(ZOOM)
2022/2/16	水曜日	13:30-16:00	第1回国際理事候補者推薦選挙管理委員会	WEB(ZOOM)
2022/2/18	金曜日	14:00-16:00	2021年上半年社団監査	事務所+WEB(ZOOM)
2022/2/24	木曜日	15:00-17:00	第6回アラート全体会議WEB	WEB(ZOOM)
2022/3/1	火曜日	13:30-16:30	第6回執行理事会WEB	WEB(ZOOM)
2022/3/3	木曜日	13:00-15:00	第4回会則委員会	WEB(ZOOM)
2022/3/4	金曜日	10:00-12:00	第8回PRマーケティング委員会(ライオン誌委員会)	WEB(ZOOM)
2022/3/4	金曜日	13:30-16:00	第4回YCE委員会	WEB(ZOOM)
2022/3/10	木曜日	13:30-16:00	第4回理事会	WEB(ZOOM)
2022/3/18	金曜日	13:30-15:30	第2回国際理事候補者選挙管理委員会	WEB(ZOOM)
2022/3/22	火曜日	13:30-15:00	緊急国際大会委員会	WEB(ZOOM)
2022/3/23	水曜日	13:30-16:00	第3回社員総会	WEB(ZOOM)+対面
2022/3/23	水曜日	16:00-16:45	再開第2025会議	対面
2022/3/29	火曜日	13:30-15:00	第3回国際理事候補者選挙管理委員会+開票作業	対面

2022/3/31	木曜日	14:30-16:30	ライオン誌日本語版委員会 ウェブマガジン推進小委員会	WEB(ZOOM)
2022/4/6	水曜日	15:00-17:00	正副理事長理事会	対面
2022/4/7	木曜日	13:30-16:00	第9回PRマーケティング委員会(ライオン誌日本語版委員会)	WEB(ZOOM)
2022/4/20	水曜日	13:30-15:30	第5回会則委員会	対面
2022/4/21	木曜日	13:30-15:30	第7回執行理事会	対面
2022/4/22	金曜日	13:30-16:00	第3回国際大会委員会	WEB(ZOOM)
2022/4/25	月曜日	13:30-16:00	第5回YCE委員会	WEB(ZOOM)
2022/4/26	火曜日	15:00-17:00	第7回アラート全体会議	WEB(ZOOM)+対面
2022/4/27	水曜日	11:00-13:00	正副理事長会	対面
2022/4/27	水曜日	13:30-16:00	第5回理事会	WEB(ZOOM)
2022/5/10	火曜日	14:00-16:00	【WEB】第10回PRマーケティング委員会(ライオン誌委員会)	WEB(ZOOM)
2022/5/18	水曜日	13:30-16:00	第6回会則委員会	WEB(ZOOM)
2022/5/25	水曜日	14:00-17:00	第8回執行理事会	WEB(ZOOM)+札幌
2022/5/31	火曜日	15:00-17:00	第8回アラート全体会議	WEB(ZOOM)
2022/6/1	水曜日	13:30-15:30	準備執行理事会(新旧理事)	対面(フクラシア八重洲)
2022/6/2	木曜日	13:30-15:30	第6回理事会	対面(フクラシア八重洲)
2022/6/7	水曜日	14:00-16:00	第11回PRマーケティング委員会(ライオン誌委員会)	対面(日本ライオンズ)
2022/6/13	月曜日	13:30-15:00	第6回YCE委員会	対面(日本ライオンズ)
2022/6/15	水曜日	10:30-13:00	第9回執行理事会	対面(AP日本橋)
2022/6/15	水曜日	13:30-16:00	第4回社員総会	対面(AP日本橋)
2022/6/17	金曜日	13:30-15:00	第4回国際大会委員会	WEB(ZOOM)
2022/6/20	月曜日	13:30-16:00	第7回会則委員会	WEB(ZOOM)
2022/6/21	火曜日	15:00-17:00	アラート引継ぎ会議	WEB(ZOOM)+対面
2022/6/23	木曜日	14:00-16:00	【WEB】ライオン誌ウェブマガジン専門部会	WEB(ZOOM)

計75回

27 法人関連(総会、理事会、執行理事会、正副理事長会、再開発、監査)

16 PRマーケティング委員会(ライオン誌日本語版委員会)関連

32 無 色 各委員会

各委員会内訳: 33回

YCE (対面 1, WEB/HB 5)

国際大会 (対面 1, WEB 3)

会則 (対面 1, WEB 6)

アラート (WEB 8、HB 2)

IDC推薦 (対面 2)

IDC推薦選管 (対面 1, HB 2)

SON (WEB 1)

定 款

一般社団法人日本ライオンズ

2022 年 6 月 15 日改訂版

一般社団法人日本ライオンズ 定款

第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 この法人は、一般社団法人日本ライオンズと称する。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を東京都中央区に置く。

2 この法人は、理事会の決議により従たる事務所を必要な地に置くことができる。

これを変更又廃止する場合も同様とする。

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 この法人は、ライオンズクラブ国際協会の目的を推進し、ライオンズクラブ国際協会と 330～337 複合地区（第 44 条に定める 8 複合地区を指す。以下「複合地区」という）間並びに複合地区内における適正・迅速なる情報の交換を図りつつ複合地区ガバナー協議会をサポートし、もってライオンズクラブ及びクラブメンバー間の相互理解と融和と友情親善を図り、ライオニズムの高揚に寄与し、ライオンズクラブの発展を目的とする。

(事業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) ライオンズクラブ国際協会から発せられる方針、通達、連絡、指示その他一切の事項を受領し、複合地区として適正に検討し意見をまとめ、ライオンズクラブ国際協会に情報を発信し、必要があればこれを当複合地区内に速やかに伝達して周知を図るなど複合地区ガバナー協議会に関する事業
- (2) 日本のライオンズクラブの発展又はクラブメンバーの福利厚生 of 増進のための事業

- (3) ライオンズクラブ国際協会の製作した物品、印刷物の頒布および国際会費関係に関する事業
- (4) ライオン誌日本語版の編集発行その他情報発信に関する事業
- (5) 不動産の取得・賃貸借に関する事業
- (6) 前各号に事業に付帯する事業

(事業年度)

第5条 この法人の事業年度は、毎年7月1日に始まり、翌年6月30日に終わる。

第3章 社 員

(社員)

第6条 当法人の社員は次のとおりとし、正社員を一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般社団法人法」という）上の社員とする。

- (1) 正社員 この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体
- (2) 賛助社員 この法人の事業を賛助するために入会した個人又は団体
- (3) 名誉社員 この法人に功労のあった者又は学識経験者で社員総会において推薦された者

(入社)

第7条 正社員又は賛助社員として入社しようとする者は、入社申込書により申し込むものとする。

2 入社は、社員総会の承認を得なければならない。

(社員の資格喪失)

第8条 社員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退会したとき
- (2) 成年被後見人又は被保佐人になったとき
- (3) 死亡し若しくは失踪宣告をうけたとき
- (4) 除名されたとき

(退会)

第9条 正社員及び賛助社員は、退会届を提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第10条 正社員又は賛助社員が次の各号の一に該当する場合には、社員総会の決議に基づき除名することができる。この場合議決の前に弁明の機会を与えるものとする。

- (1) 当法人の定款又は規則に違反したとき
 - (2) この法人の名誉を傷つけ又は目的に反する行為をしたとき
 - (3) その他正当な事由があるとき
- 2 前項の決議をするには、総正社員の半数以上であって、総正社員の議決権の3分の2以上の議決権を有する者の賛成がなければならない。
- 3 除名は、除名した社員にその旨を通知しなければならない。

(社員名簿)

第11条 当法人は、正社員の氏名および住所を記載した名簿を作成する。

第4章 社員総会（通称「全国ガバナー会」と呼ぶ、以下同じ）

(構成)

第12条 社員総会は、正社員をもって構成する。

- 2 社員総会における議決権は、正社員1名につき1個とする。

(権限)

第13条 社員総会は、次の事項を決議する。

- (1) 役員の選任及び解任
- (2) 役員の報酬又はその支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 各事業年度の事業報告及び決算の承認
- (5) 入社の基準並びに会費等及び賛助社員会費の金額
- (6) 正社員・賛助社員の除名
- (7) 長期借入金並びに重要な財産の処分及び譲受け
- (8) 解散及び残余財産の帰属
- (9) 合併・事業の全部もしくは一部の譲渡
- (10) 前各号に定めるもののほか、一般社団法人法に規定する事項及びこの定款に定める事項

(種類及び開催)

第14条 この法人の社員総会は、定時社員総会及び臨時社員総会の2種とする。

- 2 定時社員総会は、毎事業年度のうち4回以内開催する。
- 3 臨時社員総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
- (1) 理事会において開催する決議がなされたとき
 - (2) 議決権の10分の1以上を有する正社員から、会議の目的である事項及び招集の理由を記載した書面により、招集の請求が理事にあったとき

4 前項第2号の請求をした正社員は、次の場合には、裁判所の許可を得て、社員総会を招集することができる。

(1) 請求後遅滞なく招集の手続きが行われない場合

(2) 請求のあった日から6週間以内の日を社員総会の日とする招集の通知が
発せられない場合

(招集)

第15条 社員総会は、理事会の決議に基づき、理事長が招集する。ただし、すべての正社員の同意がある場合には、その招集手続きを省略することができる。

2 理事長は、前条第3項第2号の規定による請求があったときは、その日から6週間以内の日を社員総会の日とする臨時社員総会の招集の通知を発しなければならない。

3 社員総会を招集するときは、会議の日時・場所・目的たる事項を記載した書面をもって又は電磁的方法により、開催日の1週間前までに通知を発しななければならない。ただし、社員総会に出席しない正社員が書面によって又は電磁的方法により、議決権を行使することができることとするときは、2週間前までに通知を発しなければならない。

(議長)

第16条 社員総会の議長は、理事長がこれに当たる。

(定足数)

第17条 社員総会は、総正社員の過半数の出席がなければ開催することができない。

(決議)

第18条 社員総会の決議は一般社団法人法第49条第2項に規定する事項及びこの定款に特に規定するものを除き、総正社員の過半数が出席し、出席した正社員の過半数をもって決する。

(書面決議等)

第19条 社員総会に出席できない正社員は、予め通知された事項について 書面をもって、又は電磁的方法により議決権を行使することができる。

(報告の省略)

第20条 理事が正社員の全員に対し、社員総会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を社員総会に報告することを要しないことについて、正社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしていたときは、その事項の社員総会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第 21 条 社員総会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成しなければならない。

2 議事録には、議長及び会議に出席した正社員のうちから選出された議事録署名人 2 名がこれに記名押印する。

第 5 章 役員等及び理事会等

第 1 節 役員等

(種類及び定数)

第 22 条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 3 名以上 3 5 名以内

(2) 監事 2 名以上 4 名以内

2 理事のうち、1 名を代表理事とし、1 2 名以内を一般社団法人法第 9 1 条第 1 項 2 号に規定する執行理事とすることができる。

(選任等)

第 23 条 理事及び監事は、社員総会の決議によって正社員のうちから選任する。

2 代表理事及び執行理事は、理事会において選任する。

3 前項で選定された代表理事は、理事長に就任する。

4 理事会は、その決議によって第 2 項で選任された執行理事より副理事長、専務理事及び常務理事を選定することができる。ただし、副理事長は 3 名以内、専務理事は 1 名まで、常務理事は 8 名以内とする。

5 監事は、この法人又は子法人の理事又は使用人を兼ねることができない。

(理事の職務・権限)

第 24 条 理事は理事会を構成し、この定款の定めるところにより、この法人の業務の執行の決定に参画する。

2 理事長は、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 副理事長は、理事長を補佐し、この法人の業務を執行する。また理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、理事会が予め決定した順序によって、その業務執行に係る職務を代行する。

4 専務理事は、理事長及び副理事長を補佐し、この法人の業務を執行する。また理事長及び副理事長に事故があるとき、または理事長及び副理事長が欠けたときは、理事長の業務執行に係る職務を代行する。

- 5 常務理事は、この法人の業務を分担執行する。また専務理事に事故があるとき又は欠けたときは、理事会が予め決定した順序によって、その職務を代行する。
- 6 理事長、副理事長、専務理事、常務理事及び前項の業務を執行する理事は、毎事業年度毎に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務・権限)

第25条 監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の職務執行の状況を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成すること。
- (2) この法人の業務及び財産の状況を調査すること、並びに各事業年度に係る計算書類、事業報告書等を監査すること。
- (3) 監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは意見を述べなければならない。
- (4) 監事は、理事が不正な行為をし、若しくはその行為をする恐れがあると認めるとき又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、これを理事会に報告しなければならない。
- (5) 監事は、前号の報告をするため必要があるときは、理事長に理事会の招集を請求することができる。ただし、その請求があつた日から5日以内に、その請求があつた日から2週間以内の日を理事会の日とする招集の通知が発せられない場合は、直接理事会を招集することができる。
- (6) 監事は、理事会・社員総会に提出しようとする議案・書類その他法令で定めるものを調査し、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を社員総会に報告しなければならない。
- (7) 監事は、理事がこの法人の目的外行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はその行為をする恐れがある場合において、その行為によってこの法人に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、その理事に対しその行為をやめることを請求することができる。
- (8) 監事は、その他監事に認められた法令上の権限を行使する。

(役員の任期)

第 26 条 理事の任期は、選任後 1 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。

3 任期の満了前に退任した役員の補欠として選任された役員の任期は、その退任した役員の任期の満了する時までとする。

4 役員は、第 22 条に定めた役員の員数が欠けた場合には、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまでは、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第 27 条 役員が次のいずれかに該当するときは、社員総会の決議によって解任することができる。この場合、社員総会において決議する前に、その役員に弁明の機会を与えなければならない。また監事の解任決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の 3 分の 2 以上にあたる多数をもって行う。

(1) 職務上の業務に違反し、または職務を怠ったとき

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり又はこれに堪えないとき

(役員の報酬等)

第 28 条 役員には、その職務執行の対価として報酬を支給することができる。

2 役員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

3 前二項に関し必要な事項は、社員総会の決議により別に定める。

(取引の制限)

第 29 条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

(1) 自己又は第三者のためにするこの法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにするこの法人の取引

(3) この法人がその理事の債務を保証すること、その他理事以外の者との間におけるこの法人とその理事との利益が相反する取引

2 前項の取引をした理事は、その取引の重要な事実を遅滞なく理事会に報告しなければならない。

(責任の免除又は限定)

第30条 この法人は、役員的一般社団法人法第111条第1項の賠償責任について、法令の定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

2 この法人は、非業務執行理事、監事のこの法人に対する一般社団法人法第111条第1項の賠償責任について、当該非業務執行理事等が職務を行うにつき善意にして重大な過失のなかった場合、賠償責任を限定する旨の契約を締結することができる。ただし、その契約に基づく賠償責任の限度額は、10万円以上で予め定めた額と法令の定める最低責任限度額とのいずれか高い額とする。

(名誉理事長)

第31条 この法人に名誉理事長1名を置くことができる。

- 2 名誉理事長は、現国際会長・前元国際会長のうちから、理事会において任期を定めた上で選任する。
- 3 名誉理事長は、全ての会に出席できるが、議決権を有する者ではなく、また、報酬を受けない。

(相談役)

第32条 この法人に相談役として若干名を置くことができる。

- 2 相談役は、ライオンズクラブにおいて長期間関与し、その発展に寄与したもののうちから、理事会において任期を定めた上で選任する。
- 3 相談役は、無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

(参与)

第33条 この法人に参与を置くことができる。

- 2 参与は、ライオンズクラブ国際会長が日本代表として推薦した者で、特定の目的を遂行する任務を負うものとする。
- 3 参与は理事会において任期を定めた上で選任する。
- 4 参与は無報酬とする。

(顧問)

第34条 この法人に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は各専門的な資格・知識を有する者のうちから、理事会の議決を得て、理事長が委嘱する。
- 3 顧問には、報酬を支給することができるほか、職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

第2節 理事会等

(理事会の設置・構成)

第35条 この法人に理事会を設置する。

2 理事会は、すべての理事で組織する。

(理事会の権限)

第36条 理事会は、この定款の別に定めるもの及び一般社団法人法に定めるもののほか、次の職務を行う。

- (1) 社員総会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定
- (2) 規則の制定、変更及び廃止
- (3) 前各号に定めるもののほか、この法人の業務執行の決定
- (4) 理事の職務の執行の監督
- (5) 代表理事及び執行理事の選定及び解職
- (6) 従たる事務所その他重要な組織の設置、変更及び廃止
- (7) 内部管理体制の整備
- (8) 各事業年度の事業計画及び収支予算並びに事業報告及び決算の承認
- (9) 長期借入金並びに重要な財産の処分及び譲り受け
- (10) 責任の免除及び責任限定契約の締結

(理事会の種類及び開催)

第37条 理事会は、通常理事会および臨時理事会の2種類とする。

2 通常理事会は、毎事業年度に4回以上開催する。

3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が認めたとき
- (2) 理事長以外の理事から会議の目的である事項を示して、理事長に招集の請求があったとき
- (3) 前号の請求のあった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集通知が発せられない場合に、その請求をした理事が招集したとき
- (4) 第25条の規定により、監事から理事長に招集の請求があったとき又は監事が招集したとき

(招集)

第38条 理事会は、理事長が招集する。ただし前条第3項第3号により理事が招集する場合及び前条第3項第4号後段により監事が招集する場合を除く。

- 2 前条第3項第3号による場合は、理事が前条第3項第4号後段による場合は、監事が理事会を招集する。

(招集の通知)

第39条 理事長は、理事会を招集するときは、会議の日時・場所・目的である事項を記載した書面をもって、開催日の5日前までに、理事及び監事に対してその通知を発しなければならない。

- 2 前項の記載にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続きを経ることなく理事会を開催することができる。

- 3 理事長は、第36条第3項第2号又は第4号後段に該当する場合は、その請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする臨時理事会を招集しなければならない。

(議長)

第40条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(定足数)

第41条 理事会は、理事の過半数の出席がなければ開催することができない。

(決議)

第42条 理事会の決議は、議決に加わることのできる理事の過半数が出席し、出席した理事の過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、議決に加わることのできる理事の3分の2以上の決議をもって行わなければならない。

- (1) 長期借入金並びに重要な財産の処分及び譲り受け
- (2) 責任の免除及び責任限定契約の締結

- 3 前二項の議決について特別の利害関係を有する理事は、決議に加わることはできない。

(決議の省略)

第43条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意志表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすものとする。ただし監事が異議を述べたときは、その限りではない。

(議事録)

第44条 理事会の議事は法令の定めるところにより、議事録を作成し、出席した

理事長及び監事はこれに記名押印しなければならない。

(8 複合地区と賛助社員)

第 45 条 この法人は、ライオンズクラブ国際協会の国際会則および付則及び複合地区会則に定める次の各複合地区（8 複合地区）を賛助社員とする。

3 3 0 複合地区（A 地区、B 地区、C 地区）

3 3 1 複合地区（A 地区、B 地区、C 地区）

3 3 2 複合地区（A 地区、B 地区、C 地区、D 地区、E 地区、F 地区）

3 3 3 複合地区（A 地区、B 地区、C 地区、D 地区、E 地区）

3 3 4 複合地区（A 地区、B 地区、C 地区、D 地区、E 地区）

3 3 5 複合地区（A 地区、B 地区、C 地区、D 地区）

3 3 6 複合地区（A 地区、B 地区、C 地区、D 地区）

3 3 7 複合地区（A 地区、B 地区、C 地区、D 地区、E 地区）

(委員会の設置)

第 46 条 この法人の事業を推進するために必要があるときは、理事会はその決議により委員会を設置することができる。

2 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は理事会の決議により別に定める。

(事務局の設置等)

第 47 条 この法人の事務を処理するために、事務局を設置する。

2 事務局には所要の職員を置く。

3 事務局の組織及び運営に関して必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第 6 章 会 費

(会費)

第 48 条 この法人において、正社員は会費支払いの義務を負わない。

2 賛助社員は、会費規定において別に定めるところにより賛助会費を納入しなければならない。

3 賛助会費は、その全額をこの法人の活動に必要な経費に充てるものとする。

第 7 章 財産及び会計

(財産の種別)

第 49 条 この法人の財産は、基本財産及びその他の財産の 2 種類とする。

2 この法人の目的である事業を行うために不可欠なものとして理事会で定めた財産を基本財産とする。

3 その他の財産は、基本財産以外の財産とする。

(基本財産の維持及び処分)

第 50 条 基本財産についてこの法人は、適正な維持及び管理に努めるものとする。

2 止むを得ない理由により基本財産の一部を処分又は担保に提供する場合には、理事会の議決を経なければならない。

3 基本財産の維持及び処分について必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

(財産の管理・運用)

第 51 条 この法人の財産の管理・運用は、理事長が行うものとし、その方法は、理事会の決議により別に定める財産管理運用規程による。

(事業計画及び収支予算)

第 52 条 この法人の事業計画、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類は、毎事業年度の開始の日までに理事長が作成し、理事会の決議を経て、直近の社員総会に報告するものとする。これを変更する場合も同様とする。

(事業報告及び決算)

第 53 条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書、計算書類及びこれらの付属明細書を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経た上で定時社員総会において承認を得るものとする。

2 この法人は、法令の定めるところにより、計算書類を事務所に備え置くとともに、貸借対照表を公告するものとする。

(長期借入金及び重要な財産の処分又は譲り受け)

第 54 条 この法人が資金の借入をしようとするときは、その事業年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、社員総会において総正社員の半数以上であって、総正社員の議決権の 3 分の 2 以上の議決を経なければならない。

2 この法人が重要な財産の処分又は譲り受けを行おうとするときも、前項と同じ議決を経なければならない。

(会計原則等)

第 55 条 この法人の会計は、一般に公正妥当と認められる公益法人の会計の慣行に従うものとする。

2 この法人の会計処理に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定

める経理処理規定によるものとする。

(剰余金の分配の禁止)

第 56 条 この法人は、剰余金の分配は行わない。

第 8 章 定款の変更、合併及び解散等

(定款の変更)

第 57 条 この定款は、社員総会において、総正社員の半数以上であって、総正社員の議決権の 3 分の 2 以上の議決により変更することができる。

2 定款の変更がなされた場合は、当該年度に賛助会員の複合地区年次大会の報告事項とする。

(解散)

第 58 条 この法人は、一般社団法人法第 148 条第 1 号及び第 2 号並びに第 4 号から第 7 号までに規定する事由によるほか、社員総会において総正社員の半数以上であって、総正社員の議決権の 3 分の 2 以上の議決により解散することができる。

(残余財産の帰属)

第 59 条 この法人が解散等により精算する場合、法人において有する残余財産は、社員総会の決議により、この法人と類似の事業を目的とする他の公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第 9 章 公告の方法

(公告の方法)

第 60 条 この法人の公告は、電子公告による。

2 事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、東京都で発行される日本経済新聞に掲載する方法による。

第 10 章 補 則

(委任)

第 61 条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は、理事

会の決議により別に定める。

付則

この定款は、法人法に定める一般社団法人の設立登記の日から施行する。

平成 28 年 7 月 1 日制定

改訂履歴：

平成 29 年 6 月 13 日改訂（第 23 条）

平成 30 年 8 月 20 日改訂（第 4 章・第 32 条）

令和 3 年 3 月 18 日改訂（第 19 条・第 56 条）

令和 4 年 6 月 15 日改訂（第 22 条、第 23 条）（新第 31 条）

社員・理事及び監事・相談役等の選任基準に関する規定（内規）

一般社団法人日本ライオンズは、当法人の適正・公正な業務運営を図るため、定款第6条（1）に定める正社員、同第22条に定める理事・監事並びに定款第31条に定める相談役の選任基準を以下の通り定める。

第1条（正社員）

正社員は、当該年度における地区ガバナー又は地区ガバナーエレクト（35名）、現国際理事、現 LCIF 国際理事、現国際理事会アポインティー、当該年度における8複合地区ガバナー協議会議長（8名）、前年度8複合地区ガバナー協議会議長（8名）及び前年度の理事長、理事会の指名する者並びに監事が、選任されるものとする。

第2条（理事）

理事は、当該年度における8複合ガバナー協議会議長（8名）、現国際理事、現 LCIF 国際理事、前年度8複合地区ガバナー協議会議長（8名）並びに現国際理事会アポインティー並びに前年度の理事長、理事会の指名する者のうちから選任される。

第3条（理事の再任）

理事の再任は、妨げない。

第4条（監事）

監事は、8複合地区ガバナー協議会議長の地位にあった者から、4名以内を選任する。

但し、理事を兼任することはできない。

新第5条（名誉理事長）

定款第31条の規定により、現国際会長、前・元国際会長のうちから、名誉理事長として1名を選任することができる。

2 名誉理事長は、全ての会に出席できるが、議決権を有するものではない。

3 名誉理事長は、理事会において任期を定めて選任される。

新第6条（相談役）

定款第32条の規定により、当法人に相談役として若干名を置くことができる。

2 相談役は理事会に於いて選任され、任期は2年とする。

新第7条（参与）

定款第33条の規定により、当法人はGAT 日本全域エリアリーダー及び東西GAT エリアリーダー及び各エリアリーダー（以上7名）を参与として選任することができる。

2 参与は理事会において選任され、任期は2年とする。

新第8条（規定の改廃）

この規定の改廃は、理事会の決議により行うものとする。

附 則

この規定は、理事会の議決により 2020 年 5 月 27 日から施行する。

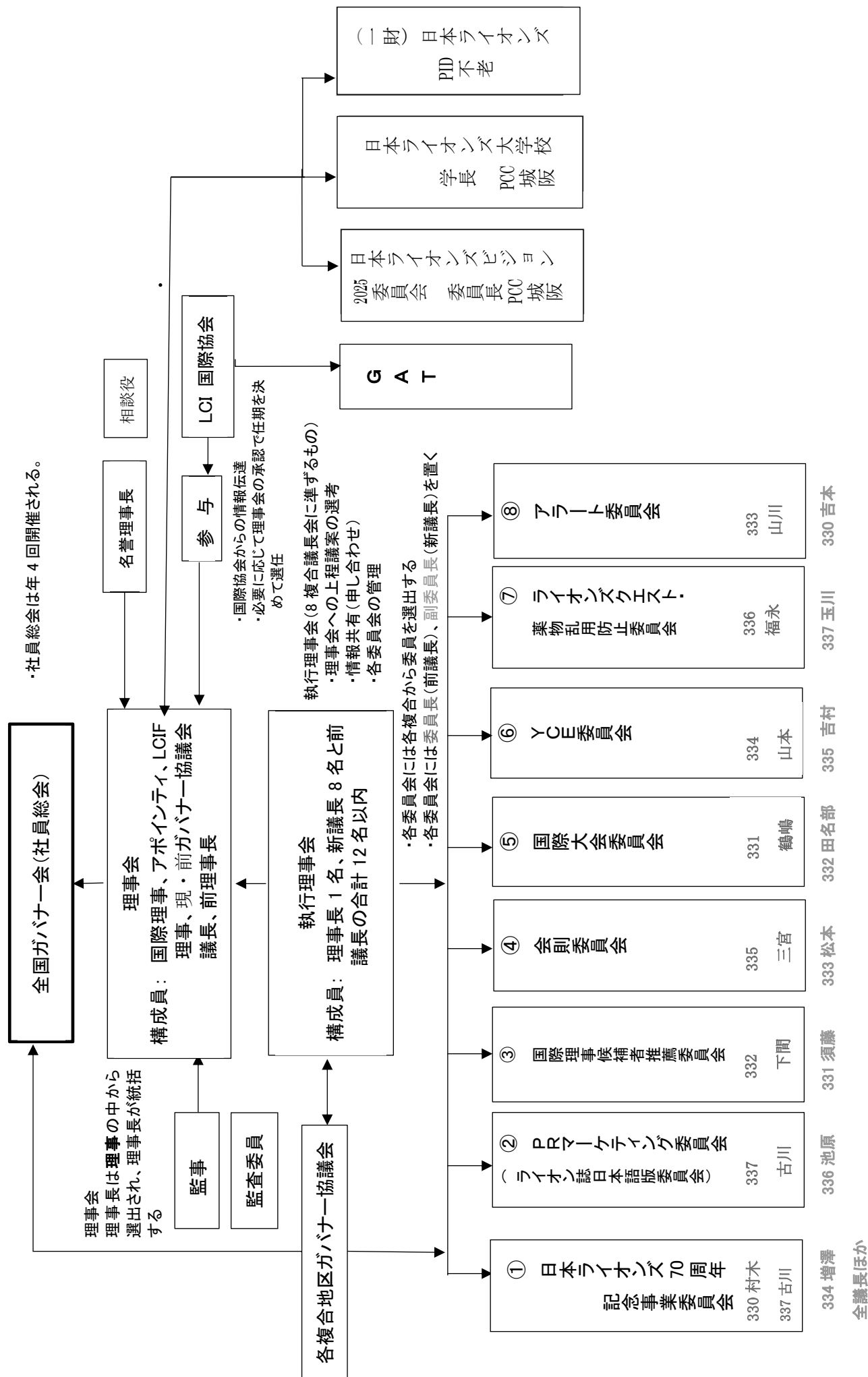
改定履歴

2022 年 3 月 10 日 第 1 条、第 2 条

2022 年 6 月 2 日 新第 5 条、第 6 条、第 7 条

新年度(2022-23)(案)

— 一般社団法人日本ライオンズ組織図 —



新年度(2022-23) 一般社団法人日本ライオンズ 理事会内担当理事(案)

委員会名称、担当内容及び担当理事の選任			2022.7.26 第2回理事会修正版
	委員会名称	担当内容	担当理事 (敬称略)
1	総務・人事・管理	運営全般・総会準備、採用・査定等	村木理事長(330) 山川副理事長(333)、山本専務理事(334) 新理事: 田名部(332)、玉川(337)
2	財務・会計・資産管理	収支予算書など会計全般 出金管理	○鶴嶋(331)、下間(332)、福永(336) 新理事: 須藤(331)、松本(333)、吉村(335)
3	渉外全般、外部との折衝、 PRマーケティング・デジタル化(IT)	一般契約 交渉包括 法人HP管理	仁科前理事長(334) 山川副理事長(333)、古川副理事長(337)、 山本専務理事(334) 新理事: 池原(336)、松本(IT)(333)
4	GMA ・ LCIF	会員数減少に対応するための運営計画	下間(332)、三宮(335) 新理事: 吉村(335)、吉本(330)
5	ビジョン2025、ライオンズ大学校	事務所移転準備等 大学校ゼミ開設	仁科前理事長(334) 新理事: 城阪(335) 新理事: 増澤(334)、須藤(331)
6	スペシャルオリンピックス日本	SON	福永(336)、鶴嶋(331) 新理事: 池原(336)

(敬称略)

* 決済担当: 理事長、専務理事
○財務担当責任者1名、計3名

委員会構成

委員長は現議長、副委員長は新議長が担当する。

	22-23年度 委員会名	委員長(21-22議長)	副委員長(22-23議長)
1	日本ライオンズ70周年記念事業委員会	MD330 村木、MD337 古川	MD334 増澤、MD特別委員(全議長)
2	PRマーケティング委員会 (ライオン誌日本語版委員会)	MD337 古川	MD336 池原
3	国際理事候補者推薦委員会	MD332 下間	MD331 須藤
4	会則委員会	MD335 三宮	MD333 松本
5	国際大会委員会	MD331 鶴嶋	MD332 田名部
6	YCE委員会	MD334 山本	MD335 吉村
7	ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会	MD336 福永	MD337 玉川
8	アラート委員会	MD333 山川	MD330 吉本

2022-2023年度一般社団法人日本ライオンズ収支予算案

2022年7月1日～2023年6月30日

2022年7月11日 作成

(単位： 円)

科 目	B	A	前年度増減額 (A) - (B)	備考
	一般社団法人日本 ライオンズ補正予 算 21-22	一般社団法人日本 ライオンズ予算案 22-23		
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
収入	(94,200,000)	(92,534,654)	-1,665,346	
賛助会費収入	76,800,000	72,000,000	-4,800,000	B会員数予想8万人→A7.5万人(月80円)
国際協会補助金収入	17,280,000	20,414,654	3,134,654	B8万人(レート108円)→A7.5万人×\$2(7月レート136.097693円)
国際協会翻訳料収入	120,000	120,000	0	会長メッセージ、配信記事翻訳
ライオン誌送料収入	25,810,000	23,400,000	-2,410,000	*収支相殺：(個人発送(5万人×@67)+クラブ'発送55万)×6回
広告料収入	300,000	180,000	-120,000	
その他の収入	(4,950,016)	(20,950,000)	15,999,984	
雑収入(注)	350,000	350,000	0	ライオン誌有料の定期購読年契約
各種会議旅費分担金収入	3,600,000	3,600,000	0	*収支相殺
受取利息収入	16	0	-16	
頒布品収入	1,000,000	17,000,000	16,000,000	役員必携・ライオンズ必携・ライオンズ文庫
事業活動収入計	(125,260,016)	(137,064,654)	11,804,638	
2. 事業活動支出			0	
①事業費支出	(4,780,000)	(17,050,000)	12,270,000	
各種委員会会議	(3,600,000)	(3,600,000)	0	=各種会議旅費分担金収入
会議旅費		3,500,000		
会場費	50,000	50,000	0	
雑費	50,000	50,000	0	
その他			0	
頒布品原価・送料等	450,000	13,450,000	13,000,000	
ライオン誌直接出版費	(45,650,000)	(44,000,000)	-1,650,000	(印刷版各月発行)
印刷費	10,030,000	10,200,000	170,000	170万×6回(P36で8.2万部)
発送事務費	5,000,000	5,460,000	460,000	=ライオン誌送料収入
ライオン誌送料	25,810,000	23,400,000	-2,410,000	注：ライオン誌送料の収支相殺
旅費交通費	180,000	0	-180,000	
編集関係諸費	80,000	80,000	0	記念品
原稿料・編集費	4,550,000	4,860,000	310,000	レイアウト、校正外注費等
広告関係諸費			0	
その他			0	
デジタル版関連費(ウェブマガジン)	(6,230,000)	(9,090,000)	2,860,000	(ウェブマガジン毎月更新)
旅費交通費	2,000,000	2,740,000	740,000	取材外注1本/月→2本/月
原稿料・編集費	3,190,000	3,780,000	590,000	写真撮影料、原稿料、動画撮影料等
サーバー管理費	970,000	970,000	0	ウェブマガジン・サーバー費用@64,600×消費税×12ヵ月+電子本化
その他	70,000	1,600,000	1,530,000	ウェブマガジン・リニューアル費用150万円。LINE@5000/月
②管理費支出	(6,600,000)	(5,400,000)	-1,200,000	
理事会旅費	(4,500,000)	(2,000,000)	-2,500,000	
理事会旅費		0	0	
会場費		1,500,000	1,500,000	
雑費		500,000	500,000	
会計監査旅費	600,000	600,000	0	
国際大会・アジアフォーラム関係費	0	1,300,000	1,300,000	濟州島フォーラム、ボストン国際大会各2名派遣
NLLI次世代リーダーシップセミナー補助	1,500,000	1,500,000	0	
事務費	(64,040,000)	(66,390,000)	2,350,000	
人件費	34,794,000	35,990,000	1,196,000	(2,809,200+19万)×12ヵ月
福利厚生費	5,000,000	5,370,000	370,000	
旅費交通費	1,366,000	1,600,000	234,000	定期代12万×12ヵ月、他
通信費	1,420,000	1,420,000	0	
事務用品費	600,000	600,000	0	
リース・レンタル料	700,000	700,000	0	
図書費	50,000	50,000	0	
印刷費	400,000	400,000	0	
備品・消耗品費	350,000	350,000	0	
IT関連費	1,870,000	1,870,000	0	0
支払手数料	260,000	260,000	0	0
顧問料	1,160,000	1,160,000	0	0
地代家賃	14,000,000	14,000,000	0	0
水道光熱料	800,000	800,000	0	0
租税公課	550,000	550,000	0	0
減価償却費	0	550,000	550,000	0
雑費	720,000	720,000	0	0
事業活動支出計	(127,300,000)	(141,930,000)	14,630,000	0
事業活動収支差額	△ 2,039,984	△ 4,865,346	-2,825,362	0
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
前年度繰越金取崩収入	3,000,000	5,000,000	2,000,000	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	(3,000,000)	(5,000,000)	2,000,000	
当期収支差額	960,016	134,654	△ 825,362	

今後の法人会議予定【執行理事会構成員向】

2022年7月19日現在（今後の状況により追加会議が入る場合があります）

変更

日時	会場	会議名	出席対象者など
7月26日（火）11：00-12：00 13:30-16:00(対面)	日本ライオンズ事務所 AP日本橋Cルーム	臨時執行理事会 第2回理事会	執行理事会構成員、各顧問 理事会構成員（理事、監事）、各顧問 名誉理事長
8月9日（火）午前中(対面) 〃 13：30-16：00	AP日本橋Gルーム 〃	第2回執行理事会 第1回社員総会	執行理事会構成員、各顧問 正社員、参与、各顧問
9月2日（金）13:30-16:00(対面) 9月13日（火）	未定	第3回執行理事会	執行理事会構成員、各顧問
10月4日（火）13:30-16:00(対面)	未定	第4回執行理事会	執行理事会構成員、各顧問
11月8日（火）13:30-16:00(対面)	未定	第5回執行理事会	執行理事会構成員、各顧問
11月22日（火）13:30-16:00(対面)	東京	第3回理事会	理事会構成員（理事、監事）、各顧問 名誉理事長
12月6日（火曜）午前中(対面) 〃 13：30-16：00	東京 〃	第6回執行理事会 第2回社員総会	執行理事会構成員、各顧問 正社員、参与、各顧問
1月20日（金）13:30-16:00(対面)	未定	第7回執行理事会	執行理事会構成員、各顧問
2月24日（金）13:30-16:00(対面)	未定	第8回執行理事会	執行理事会構成員、各顧問
3月10日（金）13:30-16:00(対面)	東京	第4回理事会	理事会構成員（理事、監事）、各顧問 名誉理事長
3月24日（金）午前中(対面) 〃 13：30-16：00	東京 〃	第9回執行理事会 第3回社員総会	執行理事会構成員、各顧問 正社員、参与、各顧問

※以降の予定は調整中です。

※執行理事会の開催場所未定の部分は持ち回りで開催の予定。

2022-23 年度 一般社団法人日本ライオンズ
全国ガバナー会（定時社員総会）日程（案）

2022.7.26 現在

定時社員総会

（定款第14条2項） 定時社員総会は、毎事業年度のうち4回以内開催する。

第1回 2022年8月 9日（火）

13：30-16：00 会場：AP 日本橋（東京・日本橋） ハイブリッド

第2回 2022年12月 6日（火）

13：30-16：00 東京（会場未定） 開催形式： 対面またはハイブリッド

第3回 2023年3月24日（金）

13：30-16：00 東京（会場未定） 開催形式： 対面またはハイブリッド

第4回 2023年6月14日（水）

13：30-16：00 東京（会場未定） 開催形式： 対面またはハイブリッド

☆ 各総会開催の概ね2週間前に理事会が開催予定となります。

2022-23年度 一般社団法人日本ライオンズ 事業計画(案)

2022.7.19現在

各委員会・法人会議等開催回数

各委員会名称	回数	集合 (ハイブリッド)	ウェブ
各委員会の旅費補助対象(委員分のみ) 8MDプール負担制			
会則委員会	6	2	4
国際大会委員会	6	2	4
YCE委員会	6	2	4
国際理事候補者推薦委員会(選挙管理委員会)	4	2	2
アラート委員会	8	2	6
ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会	4	2	2
日本ライオンズ70周年記念事業委員会	4	2	2

〈プール制ではない委員会〉

マーケティング委員会(ライオン誌)	12	2	10
-------------------	----	---	----

50回

一般社団法人日本ライオンズ

法人関連会議名	回数	集合 ハイブリッド	ウェブ
社員総会(年4回以内、定款 条)	4	4	0
理事会 (定例4回、その他臨時開催の可能性あり)	4	4	0
執行理事会 (毎月開催、臨時開催の可能性もあり)	12+	6	6
会計監査	2	2	0
再開発関連	随時		

22回

【2022－2023年度 開催決定順】8/5現在（麻薬・覚せい剤乱用防止センター）

	開催日	cabinet	地区	開催エリア	会場
(2021年度)	5月28日（土）	336-A(8.9R)	徳島	徳島市	県建設センター
1	9月13日（火）	337-B	大分	大分市	ホルトホール大分
2	9月14日（水）	337-B	宮崎	宮崎市	宮日会館
3	9月20日（火）	333-D	群馬	高崎市	高崎市総合福祉センター
4	9月26日（月）	334-E	長野	松本市	
5	10月1日（土）	336-A(6.7R)	高知	高知市	高知プリンスホテル
6	10月7日（金）	331-A	道央	札幌市	かでの2.1
7	10月8日（土）	333-B	栃木	宇都宮市	護国神社
8	10月11日（火）	330-B	山梨	甲府市	商工会議所
9	10月13日（木）	334-B	岐阜	zoom	
10	10月14日（金）	334-B	三重	zoom	
11	10月15日（土）	336-C	広島東部	三原市	三原国際ホテル
12	10月16日（日）	332-F	秋田	横手市	
13	10月18日（火）	330-C	埼玉	与野市	与野本町コミュニティセンター
14	10月21日（金）	330-A	東京	渋谷区	オリンピックセンター
15	10月22日（土）	336-C	広島西部	広島市	広島サンプラザ
16	10月23日（日）	332-C	宮城	仙台市	市民活動サポートセンター
17	10月28日（金）	332-D	福島	郡山市	
18	10月31日（月）	333-A	新潟	三条市	リサーチコア
19	11月2日（水）	332-B	岩手	盛岡市	アニーナ
20	11月7日（月）	335-A	兵庫東部	神戸市	
21	11月9日（水）	334-C	静岡	静岡市	
22	11月12日（土）	333-C	千葉	千葉市	
23	11月16日（水）	330-B	神奈川	横浜市	
24	11月19日（土）	334-A	愛知	名古屋市	
25	11月23日（水）	334-D	石川・福井・富山	福井市	
26	11月26日（土）	336-A(8.9R)	徳島	徳島市	
27	12月19日（月）	335-B	大阪		
28	2月3日（金）	333-E	茨城		
29	2月6日（月）	336-D	山口	山口市	セミナーパーク
30	2月7日（火）	336-D	島根	太田市	アステラス
31	2月22日（水）	337-D	鹿児島		
32	3月24日（金）	330-A	東京②		
33					
34					
35					
36					
38					
39					
40					

【2022-2023年度「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」開催のご案内について】 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

*8/5現在 ご連絡のない地区及びまだ日程が決まっていないと連絡のあった地区一覧

*8/9社員総会（全国ガバナー会）にて、主催として日本ライオンズより地区ガバナー各位へ開催意義の呼びかけ、プッシュいただければ幸いです。

地区	エリア	キャビネット	地区ガバナー	現時点での連絡状況	前年度
1 331-B	北海道道東道北	士別	阿部 昭（士別）	一度問い合わせあり/移動キャビネットのため引継ぎが出来ていない可能性あり	コロナで中止（帯広）
2 331-C	北海道道南	函館	馬場 哲也（函館東）	未連絡/移動キャビネットのため引継ぎが出来ていない可能性あり	伊達で開催
3 332-A	青森		岡田 殉（五所川原）	未連絡	八戸で開催
4 332-E	山形		吾妻 正章（大石田）	未連絡	コロナで中止（天童市）
5 335-C	京都/奈良/滋賀	京都	一盛 広樹（舞鶴）	連絡あり/12月以降で検討	
6 335-D	兵庫西部	姫路	濱本 嘉代子（福崎サルビ	連絡あり/これから委員会で開催時期を検討する	
7 336-A	1.2.3R(愛媛)	徳島	市村 道夫	未連絡（愛媛）例年各県（リジョン）毎に開催する地区	コロナで中止（愛媛）
8 336-A	4.5R(香川)	徳島	市村 道夫	未連絡（香川）例年各県（リジョン）毎に開催する地区	香川（琴平）で開催
9 336-B	鳥取/岡山	岡山		未連絡	岡山で開催
10 337-A	福岡	福岡	二場 安之（福岡玄海）	未連絡	福岡市で開催
11 337-C	長崎/佐賀	佐賀	濱田 浩平（長崎南）	未連絡	長崎は開催、佐賀はコロナで中止
12 337-E	熊本	熊本	高田 啓世（免田）	未連絡/3年に1回開催のようですが、他地区同様、毎年の開催をぜひ検討いただきたい	未開催

**(一財)日本ライオンズ主催
第1回全国特別支援学校フットサル大会開催に係る規約**

1 主 催 (一財)日本ライオンズ

2 後 援 全国特別支援学校長会

3 全国大会

- (1) 開催期日 2022 年 11 月 5 日(土)
 (2) 会 場 競技会場：札幌市北ガスアリーナ 46(札幌市中央体育館)
 宿泊式典：京王プラザホテル札幌
 (3) 日 程 2022 年 11 月 4 日(金) 午後 3 時 00 分 開会式・抽選会
 2022 年 11 月 5 日(土) 午前 9 時 30 分 全国大会
 午後 5 時 00 分 表彰式・閉会式
 (4) 宿 泊 京王プラザホテル札幌
 札幌市中央区北 5 条西 7 丁目 2-1 TEL：011-271-0111
 大会参加各校及び大会関係者全員

4 地区大会

- (1) 日 程 2022 年 7 月～9 月末までの間で、全国 9 地区において地区大会を開催すること。
 (2) 開催組織 各地区大会は、次の組織等が担当すること。

地区大会	ライオンズクラブ複合・担当	地区大会の担当組織
西関東地区大会	330 石原 英司	関東知的障がい者サッカー協会
北海道地区大会	331 小野寺眞悟	公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会
東北地区大会	332 岸 秀年	一般社団法人東北サッカー協会
東関東地区大会	333 川島 正行	関東知的障がい者サッカー協会
北信越地区大会	334 橋本 勝策	一般社団法人北信越サッカー協会
東海地区大会	334 橋本 勝策	名古屋オーシャンズ株式会社
関西地区大会	335 松岡 勲	関西知的障がい者サッカー協会
中国地区大会	336 福永 栄一	創志学園環太平洋大学サッカー部
四国地区大会	336 福永 栄一	一般社団法人愛媛県サッカー協会
九州地区大会	337 識名 安信	一般社団法人沖縄県障がい者サッカー連盟

5 出場資格等

- (1) 教育課程 特別支援学校学習指導要領に基づく教育課程により学ぶ特別支援学校等であること。
 (2) チーム 最低 3 名で競技が成立することから単独校生徒で編成されたチームであること。
 (3) 校長承認 各校は、校長の承諾の下で、1 チームを参加できること。
 (4) 編 成 1 チームの上限は、生徒 8 名、引率 3 名、計 11 名で編成すること。
 (5) 補 助 各地区大会出場校は、地区大会予算の範囲内で補助を受けることができること。
 (6) 全国大会 地区大会の優勝校は主催者が経費負担する全国大会に出場すること。

6 競技方法 国際サッカー連盟のフットサル競技規則に準ずるものとする。
 競技規則の詳細は、各地域大会及び全国大会、大会要項によること。

7 その他 各地区大会は、各地区大会開催要項により開催されること。

一般財団法人日本ライオンズ



我が国の子供が「夢」「希望」を失うことなく、高い志を持ち続け、次代を担う者として、思いやりの心を持って、自立していくことができるよう、全国のライオンズクラブが結集し、子供の健全育成に資する事業を継続的に行うことが重要です。

児童養護施設に処遇された小学生への学習を支援する事業

豪雨、地震などの突発的な災害に対する地域支援を行う事業

特別支援学校高等部の全国フットサル大会を開催する事業

日本ライオンズが主催する特別支援学校フットサル大会の意義

フットサルは、人数の多少や場所の広狭さに関係なく、かつルールを特別支援学校に学ぶ児童生徒の障がいの状況に応じて弾力的に工夫すれば、ボール一つで、夏季は冷房の効いた屋内で、冬季は体育館や狭い芝生の上で活発な運動をすることができる集団的スポーツです。このため、特別支援学校において、障がいの程度や状況、体格や性差等の区別なく、1年を通して楽しむことができるスポーツといえます。

また、フットサルは、障がいのある生徒の体力を向上させるとともに、障がいの状況を超えて実施できる集団的スポーツとして、他者の尊重、協働する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、将来の就労への意欲を高めて、より一層、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することができるスポーツです。

一般財団法人日本ライオンズは、これらフットサルの特質を生かして、特別支援学校フットサル大会を北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、四国、中国、九州の各地区で大会を開催するとともに、地区大会の優勝校で覇権を競う全国大会を開催します。小学校、中学校、高等学校には、各種の全国的スポーツ大会が開催されていますが、特別支援学校にはこのような大会がいまだかつてありませんので、本法人が主催する全国特別支援学校フットサル大会は、47都道府県の特別支援学校が参加する歴史的にもきわめて意義ある大会といえます。

実施要項

- 1 目 的 本大会は、特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、
自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他校生徒に敬意を持って接し、もって広く
社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者として
の成長に寄与することを目的に開催します。
- 2 名 称 第1回全国特別支援学校フットサル大会四国大会
- 3 主 催 一般財団法人 日本ライオンズ
- 4 共 催 一般社団法人 四国サッカー協会
- 5 主 管 一般社団法人 愛媛県サッカー協会
- 6 後 援 全国特別支援学校長会
愛媛県教育委員会
徳島県教育委員会
香川県教育委員会
高知県教育委員会
愛媛県障がい者スポーツ協会
- 7 開催期日 2022 年 7 月 10 日（日）
- 8 競技会場 ツインドーム重信 （愛媛県東温市西岡甲 1367 番地）
- 9 参加資格
 - （1）特別支援学校毎の参加とすること。
 - （2）合同チームの場合は、「A 特別支援学校・B 特別支援学校」等の学校名で編成すること。
※合同チームの条件
選手数が不足している特別支援学校の複数チームによる「合同チーム」の大会参加を認めま
す。ただし、本大会の趣旨を重視し、勝利至上を目的とする合同ではないこと、5 名以上の選手
を有する学校同士ではないことを条件とします。
※今大会は、安全面を一番に考えるため、知的障害と聴覚障害に限ります。
- 10 参加人員
1 校のチームは、生徒 3 ～ 8 名、引率 1 ～ 2 名、計 4 ～ 10 名で編成すること。
- 11 競技方法
 - （1）参加チーム数により分けられたグループ毎にリーグ戦を行い、各グループ 1 位チームで決勝
戦を行う。
 - （2）順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は勝 3、分 1、負け 0 とす
る。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム内の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点数
 - ④ グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数
 - （3）試合時間は 20 分（前・後半 10 分）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムは 5 分間（前
半終了から後半開始まで）とする。

※但し、チーム数により試合形式・試合時間は変更します。

12 競技規則

- (1) 2021/2022JFA フットサル競技規則による。また、本大会の競技会規程を下記の通り定める。
- (2) ボールはフットサルボール4号球を使用する。
- (3) 選手の交代は自由である。
- (4) 交代時は、ピッチ内の選手が完全にピッチの外に出てから、次の選手がピッチ内に入る。
- (5) キックインはボールがピッチから出た地点のタッチライン上から静止したボールを蹴る。
- (6) キックオフ、キックインから直接ゴールは出来ない。直接ゴールした場合は、ゴールクリアランスから再開する。
- (7) キックイン、フリーキック等により再開する際は、相手選手は5m以上離れる。
- (8) ファイブファウルを適用しない。
- (9) 安全面を考慮し、対人場面でのスライディングタックルを禁止する。
なお、スライディングタックルがあった際は、その場から直接フリーキックにて再開する。
- (10) バックパスルールは適用しない。
- (11) 退場処分は、レッドカードもしくは1試合2度のイエローカードによるものとするが、次の試合には累積しない。退場後の選手の補充は競技規則に則るものとする。
- (12) 出場選手は必ずレガースを着用することとする。
- (13) ネックレス、指輪、ピアスなどの装飾品をテープ等で覆うことを禁止とする。
- (14) ヘッドギアやフェイスマスク、膝や肘のサポーターは柔らかくパッドの入ったものとする。
- (15) 眼鏡を着用する際は、スポーツメガネ、又はゴーグル等でカバーすること。いずれの場合もチームの第1試合の前に大会本部の承認を得ることとする。
- (16) ベンチには大会に登録された選手、スタッフのみが入れる。

13 競技者の用具

- (1) ユニフォーム
本大会実施年度のJFAユニフォーム規程による。
ユニフォームが準備できない場合、又は両チーム同色の場合は、大会本部が用意したビブスの着用により対処する。
※但し、準備できない場合は大会事務局までご相談ください。
- (2) シューズ
キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)
- (3) ビブス
交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
※交代時ビブスの受け渡しはしませんので、選手数用意してください。
※但し、準備できない場合は大会事務局までご相談ください。
- (4) レガース
出場選手は必ずレガースを着用することとする。

14 組み合わせ

一般社団法人愛媛県サッカー協会において抽選の上決定する。

15 表彰

優勝、準優勝のチームを表彰する。優勝および準優勝チームには盾を授与する。

大会で優勝した学校は、2022年11月5日(土)北海道で開催の全国特別支援学校フットサル大会に出場する。(なお、都合により出場できない場合は、準優勝等の学校が出場する。)

16 参加申込

(1) 参加チームは、参加申込書に必要事項を記載し、プライバシーポリシー同意書にチーム代表者の捺印したもの(PDF)を愛媛県サッカー協会宛てにメールにて提出すること。

(2) 参加申込締切日：2022年6月10日(金)

(下記申込締切日を念頭に、余裕を持って申し込むこと。)

17 参加料
無料とする。

18 経費
(1) 大会開催地までの移動に係る合理的な往復交通費は、予算の範囲内で助成する。
(2) 大会会場から遠隔にある学校は、前泊及び後泊の宿泊費を助成する。
※事前にご連絡ください。
(3) 地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

19 傷害補償
チームの責任において、傷害保険に加入すること。

20 代表者会議
2022年7月10日(日) 9時 大会会場

21 弁当について
弁当についての斡旋は行わない。

22 個人情報保護について
本大会における選手登録情報等の個人情報については、本大会業務遂行の目的のみに使用する。

23 その他
(1) WBGT(熱中症指数)の値により飲水時間又はクーリングブレイクを両チーム、審判団、マッチコミッショナーと協議し、下記のとおり、実施する。
①WBGT(熱中症指数)が28℃以上に達した場合は飲水時間を設ける。
②WBGTが31℃以上の場合、クーリングブレイク(3分)を設ける。
(2) コロナウィルスの感染対策は、一般社団法人愛媛県サッカー協会の感染対策ガイドラインに沿った対応をする。チーム及び関係者、大会役員・スタッフは、健康チェック表を当日大会本部に提出すること。
(3) その他、疑問、不測の事態等が生じた場合には、各会場の競技委員の指示に従うこと。

【その他特記事項】

※新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者全員の健康チェックシートの提出及び当日の体温測定を行う予定です。(別途お知らせします。)

※新型コロナウイルスの感染・拡大の影響等によっては、大会の開催方法等を変更、あるいは開催を延期・中止する場合があります。

【本大会に関する問い合わせ先】

一般社団法人愛媛県サッカー協会 事務局 TEL : 089-990-3663

第1回全国特別支援学校フットサル大会中国地区大会について

岡山西ライオンズクラブ
岩崎様

環太平洋大学サッカー部
監督 桂 秀樹

1 日 時 令和4年8月28日(日) 12:00開始(予定)

2 会 場 IPU・環太平洋大学第4体育館

3 主 催 一般財団法人日本ライオンズ
主 管 IPU・環太平洋大学
後 援 全国特別支援学校長会、一般財団法人岡山県サッカー協会
協 力 IPU・環太平洋大学サッカー部、陸上競技部

4 参加校 岡山県立琴浦養護学校
島根県立益田養護学校
島根県立松江養護学校 (川津校舎、乃木校舎、安来分教室)
島根県立出雲養護学校

計6校

5 日 程 12:00～ 開会式(全チーム参加)
13:00～ 競技 ※日程は予定です。
16:00～ 閉会式(全チーム参加) 出場チーム数が確定してから詳細を決定します。



2021 年 10 月 1 日

関係者各位

ライオンズクラブ国際協会
336 複合地区ガバナー協議会
議長 福永 栄一

スペシャルオリンピックス日本 (SON)
第 8 回夏期ナショナルゲーム・広島大会開催
336 複合地区 大会用 LCIF 専用口座の開設ご案内

拝 啓 中秋の候、皆様におかれましては益々ご清栄のことと存じます。平素は、ライオンズ活動にご指南を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、当 336 複合地区では「2022 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム」(以後 SON 広島大会とします)を 2022 年 11 月 4 日(金)～6 日(日)、広島県にて開催するにあたり準備を進めております。ライオンズ委員会の設置準備を進めながら、SON 実行委員会の一員として毎月の会議に参加するなど、現状における準備を行わせていただいております。つきましては、10/1 に下記口座を開設させていただきましたのでご報告を申し上げます。ご査収をお願い申し上げますとともにご案内をさせていただきます。

敬 具

記

① SON LCIF 専用口座

口座名 : ライオンズクラブ国際協会 MD336 LCIF 議長 福永 栄一

銀行名 : 中国銀行

支店名 : 大供(だいく)支店

口座番号 : 2541821

上記口座にて 2021 年 10 月から 2022 年の大会終了後決算まで、管理をいたしますのでご報告申し上げます。

以 上

記入日：

Date : July 15, 2022

専用管理口座情報票

Bank Account Information

交付金コード		Grant Code	
銀行名	みずほ銀行	Bank Name	MIZUHO Bank
銀行コード		Bank Code	
SWIFTコード ⁱ		SWIFT Code	
支店名	名古屋駅前	Branch Name	Nagoya Ekimae
支店コード	411	Branch Code	411
支店住所		Branch Address	
電話番号		Tel.	
FAX 番号		Fax.	
口座番号		Account No.	
口座名義 ⁱⁱ	ライオンズクラブSON支援事業資金	Account Name	Raionzukurabu SON shienjigyoshikin
口座管理署名者（役職・氏名）		Signatories	
交付金管理責任者	山本基博	Grant Administrator	Motohiro Yamamoto
事業委員長	福永栄一	Project Chairperson	Eiichi Fukunaga
幹事／会計		Secretary/ Treasury	

※ 事業期間中の口座名義の変更や口座の解約はしないで下さい。

ⁱ SWIFT CODE とは、国際送金システム上で送金先の銀行を特定するために用いられるコードです。口座を開設した銀行にお問い合わせ下さい。
ⁱⁱ 開設した日本語の口座名義をどのような英語表記を銀行に確認いただき、Account Name にご記入下さい。

交付金受給者として、上記の条件を受け入れ、かつ順守することをここに承諾いたします。更に、この書類に署名を付すことにより、報告に関するすべての規定に従うと共に、報告内容を証明する適切な書類を提供することに同意いたします。下記の交付金管理責任者の署名をもって、本承諾書を受け入れる意思を表示いたします。本書は LCIF に返送してください。記録用に写しを 1 部保管してください。

(*) 本承諾書には、事業委員長として特定された者を記載する必要があります。事業委員長は、本事業に詳しいライオンズ会員でなければなりません。特定された時点で、事業委員長が以下に署名し、LCIF での記録用に LCIF に連絡先を知らせる必要があります。交付金管理責任者と事業委員長が同一人物であってはなりません。

Motohiro Yamamoto July 14, 2022
交付金管理責任者 Motohiro Yamamoto 日付
Multiple District 334、Council Chairperson 2021-2022

福永 栄一
事業委員長氏名 (楷書および活字体ローマ字)* 7/14/2022 日付
Eiichi Fukunaga

レベッカ・ダウ LCIF 事務総長

日付

みずほ普通預金通帳

名古屋駅前支店

店番号 411

口座番号 3082793

ライオンズクラブSON支援事業資金 本振

MIZUHO

みずほ銀行
www.mizuhobank.co.jp

BDG21230/334
P. 8/8



2022.07.15 SON

国際ライオンズクラブ様
2022 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島
ご支援金の使途について

■ ライオンズクラブ国際様からのご支援金 \$ 300,000
128 円計算 38,400,000 円

■ 前回大会までのご支援項目と金額を元とした基本概算

<物的ご支援(VIK)>

① アスリートへの表彰メダル	1,500 ケ	
表彰リボン	1,000 ケ	小計 1,700,000 円
2. 大会期間中弁当	6,000 食	小計 5,000,000 円
③ 応援フラッグ	47 地区	小計 423,000 円
4. 大会プログラム(制作費/印刷費)	4,000 部	小計 1,200,000 円

A:物的ご支援合計 8,323,000 円

<CASH ご支援>

*公益財団法人として「宿泊・輸送」分野は金額が大きい業務発注となるため
公募・プレゼンのうえ業者選定を行っており支払元が SON である必要があるため、
CASH でのご支援をお願いしております。

1. 宿泊(選手団、競技審判等 1,500 名対象)	小計 26,000,000 円	) 明細 要
2. 大会期間中コロナ対策費	1,500,000 円	
3. 大会補正予算にともなう支出分	2,577,000 円	

B:CASH ご支援合計 30,077,000 円

2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島

補正予算(案)

2020年6月29日から2022年12月31日まで

収入の部

(単位:円)

科 目	2022年広島大会			備考
	既定予算額 ①	今回補正額 ②	予算額 (補正後) ①+②	
1 寄付・協賛金	50,107,000	30,328,000	80,435,000	補正支出予算額(29,828千円)＋負担金収入未徴収分(500千円)
2 補助金等収入	18,100,000	0	18,100,000	・ふるさと寄付金: 2,000千円 ・toto助成金: 12,800千円 (2023年2月入金予定) ・HAP助成金: 1,300千円
3 負担金収入	25,250,000	-500,000	24,750,000	・2022/8月 選手団参加費 22,500千円 (15,000円×1500名) ・2022/11月 大会レセプション参加費 2,250千円 (15,000円×150名) ・2022/3月 採火式レセプション参加費 500千円 (5,000円×100名) ※中止の為未徴収
4 特別会計繰入収入	0	0	0	
5 雑収入	0	0	0	
6 VIK収入	7,850,000	0	7,850,000	ライオンズクラブ、ユニクロ
7 収入合計	99,307,000	29,828,000	129,135,000	

支出の部

科 目	2022年広島大会				備考
	① 既定予算額 ギャッシュ	② 既定予算額 VIK	③ 今回補正額	①+②+③ 予算額 (補正後)	
10 1.大会関係費	72,837,000	7,850,000	29,828,000	110,315,000	
11 競技運営費	11,340,000	0	685,000	12,025,000	※補正
12 ロジスティック関係費	3,572,000	0	0	3,572,000	
13 輸送関係費	6,094,000	0	7,390,000	13,484,000	※補正
14 宿泊関係費	19,920,000	0	6,047,000	25,967,000	※補正
15 ケータリング	5,178,000	0	0	5,178,000	
16 接遇関係費	1,265,000	0	0	1,265,000	
17 広報報道関係費	4,895,000	0	0	4,895,000	
18 開閉会式関係費	6,372,400	0	3,286,000	9,658,400	※補正
19 採火式・分火式・トーチラン	890,000	850,000	0	1,740,000	
20 ボランティア関係費	773,000	7,000,000	0	7,773,000	
21 危機管理関係費	5,022,600	0	12,420,000	17,442,600	※補正
22 総務企画関係費	6,015,000	0	0	6,015,000	
23 HAP関係費	1,300,000	0	0	1,300,000	
SO活動推進費					
25 選手団関係費					※総務企画関係費に合算
26 体験プログラム					
29 2.事務局費	15,720,000	0	0	15,720,000	
30 人件費	8,910,000	0	0	8,910,000	
31 旅費交通費	3,255,000	0	0	3,255,000	
32 事務所賃借料	2,430,000	0	0	2,430,000	
33 事務所経費	705,000	0	0	705,000	
34 消耗品費	210,000	0	0	210,000	
35 通信運搬費	210,000	0	0	210,000	
36 3.雑費	100,000	0	0	100,000	
37 雑費	100,000	0	0	100,000	
38 4.予備費	3,000,000	0	0	3,000,000	予備費として300万円予算計上
39 予備費	3,000,000	0	0	3,000,000	
38 5.VIK	0	0	0	0	
27 VIK	0	0	0	0	※各項目にて計上
40 支出合計	91,457,000	7,850,000	29,828,000	129,135,000	
41 収支差額				0	

予 算 執 行 状 況

2020年6月29日から2022年2月28日まで

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	実 績 額	率 (%)	差 異 e - a	備 考
寄付金収入	5,107,000	4,062,810	79.55	△ 1,044,190	
協賛金収入	45,000,000	25,300,000	—	△ 19,700,000	
補助金等収入	16,100,000	1,000,000	6.21	△ 15,100,000	
負担金収入	25,250,000	0	—	△ 25,250,000	
物品等寄付 (VIK)	850,000	0	0.00	△ 850,000	
物品等協賛 (VIK)	7,000,000	0	0.00	△ 7,000,000	
収 入 合 計	99,307,000	30,362,810	30.57	△ 68,944,190	

支出の部

科 目	予 算 額	実 績 額	率 (%)	差 異 a - e	備 考
1.大会関係費	72,637,000	1,659,360	2.28	70,977,640	
競技運営費	11,340,000	524,443	4.62	10,815,557	
1 (陸上競技)	(708,000)	(109,736)	15.50	(598,264)	関係者交通費、PCR検査キットの郵送料、振込手数料
2 (バドミントン)	(439,000)	(17,220)	3.92	(421,780)	関係者交通費、切手代、振込手数料
3 (バスケットボール)	(515,000)	(95,139)	18.47	(419,861)	関係者交通費、PCR検査キットの郵送料、振込手数料
4 (ボウリング)	(1,033,400)	(95,808)	9.27	(937,592)	関係者交通費、PCR検査キットの郵送料、振込手数料
5 (馬術)	(505,500)	(5,931)	1.17	(499,569)	関係者交通費、切手代
6 (サッカー)	(330,000)	(36,564)	11.08	(293,436)	関係者交通費、PCR検査キットの郵送料、切手代
7 (競泳競技)	(893,000)	(24,135)	2.70	(868,865)	関係者交通費、PCR検査キットの郵送料、振込手数料
2 (卓球)	(651,500)	(252)	0.04	(651,248)	切手代
3 (テニス)	(457,000)	(24,814)	5.43	(432,186)	関係者交通費、PCR検査キットの郵送料、切手代、振込手数料
4 (柔道)	(227,500)	(84)	0.04	(227,416)	切手代
5 (フライングディスク)	(224,000)	(29,554)	13.19	(194,446)	関係者交通費、切手代、振込手数料
6 (自転車)	(182,500)	(84)	0.05	(182,416)	切手代
(GMS)	(2,293,600)	(85,122)	3.71	(2,208,478)	関係者交通費
(表彰運営費)	(2,880,000)	(0)	0.00	(2,880,000)	
ロジスティック関係費	(3,572,000)	0	0.00	3,572,000	
輸送関係費	6,094,000	0	0.00	6,094,000	
宿泊関係費	19,920,000	0	0.00	19,920,000	
ケータリング	5,178,000	0	0.00	5,178,000	
接遇関係費	1,265,000	0	0.00	1,265,000	
広報報道関係費	4,895,000	980,659	20.03	3,914,341	広島大会特設付運営費、スマートフォン印刷費、記者発表会場運営費等
開閉会式関係費	6,372,400	0	0.00	6,372,400	
採火式・分火式・トーチラン	890,000	4,032	0.45	885,968	切手代
ボランティア関係費	773,000	2,016	0.26	770,984	切手代
危機管理関係費	5,022,600	0	0.00	5,022,600	
(警備)	(4,432,600)	(0)	0.00	(4,432,600)	
(救護)	(590,000)	(0)	0.00	(590,000)	
総務企画関係費	6,015,000	42,160	0.70	5,972,840	動産総合保険料
HAP関係費	1,300,000	106,050	8.16	1,193,950	関係者交通費、PCR検査キットの郵送料、振込手数料
2.事務局費	15,720,000	4,336,783	27.59	11,383,217	(大会関係費に含めないもの)
人件費	8,910,000	1,709,590	19.19	7,200,410	大会事務局スタッフ給与(2021.6月分～1名分、2022.1月分～1名分)、通勤交通費
旅費交通費	3,255,000	1,103,475	33.90	2,151,525	大会事務局スタッフ・SONスタッフ交通費、宿泊費、月極駐車場使用料
事務所賃借料	2,430,000	810,000	33.33	1,620,000	大会事務局使用料
事務所経費	705,000	287,580	40.79	417,420	振込手数料、初期電話工事費 名刺代、DropBox使用料
消耗品費	210,000	211,709	100.81	△ 1,709	事務用品費、ポスター用紙、封筒等
通信運搬費	210,000	214,429	102.11	△ 4,429	電話・FAX・インターネット回線使用料、郵便・発送費等
3.雑費	100,000	0	0.00	100,000	
4.予備費	3,000,000	0	0.00	3,000,000	
5.物品等寄付 (VIK)	850,000	0	0.00	850,000	
6.物品等協賛 (VIK)	7,000,000	0	0.00	7,000,000	
支 出 合 計	99,307,000	5,996,143	6.04	93,310,857	
収 支 差 額	0	24,366,667			

第8回SON日本夏季ナショナルゲーム・広島大会

出納帳（中国銀行 普通 2541830）

日付	相手	預入金額	借方税額	引出金額	貸方税額	残高	摘要
	勘定科目						
R4.1.1	現金	1,000				1,000	2021/10/1口座開設
R4.1.11	協賛金	5,000				6,000	五所川原LC(332-A)
R4.1.12	協賛金	20,000				26,000	北九州門司みなとLC(337-A)
R4.1.13	協賛金	5,000				31,000	五所川原津軽LC(332-A)
R4.1.13	協賛金	5,000				36,000	五所川原中央LC(332-A)
R4.1.14	協賛金	10,000				46,000	岩槻LC(330-C)
R4.1.19	協賛金	5,000				51,000	前橋中央LC(333-D)
R4.1.19	雑収入	6,646,441				6,697,441	繰越金(MD331)
R4.1.19	協賛金	250,000				6,947,441	332-B地区
R4.1.19	協賛金	400,000				7,347,441	333-E地区
R4.1.20	協賛金	5,000				7,352,441	稲築LC(337-A)
R4.1.21	協賛金	5,000				7,357,441	十和田湖LC(332-A)
R4.1.25	協賛金	5,000				7,362,441	嘉穂LC(337-A)
R4.1.28	協賛金	5,000				7,367,441	山田LC(337-A)
R4.1.28	協賛金	5,000				7,372,441	掛合LC(336-D)
R4.1.28	協賛金	5,000				7,377,441	鹿追LC(331-B)
R4.1.31	協賛金	5,000				7,382,441	置戸LC(331-B)
R4.2.10	協賛金	695,000				8,077,441	336-A地区
R4.2.10	協賛金	435,000				8,512,441	336-B地区
R4.2.21	受取利息	6				8,512,447	普通預金利息(中国銀行)
R4.2.24	協賛金	260,000				8,772,447	332-E地区
R4.2.24	協賛金	5,000				8,777,447	宇都宮中央LC(333-B)
R4.2.28	協賛金	365,000				9,142,447	337-C地区
R4.3.1	協賛金	5,000				9,147,447	川口LC(330-C)
R4.3.3	協賛金	245,000				9,392,447	334-E地区
R4.3.4	協賛金	5,000				9,397,447	釧路ゆうやけLC(331-B)
R4.3.4	協賛金	220,000				9,617,447	331-C地区
R4.3.8	協賛金	5,000				9,622,447	瑞穂LC(336-D)
R4.3.9	協賛金	355,000				9,977,447	331-A地区
R4.3.10	協賛金	5,000				9,982,447	新湊LC(334-D)
R4.3.10	協賛金	270,000				10,252,447	332-C地区
R4.3.10	協賛金	245,000				10,497,447	333-D地区
R4.3.10	協賛金	5,000				10,502,447	美川LC(334-D)
R4.3.14	協賛金	5,000				10,507,447	芽室LC(331-B)
R4.3.15	協賛金	380,000				10,887,447	334-B地区
R4.3.15	協賛金	5,000				10,892,447	金沢西LC(334-D)
R4.3.16	協賛金	5,000				10,897,447	浦幌LC(331-B)
R4.3.16	協賛金	5,000				10,902,447	富山アートLC(334-D)
R4.3.18	協賛金	10,000				10,912,447	福井LC(334-D)
R4.3.22	協賛金	10,000				10,922,447	金沢城北LC(334-D)
R4.3.22	協賛金	5,000				10,927,447	福井中央LC(334-D)
R4.3.23	協賛金	225,000				11,152,447	332-A地区
R4.3.23	協賛金	5,000				11,157,447	福井九頭竜LC(334-D)
R4.3.24	協賛金	350,000				11,507,447	333-A地区
R4.3.24	協賛金	5,000				11,512,447	芦原三国LC(334-D)
R4.3.25	協賛金	5,000				11,517,447	本別LC(331-B)
R4.3.25	協賛金	295,000				11,812,447	330-C地区
R4.3.25	協賛金	5,000				11,817,447	福井フェニックスLC(334-D)
R4.3.28	協賛金	10,000				11,827,447	金沢菊水LC(334-D)

日付	相手	預入金額	借方税額	引出金額	貸方税額	残高	摘要
	勘定科目						
R4.3.28	協賛金	5,000				11,832,447	小松LC(334-D)
R4.3.28	協賛金	608,845				12,441,292	335-A地区
R4.3.29	協賛金	215,000				12,656,292	334-D地区
R4.3.29	協賛金	225,000				12,881,292	332-F地区
R4.3.29	協賛金	400,000				13,281,292	336-D地区
R4.3.29	協賛金	523,510				13,804,802	336-C地区
R4.3.30	協賛金	500,000				14,304,802	335-C地区
R4.3.30	協賛金	765,000				15,069,802	335-B地区
R4.3.30	協賛金	455,000				15,524,802	330-A地区
R4.3.30	協賛金	550,000				16,074,802	334-A地区
R4.3.30	協賛金	5,000				16,079,802	334-D地区(追加分)
R4.3.30	協賛金	245,000				16,324,802	335-D地区
R4.3.30	協賛金	5,000				16,329,802	福井葵LC(334-D)
R4.3.31	協賛金	220,000				16,549,802	333-B地区
R4.3.31	協賛金	625,000				17,174,802	337-A地区
R4.4.1	協賛金	230,000				17,404,802	331-B地区
R4.4.1	協賛金	315,000				17,719,802	337-B地区
R4.4.1	協賛金	5,000				17,724,802	335-D地区(追加分)
R4.4.8	協賛金	415,000				18,139,802	333-C
R4.4.12	協賛金	375,000				18,514,802	334-C
R4.4.13	協賛金	10,000				18,524,802	330-A地区(追加分)
R4.4.13	協賛金	5,000				18,529,802	新南陽和歌山LC(336-D)
R4.4.27	協賛金	275,000				18,804,802	337-E地区
R4.4.28	協賛金	400,000				19,204,802	330-B地区
R4.4.28	広告宣伝費			880,000		18,324,802	Tシャツ代(フジマキタイ)
R4.4.28	支払手数料			550		18,324,252	振込手数料(群馬銀行)
R4.4.28	広告宣伝費			870,100		17,454,152	のぼり旗一式・ピンバッジ代(株)ゲローリ-
R4.4.28	支払手数料			550		17,453,602	振込手数料(三井住友銀行)
R4.5.13	協賛金	170,000				17,623,602	332-D
R4.5.26	協賛金	5,000				17,628,602	330-A地区(追加分)
R4.5.29	協賛金	10,000				17,638,602	Tシャツ・ハッチセット代(長崎様)(336-C)
R4.5.29	協賛金	10,000				17,648,602	Tシャツ・ハッチセット代(高橋様)(336-C)
R4.5.31	協賛金	10,000				17,658,602	Tシャツ・ハッチセット代(弓場様)(336-C)
R4.6.2	協賛金	10,000				17,668,602	Tシャツ・ハッチセット代(鳴門様)(336-C)
R4.6.2	協賛金	100,000				17,768,602	Tシャツ・ハッチセット代(日L執行理事会)(336-C)
R4.6.8	協賛金	125,000				17,893,602	337-D地区
R4.6.10	協賛金	100,000				17,993,602	Tシャツ・ハッチセット代(336-C)
R4.6.15	広告宣伝費			82,500		17,911,102	टीーライト用ランタン一式(有)チェロキー)
R4.6.24	荷造運賃			3,720		17,907,382	宅配便(ヤマト運輸株)
R4.6.24	通信費			840		17,906,542	切手代(日本郵便株)
R4.7.19	協賛金	815,125				18,721,667	336-C(追加分)



MD336専用口座

※8複合地区内からの支援金

※広島大会委員会事業費

普通預金通帳

ライオンズクラブ国際協会 8複合地区カバナー協議会
議長 橋本 栄 池原 堅 様

店番号 112

口座番号 2541830



4

年 月 日	記号	お払戻し金額	お預り金額/お利息	差 引 残 高	備 考
1 04-04-28	900	ライオンズクラブ330	330-B *400,000	*19,204,802	980*
2 04-04-28	100	*880,550	アリコミ カ) マネ	*18,324,252	112*
3 04-04-28	100	*870,650	アリコミ カ) クローリ	*17,453,602	112*
4 04-05-13	900	332-D チク ライオン	*170,000	*17,623,602	980*
5 04-05-26	900	330-Aチク	*5,000	*17,628,602	980*
6 04-05-29	900	ナカサキ コウタロウ	*10,000	*17,638,602	980*
7 04-05-30	900	タカハシ シンゴ	*10,000	*17,648,602	980*
8 04-05-31	900	ミミハ ヒデトシ	*10,000	*17,658,602	980*
9 04-06-02	900	ナルト タクシ	*10,000	*17,668,602	980*
10 04-06-06	900	BL 教員理事会 10名様分	*100,000	*17,768,602	112
11 04-06-08	900	ライオンズクラブ337	*125,000	*17,893,602	980*
12 04-06-10	900	テマリバシヤ (336-c地区)	*100,000	*17,993,602	112
13 04-06-15	100	*82,500	有) 行ロキ	*17,911,102	113
14 04-06-24	100	西澤 隆 *4,560		*17,906,542	113
15 04-07-19	900	ライオンズクラブコクサ 336-c 易金	*815,125	*18,721,667	980*
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					

●小切手等の証券類によるご入金の場合はそのお払戻しができる予定の日を次のとおり表示します。

手〇-〇〇

お払戻しができる日

小切手等の種類

79-報告事項-

表示 お払戻可能予定日

手1 お預り当日

手2 お預り日から2営業日目

手3 お預り日から3営業日目

手4 お預り日から4営業日目



LCIF30万ドル専用口座

普通預金通帳

ライオンズクラブ国際協会MD336LCIF

議長 ~~福永 栄~~ 池原 堅

様

店番号 112

口座番号 2541821



	記号	お払戻し金額	お預り金額/お利息	差引残高	備考
03-10-01	990	新規	*1,000	*1,000	112

LCIF30万ドル専用口座

LCIF30万ドル専用口座

帳票名：預金出納帳

事業所名：第8回SON日本夏季JatM'-4・広島大会(LCIF)

2022/7/7現在

日付	相手 勘定科目	預入金額	借方税額	引出金額	貸方税額	残高	摘要
令和3年10月1日	現金	1,000				1,000	2021/10/1口座開設

口座名義変更 同意書

2022 年 6 月 30 日

336 複合地区ガバナー協議会事務局 御中

下記のとおり、当団体が所有する S O N 口座の内容確認し年度更新に伴い代表者を変更することに同意します。

振替口座の記号番号

① S O N 口座

口座名 : ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区ガバナー協議会 議長 福永 栄一
銀行名 : 中国銀行
支店名 : 大供（だいく）支店
口座番号 : 2541830

② S O N L C I F 専用口座

口座名 : ライオンズクラブ国際協会 MD336 LCIF 議長 福永 栄一
銀行名 : 中国銀行
支店名 : 大供（だいく）支店
口座番号 : 2541821

団体の所在地

岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F TEL : 086-234-0695

団体の名称

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区ガバナー協議会

新代表者

池原 堅

旧名義人 : 2021-2022 年度 ライオンズクラブ国際協会
336 複合地区ガバナー協議会 議長

署名 福永 栄一

新名義人 : 2022-2023 年度 ライオンズクラブ国際協会
336 複合地区ガバナー協議会 議長

署名 池原 堅

336複合地区 GMT報告書 (2022年6月末現在)

336複合地区GMTコーディネーター 眞鍋 隆
(単位：人)

会員数 ※6月末計	A地区	B地区	C地区	D地区	336複合地区
2015-2016年度	6,105	3,392	3,442	3,391	16,330
2016-2017年度	6,171	3,143	3,376	3,200	15,890
2017-2018年度	6,013	3,069	3,340	3,042	15,464
2018-2019年度	5,793	2,921	3,212	2,918	14,844
2019-2020年度	5,518	2,775	3,069	2,820	14,182
2020-2021年度	5,414	2,630	3,003	2,753	13,800
2021-2022年度	5,177	2,461	2,858	2,629	13,125
前年度期首比	-237	-169	-145	-124	-675

(単位：人)

四半期会員増強計画 期間：2021年7月1日～2022年6月30日

	A地区 蔵本 守雄		B地区 平山 智雄		C地区 三島 英揮		D地区 大野 美雄		336複合地区 合計	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
7月～9月	100	110	50	59	50	74	50	56	250	299
退会見込み者数	80	134	45	49	30	53	40	48	195	284
10月～12月	150	95	50	37	50	37	50	39	300	208
退会見込み者数	80	122	10	53	30	49	40	42	160	266
1月～3月	100	91	50	18	50	24	40	35	240	168
退会見込み者数	80	116	5	41	30	35	30	47	145	239
4月～6月	50	96	50	39	50	44	40	47	190	226
退会見込み者数	90	257	30	179	80	187	69	164	269	787
会員増強計画 計	400	392	200	153	200	179	180	177	980	901
退会見込み者数 計	330	629	90	322	170	324	179	301	769	1,576
会員純増目標 合計	70		110		30		1		211	

※チャーター20を含む

※チャーター60含む

会員増強計画に対する方法

A地区ガバナー 蔵本 守雄	純増70人を目標にし、会員の健康維持を第一に考えて現会員には長生きをしてライオンズ活動をと願っています。若い方に入会して頂くためにJC、IT関係の会合に出席して声掛けをします。女性会員を増やしたいのでデニス同好会等の会員にもお逢いして、そのような団体を支部結成できるよう努力す
B地区ガバナー 平山 智雄	例会が楽しくなければ退会者が増えるので、各クラブとも「楽しい例会」をして頂きたい。またASK1の運動、そしてクラブ内でも会員セミナーを実施していただきたいと思っています。
C地区ガバナー 三島 英揮	ガバナー諮問委員会やセミナー等でスライドを用いてディスカッション等を行い会員増強について周知徹底を行っている。 ※7月～9月のMYLCI上では退会者53名だが、実際には年度末（6月）16名の退会者の報告を行っていないが、今期になって退会処理されたため、実数は37名である。
D地区ガバナー 大野 美雄	あらゆる機会をとらえて増強を奨励する。期間後半での退会防止を呼び掛ける。楽しいライオンズライフが送れるよう、親子クラブ、近隣クラブとの交流を奨励する。
336複合地区 GMTコーディネーター 眞鍋 隆	各ガバナーの目標を達成する為に支部作りや女性会員増強にチャレンジして下さい。又、退会防止には「会員種別」を活用し、ガバナー・地区役員・地区委員・クラブ会長・クラブ委員長が責任をもって、クラブの為に会員増強・維持に真剣に取り組んで下さい。

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

2022年7月末現在 国際本部集計

*増減及び入退会等は期首からの累計

	クラブ数	新結成	解散	クラブ数増減	会員数	入会者数	退会者数	会員数増減	男性会員数	女性会員数	女性の割合	家族会員(子会員)	子会員の割合	男性子会員数	女性子会員数	子会員を除く会員数
330-A	191	0	0	0	5,631	85	65	20	4,043	1,588	28.2%	1,354	24.0%	463	891	4,277
330-B	147	0	0	0	3,618	55	8	47	3,028	590	16.3%	341	9.4%	101	240	3,277
330-C	72	0	0	0	1,746	24	10	14	1,453	293	16.8%	208	11.9%	71	137	1,538
330MD	410	0	0	0	10,995	164	83	81	8,524	2,471	22.5%	1,903	17.3%	635	1,268	9,092
331-A	70	0	2	-2	2,366	52	16	36	1,952	414	17.5%	306	12.9%	67	239	2,060
331-B	73	0	0	0	2,143	49	23	26	1,758	385	18.0%	305	14.2%	47	258	1,838
331-C	43	0	0	0	1,486	31	10	21	1,211	275	18.5%	231	15.5%	62	169	1,255
331MD	186	0	2	-2	5,995	132	49	83	4,921	1,074	17.9%	842	14.0%	176	666	5,153
332-A	61	0	0	0	1,971	39	9	30	1,503	468	23.7%	344	17.5%	70	274	1,627
332-B	50	0	0	0	1,909	27	13	14	1,268	641	33.6%	647	33.9%	115	532	1,262
332-C	54	0	0	0	1,533	20	12	8	1,097	436	28.4%	376	24.5%	80	296	1,157
332-D	67	0	0	0	2,212	61	13	48	1,674	538	24.3%	478	21.6%	111	367	1,734
332-E	51	0	0	0	1,664	25	10	15	1,336	328	19.7%	260	15.6%	47	213	1,404
332-F	45	0	0	0	1,259	10	5	5	917	342	27.2%	282	22.4%	52	230	977
332MD	328	0	0	0	10,548	182	62	120	7,795	2,753	26.1%	2,387	22.6%	475	1,912	8,161
333-A	69	0	0	0	2,712	72	11	61	2,290	422	15.6%	231	8.5%	73	158	2,481
333-B	45	0	0	0	1,436	14	6	8	934	502	35.0%	411	28.6%	104	307	1,025
333-C	109	0	1	-1	2,726	40	22	18	2,134	592	21.7%	341	12.5%	114	227	2,385
333-D	47	0	0	0	1,848	38	12	26	1,377	471	25.5%	427	23.1%	100	327	1,421
333-E	80	0	0	0	4,052	51	16	35	2,918	1,134	28.0%	1,188	29.3%	374	814	2,864
333MD	350	0	1	-1	12,774	215	67	148	9,653	3,121	24.4%	2,598	20.3%	765	1,833	10,176
334-A	108	0	0	0	5,344	74	37	37	3,678	1,666	31.2%	1,614	30.2%	331	1,283	3,730
334-B	74	0	0	0	3,685	32	9	23	2,730	955	25.9%	1,035	28.1%	241	794	2,650
334-C	73	0	0	0	2,915	43	13	30	2,510	405	13.9%	281	9.6%	39	242	2,634
334-D	92	0	0	0	4,682	97	16	81	3,327	1,355	28.9%	1,314	28.1%	228	1,086	3,368
334-E	49	0	0	0	2,324	38	1	37	1,623	701	30.2%	654	28.1%	153	501	1,670
334MD	396	0	0	0	18,950	284	76	208	13,868	5,082	26.8%	4,898	25.8%	992	3,906	14,052
335-A	69	0	0	0	1,781	50	13	37	1,401	380	21.3%	136	7.6%	30	106	1,645
335-B	151	0	0	0	6,355	81	54	27	4,489	1,866	29.4%	1,554	24.5%	329	1,225	4,801
335-C	101	0	0	0	3,579	61	25	36	2,981	598	16.7%	294	8.2%	65	229	3,285
335-D	57	0	0	0	1,685	25	11	14	1,360	325	19.3%	215	12.8%	50	165	1,470
335MD	378	0	0	0	13,400	217	103	114	10,231	3,169	23.6%	2,199	16.4%	474	1,725	11,201
336-A	137	0	0	0	5,200	57	34	23	4,015	1,185	22.8%	784	15.1%	154	630	4,416
336-B	85	0	0	0	2,481	43	23	20	2,067	414	16.7%	227	9.1%	44	183	2,254
336-C	79	0	0	0	2,898	64	24	40	2,387	511	17.6%	340	11.7%	64	276	2,558
336-D	84	0	0	0	2,659	49	19	30	2,336	323	12.1%	118	4.4%	15	103	2,541
336MD	385	0	0	0	13,238	213	100	113	10,805	2,433	18.4%	1,469	11.1%	277	1,192	11,769
337-A	114	0	0	0	4,572	118	33	85	3,359	1,213	26.5%	797	17.4%	149	648	3,775
337-B	61	0	1	-1	2,189	24	19	5	1,775	414	12.7%	277	12.7%	43	234	1,912
337-C	73	0	0	0	3,120	47	13	34	2,187	933	28.9%	902	28.9%	247	655	2,218
337-D	68	0	0	0	2,133	44	35	9	1,741	392	18.4%	227	10.6%	54	173	1,906
337-E	52	0	0	0	1,670	31	19	12	1,361	309	18.5%	241	14.4%	72	169	1,429
337MD	368	0	1	-1	13,684	264	119	145	10,423	3,261	23.8%	2,444	17.9%	565	1,879	11,240
総計	2,801	0	4	-4	99,584	1,671	659	1,012	76,220	23,364	23.5%	18,740	18.8%	4,359	14,381	80,844

22-23年度 日本グローバル・アクション・チーム (GAT) 体制表

2022.07.28

アンバサダー：元国際会長・LCIF理事会・国際理事会・ 元国際理事・元地区ガバナー
--

グローバルアクションチーム委員長：カジット・ハバナナダ元国際会長
GAT日本全域リーダー：城阪勝喜 (MD335)
GAT東日本全域副リーダー 川島正行 (MD333)
GAT西日本全域副リーダー 松岡 勲 (MD335)

GATメンター		
中村泰久 (MD330)	鈴木誓男 (MD334)	田中敏朗 (会員増強担当) (MD335)

GATエリアリーダー		
SCP・FWT及びMD330/331担当 小川晶子 (MD330)	GMT及びMD332/333担当 今井文彦 (MD330)	GLT及びMD334/335担当 濱野雅司 (MD330)
GST及びMD336/337担当 識名安信 (MD337)		

複合地区GATファシリテーター (協議会議長)		
複合地区GLTリーダー	複合地区GMTリーダー	複合地区GSTリーダー
複合地区SCP・FWTリーダー		

地区GATファシリテーター (地区ガバナー)		
地区GLTリーダー	地区GMTリーダー	地区GSTリーダー
地区GETリーダー (任意)		

リジョン・チエアパーソン & ゾーン・チエアパーソン		
----------------------------	--	--

クラブGATファシリテーター (クラブ会長)		
第1副会長／指導力育成委員長	GMT 会員委員長	GST 奉仕委員長
		SCP・FWT クラブリーダー

SCP: Specialty Club Program スペシャルティクラブ・プログラム

GMT: Global Membership Team グローバル・メンバーシップ・チーム

GST: Global Service Team グローバル・サービス・チーム

FWT: Family and Women Team ファミリー&ウーマン・チーム

GLT: Global Leadership Team グローバル・リーダーシップ・チーム

GET: Global Extension Team グローバル・エクステンション・チーム

2022-2023 第 1 回 GMT コーディネーター会議議事録

日時：2022年7月20日 9時—10時

場所：ABO HALL 402号室

書記：進藤義夫

出席者：L 川島正行・L 松岡勲・L 今井文彦・L 進藤義夫・L 諏訪省三・L 菅野文吉・

L 中村通・L 真鍋隆・L 古川隆

欠席：L 伊賀保夫・L 大阿久久二男・L 正岡章

議事：顔合わせと今期方針について

1. 今井文彦エリアリーダーご挨拶と方針説明

*チームを作って活動してほしい

*今期の目標が入会者 2 万人

*皆様のお力を借りてやっていきたい

*地区 G や ZC とチームを作って頂いて毎月（長くても 2 カ月に）1 回報告してほしい

2：東西担当エリアリーダー挨拶

- ① 東日本担当：川島正行 全日本で 2 万人の新会員が目標 今 10 万人なので、たとえ 1 万人辞めたとしても 1 万人残る。

このところ右肩下がりの会員数を、今期は最低でもプラスに転じたい。

シーハン国際会長は「目標 2 割」でなく「目標 3 割」と昨日公式訪問でおっしゃった。

最重点は GMA （すなわち会員数を伸ばす）FWT/GST/GLT と連携して会員増強

我々は「やれやれ」と上から言うのではなく、ガバナーのサポート計画値をもちたてる係

今期のガバナーからはそれぞれ目標数値を出してもらっているが、安全圏の数字

ガバナーには、もう一度会員の目標値をあげてもらい直すと国際会長が言っていた

会員の皆さんには、自分自身が会員を増強するのを見せる・私たちの背中を見せるのが重要と思っているので、個人的にも会員増強をしてほしい。

「高齢化が進んだ」「コロナで例会が開けない」（だから難しい）という意見もあるが、皆さんの力の中で、考え方をかえていく必要がある。

女性会員についても、ガバナーには女性会員・家族会員について前向きにうけるように。

これからの予定 年に 2 回、12 月・4 月にサクセスストーリー(成功事例)をもちより

（昨年も伊丹で発表があったように）今年も発表会を設ける予定。

数字が GAT 全体の数字になるのでよろしく願いしたい。

- ② 西日本担当：松岡勲

GAT 全日本全域に城阪さん、その下に東・西と副リーダーが設けられた
エリアリーダーという制度は昨年までは 4 部門で別れていた
今年度は何をおいても会員増強。
城阪エリアリーダーは「2 割」と発信し続けることでみんなの耳にのこる。
エリアリーダー会議の中でブライアンシーハン会長は「3 割だ」と言っていた。
連携を図って全部門が会員増強に向けた「GLT/GST/FWT」
昨年まで 4600 名程度の純減が続いていたが
昨年は 6 つのパイロット地区のうち 4 地区（他から 1 地区）が純増
（5 月末までは全パイロット地区が純増）
5 月末で 680 名。6 月に減少に転じて純増 70 名（パイロット地区）
全国的には純減を抑えて 2722 名 1900 名抑えた
今年は前地区で GMA をやる。昨年から研修していて 1 月から 6 月まで各準地区での
スタートをしている。
今後は準地区・複合単位で発信してほしい。
今までは次年度体制が動くのが 7 月～ということになっていたがもはや遅すぎる
数年間にわたって、次年度が 1 月から動けるような体制で
今期は純増で。よろしくお願いします。

今井 チームとしてガバナーをお願いしてほしいのが
エクステンション 昨年新クラブ 113 クラブ 1 クラブ 20 名
ZC をお願いして各ゾーンで新クラブを作してほしい
全国で 490 のゾーンがあるので 490 クラブできれば。
新クラブ結成が難しいのはよくわかるが
名古屋の堀川の掃除するクラブなど地元密着のクラブを少しでも作って頂きたい。

以後、担当紹介

MD330 だけ 2 人いる

A 伊賀

BC 進藤 今井さんの保佐 として事務局的な活動も兼ねている

今井さんとともに 呼んでください

MD331 諏訪

昨年度も GMT の複合コーディネーター 昨年はパイロット地区で L 松岡の指導を受
けて活動した

鶴島 G のもとでいい数字だったんですが土壇場で解散、

GMA のおかげで現ガバナーや 1 副 2 副のチームワークがしっかりできた

以前は1年区切りで燃え尽きろということだったが複数年連携を取ってやっていく
これをBCにも広げていきたい 次年度ZC（副ZC）をつくって一緒に活動している

MD332 菅野

最後のご奉公として、切羽詰まった会員増強を担当

5年前の332の人数に戻す。

Aは108人の純増、ほかはほぼほぼ壊滅

ZCと1副2副＋キャビネット会議で複合から呼んでもらう。

7月8月9月と。

まずは宮城（仙台）が純増のモデルとしたい この思いでGMTをやらせてもらう

全体で1万2万3万増を目標としたい

1地区80名くらい、複合で500名くらい増やしたいと考えている

MD333 大阿久 本日休み

MD334 中村通

個人的にはクラブ会長⇒ZC⇒地区 GMT⇒ガバナーとずっと GMT

やることはやってきたけど結果伴わず

対策を練るのは大事だが、GMTは地域の細かい人間関係に立ち入っていく必要がある。

方針を出しても最後には地域の人間関係に左右される

最近、高齢化クラブに5名メンバーが入った、世代交代で一人息子世代が入ったら

そのJC仲間が入った

2世が入らないという問題 に 突破口があるのかなと思っている

この回でお知恵をいただいていく

当複合はマイナス554名

A地区はパイロットで32名の純増、ほかの地区は減らしていた

10年前からはプラス593名

その時は山田国際会長が出る前、家族会員をやる前、そこでどーんと増えたのが

いまは正会員が辞めた時に家族会員もセットで辞めるという現象があった

今はさらに世代交代が進んでいる。

元気な人の周りに、地区も元気になるので目指していきたい

MD335 正岡 欠席

MD336 真鍋

中国四国9県担当2016－2017ガバナーでプラス66名だったのが

そのあとずっと GMT コーディネーター複合で6年目
最後の最後で増やす予定 8月2日岡山で GMA 会議（松岡副会長にきてもらう）
高齢化 60周年及び解散式のクラブとか。
支部の資料も末端までおりてなかった。
自分の時は各クラブへの訪問に行ったのが功を奏したと思う
とにかく頭を柔らかく、会員種別をたくさん示していきたい
賛助会員や優待会員など、ぼつぼつ効果がでてきた。
同じこといっても下に伝わるには3年かかる。MD336では4年かかった
古い方が20名辞めたクラブでも次に若い方が30名増やしてもらったクラブもあった
特効薬を考えたい

MD337 古川

前向きでプラスのことを聞いて影響を受けた
昨年ガバナーで337-A 会員増強リテンション委員会を設けて
各クラブを全部回ってみた。
だが、6月に201名減って 6月だけで98名いれた 最終的にはマイナス36に。
一昨年は145名のマイナス その前は230のマイナス 次第にマイナスは減っている
フレンドシップガイドとかリテンションのやり方
会員増強したクラブのデータも本にした A5サイズの冊子を各クラブに配った。
昨年2722名ですんだのは35名のガバナーが努力したからこそ。
A地区はエクステンション3クラブ、支部3支部
新クラブを作ったほうが早い。
クラブを辞めたい人を支部にすれば
リテンションについての方法を皆さんを話しをしたい（辞めるなら5名で支部作る）
今井さんをお願い LINE グループ作ってほしい

今井 自分は今まであまり関わっていなかったもので、新しいやり方
過去を否定するのではなく新しくどんどんやっていきたいと思う
私としては正会員を増やしていきたい
地域で密着した活動をしている人をライオンズに なかなか難しい
若いメンバーはいつて来たら若い考えで動いて行ってもら
いろんな発想が出て来る
コロナの中でも奉仕活動はいろいろできる 若手の人を一人でも入れていく

以下、意見交換。

* 組織が新しくできて帰ってわかりにくくなっている。

- * 学生支部など若い人たちに考えをまかせる。
- * 8月31日までに新クラブ作ると表彰される
- * チームとは、地区によって自由に作っていい
(GMT 特化とかでもいいし、GMA でもいい)
- * 目標を作っていったって2カ月に1回報告してほしい。

2022～2023 年度
第 1 回 336 複合地区 GMA 会議 次第

開催日時：2022 年 8 月 2 日（火）13：30～15：30
開催場所：岡山シティホテル桑田町 別館会議室 3F「305 号室」
岡山市北区桑田町 3-30 TEL 086-221-0001

出席者

GAT 日本全域副リーダー（GMA 担当） （335-C 地区京都南ライオンズクラブ所属）	講師	松岡 勲	○
336 複合地区ガバナー協議会議長		池原 堅	○
336 複合地区ガバナー協議会副議長（A 地区ガバナー） 336-A 地区 GMA リーダー		市村 通夫	○
336 複合地区ガバナー協議会副議長（B 地区ガバナー） 336-B 地区 GMA リーダー		西尾 慎一	○
336 複合地区ガバナー協議会幹事（D 地区ガバナー） 336-D 地区 GMA リーダー		中島 繁	○
336 複合地区ガバナー協議会会計（C 地区ガバナー） 336-C 地区 GMA リーダー		弓場 秀俊	○
336 複合地区 GMT コーディネーター・GMA 世話人 336-A 地区 GMT コーディネーター 336-A 地区 GMA 副リーダー・GMA 新会員チームリーダー		真鍋 隆	○
336-A 地区第一副地区ガバナー 336-A 地区 GMA 副リーダー		山崎 勝彦	○
336-A 地区第二副地区ガバナー 336-A 地区 GMA 副リーダー		石井 淑雄	○
336-A 地区 GMA 会員満足度チームリーダー		長尾 和彦	○
336-A 地区 GAT・GMA・会則委員長		一宮 昭夫	○
336-A 地区 SCP・FWT コーディネーター 336-A 地区 GMA 新クラブチームリーダー		山本久美子	○
336-B 地区第一副地区ガバナー 336-B 地区 GMT コーディネーター		藤井 信英	○
336-B 地区 GLT コーディネーター GMA チームリーダー		難波 進	○
336-B 地区 GST コーディネーター		高尾 佳孝	○
336-B 地区 FWT コーディネーター		岡嶋 正和	○
336-C 地区 GMT コーディネーター		齊藤 由香	○
336-C 地区 GLT コーディネーター		高田 信吾	○
336-C 地区 GST コーディネーター		九十九 誠	○
336-C 地区 GMA・GAT 委員会委員		村上 進	○
336 複合地区 SCP・FWT 副コーディネーター 336-C 地区 SCP・FWT コーディネーター		宮本 浩二	○
336 複合地区 GST コーディネーター		片山 敏子	○
336-D 地区第一副地区ガバナー		澤 辰水	○
336-D 地区 GMT コーディネーター		山崎もとみ	○
336-D 地区 GLT コーディネーター		岡田 和好	○
		椎木 一三	○

司会進行：336 複合地区 GMT コーディネーター・GMA 世話人

336-A 地区 GMT コーディネーター・GMA 副リーダー・GMA 新会員チームリーダー 真鍋 隆

1. 開会挨拶 336 複合地区 GMT コーディネーター・GMA 世話人
336-A 地区 GMT コーディネーター
GMA 副リーダー・GMA 新会員チームリーダー 真鍋 隆
2. 議長挨拶 336 複合地区ガバナー協議会議長 池原 堅
3. 講師紹介 336 複合地区 GMT コーディネーター・GMA 世話人
336-A 地区 GMT コーディネーター
GMA 副リーダー・GMA 新会員チームリーダー 真鍋 隆
4. 講演 GAT 日本全域副リーダー（GMA 担当） 松岡 勲
5. 質疑応答
6. 閉会挨拶 336 複合地区ガバナー協議会副議長（B 地区ガバナー）
336-B 地区 GMA リーダー 西尾 慎一

2022～2023年度ライオンズクラブ国際協会
8 複合地区 GLT コーディネーター会議 議事録

日時:2022 年 7 月 19 日(火)10:30～12:00

場所:ウインクあいち 1205 会議室

進行:GAT エリアリーダーL.濱野雅司

【出席者】

GAT 東日本副リーダー L.川島正行

GAT 西日本副リーダー L.松岡 勲

GAT エリアリーダー(GLT 担当) L.濱野雅司

GLT・各複合地区コーディネーター

MD330L.森川明治郎

MD331L.阿部 昭

MD332L.竹下直義

MD333L.小高左起子

MD334L.加藤史典

MD335L.中谷豊重

MD336L.三島英輝

MD337L.乗田 泰

1. 開会及び進行

GAT エリアリーダー(GLT 担当)L.濱野雅司

2. ご挨拶

GAT 東日本副リーダー L.川島正行

L.城阪日本全域リーダーのもと今期は 2 割の会員増強支援を最優先に GLT も取り組んでいただきたい。

GAT 西日本副リーダー L.松岡 勲

今期西日本を担当しますが、前期は会員減少が緩やかになって GMA の取組は一定程度の成果を上げています。今期も継続して会員増強支援を中心に取り組んでいただけますようお願い申し上げます。

3. 議事録作成人指名

MD330L.森川明治郎を指名し、受諾した。

4. 議事(議事録)

(1)自己紹介及び各複合地区の現況、予定について

MD330 L.森川 明治郎

四半期報告書の第 1 回は 9 月になると思うので、そこに向けて今期の計画を取りまとめたいと思います。いつも同じ顔ぶれでない全日本レベルでのリーダー発掘フォーラムを開催する必要性があると思います。

MD331 L.阿部 昭

現職ガバナー兼任になります。次世代リーダーの育成は、高齢化への対応を含めて考えていかな
いといけない課題だと思います。

MD332 L.竹下 直義

早期にコーディネーター会議を開いて各準地区への支援を行い、コロナ禍前までは開催していた
交流会を今期は開催したい。

MD333 L.小高 左起子

3年目の GLT コーディネーターとして、女性のリーダーシップ開発では一歩先を進んでいるので、
女性リーダーの発掘をさらに進めていきたい。

MD334 L.加藤 史典

7年目の GLT コーディネーターということで、幅広い後継者の育成に尽力してゆきたい。

MD335 L.中谷 豊重

前職の議長就任に伴い突然に引き継いだので、戸惑いはありますが皆さんと共に取り組んでまい
ります。

MD336 L.三島 英輝

前ガバナーとしての経験を生かして、複合地区の次世代育成に取り組みます。

MD337 L.乗田 泰

MD337 では女性のリーダーが少ないのが悩み、この課題に取り組んでいきたい。

○複合地区 GLT コーディネーターの取組について L.濱野雅司

各複合地区の GLT の会合がある場合は是非お声掛けいただきたい。MD334、MD335 については
GAT 担当地域なので GAT 会議を各 MD で開催いたします。グループリーダーとして、第 1 副地
区ガバナーの研修のお手伝いも致しますので、日程について調整連絡をお願い致します。

○GAT 東日本副リーダー L.川島正行

コロナなどにおける集会制限などあるが、できない理由よりも必ず会員増強をする決意で取り組ん
でいただきたい。

(2) 国際会長メッセージについて

“Together We Can”

皆でやればできる。(みんなで偉業を成し遂げる)

国際会長【4 つの重点項目】

○ライオンズの輪を広げる

○財団の活力を保つ

○奉仕の目標を高く掲げる

○地域社会で弱者の代弁者となる

(3)GAT について

【グローバルアクションチームの組織表】について

※GAT 日本全域副リーダーを日本独自に設置した。

国際協会では、新たに、新クラブのエクステンションに特化した GET (グローバル・エクステンション・チーム) が任意で設置された。日本でも今後は設置を検討。

スペシャルティクラブ・プログラム・コーディネーターは、日本では、FWTが兼務する。

(4)GLT 複合地区/地区コーディネーターの役割と責任

【複合地区 GLT コーディネーターの役割】の概要

○地区の GLT コーディネーターと連絡を密にとる。

○新しいリーダーの発掘と育成

○FVDG (9～10 月に協会から資料あり)・SVDG の複合地区研修は必須である。

決められた項目に合わせてアレンジしたものを研修しても良い。

○四半期報告はエリアリーダー及び議長へ(具体的な取り組みを四半期ごとに報告)

① 地区の計画及び成功例を集める。

② 地域の課題は何か? 分析

③ 課題に対する支援と取り組みを具体的に示す。

【準地区コーディネーター】の役割

クラブ役員研修

ゾーンチェアパーソン研修(前期 4 月以降開催は今期に含む)

新会員のオリエンテーション

ライオンズ学習センターの活用

公認ガイディングライオン研修

【会員増強への協力】

国際協会では活動を通じて 10%会員増強を図ることを目標にすることを推奨する。

(※日本の GAT では、2 万人の会員増強、2 割アップ目標)

GLTとして、会員増強の推進(GMAにおける会員の満足度向上＝会員の維持)に取り組む

クラブのGMA支援＝「会員満足度向上ガイド」、「クラブの成功を目指して」プログラムの活用

GLTとして、GMA の3つのチームの一つの「会員の満足度向上チーム」に協力していく

国際大会時のGMAセミナーの感想(阿部 MD331GLT)

→国際協会的には、クラブに落とし込むことが大事であるという認識

例えば、クラブに委員会などをつくって取り組む必要がある。

(5)【GLT スケジュール】の注意点

指導力育成補助金プログラムを活用(ELLI, RLLI, ZC 研修、FVDG、SVDG 複合地区研修など)

複合地区・地区のチェックリスト(※補助金プログラム記載があるので注意)で確認

(8) 全日本・次世代リーダーシップセミナーの開催の可否(70名程度)について

ALLIは、今期はシンガポールのため20名定員となるので、日本独自の第二副地区ガバナー研修開催の可否(SVDG 35名全員参加可能)

MD330 L. 森川 明治郎

新しい人材の発掘の機会を積極的に設けるべきで、組織には様々な世代のリーダーが必要。
一定期間セミナーなどを行わないと、一定の世代が欠落する恐れがあることを危惧する。

MD331 L.阿部 昭

SVDGによるALLI研修はやるべき。選出条件が課題

MD332 L.竹下 直義

国際協会的には20名枠出るので、ALLIのようなSVDG研修はやるべき。
リアルに顔を合わせることは大事
選出条件が課題、開催日程周知に時間が必要、刺激的には全日本開催は大事だと思う。

MD333 L.小高 左起子

次世代リーダーシップについて、参加者が同じ顔ぶれではどうだろうか疑問。
次のステップになる研修ならよい。
SVDG研修は自覚が芽生える第1歩である。是非開催していただきたい。

MD334 L.加藤 史典

20名制約では全員出れないので、全員が集まる機会は貴重、意見交換は重要
地区から複合へ複合から全日本へと研修の機会を設けることは必要

MD335 L.中谷 豊重

ガバナーになるための研修としては重要で外せない。
次世代リーダーシップ研修は、335Bでは積極的に取り組んでいるので継続していきます。

MD336 L.三島 英輝

限定2名では少ないので、Zoomなど取り入れて多くのメンバーが参加する機会をお願いしたい。

MD337 L.乗田 泰

ALLI受講に関して、自分は20名に漏れた経験があるので、是非日本で35名全員参加できるように開催していただきたい。

GATエリアリーダー濱野雅司

SVDG研修は上期の終わり頃に開催する方向で検討します。
次世代リーダーの育成は、ワークショップ・ディスカッションを中心に開催を検討したい。

(9) 各種研究会の日程について

今期の、上級ライオンズリーダーシップ研究会(ALLI)、講師育成研究会(FDI)、ライオンズ認定講師プログラム(LCIP)については、下記のように計画されているが、未だ募集はしていない。
開催と募集については、あらためてご連絡し、申し込みは、OSEAL 調整事務局とエリアリーダーに連絡する。実際に講師として活躍するメンバーに応募してもらいたい。定員オーバーの場合は調整する。

- 上級ライオンズリーダーシップ研究会 (ALLI) : タイ・バンコク
2023 年 3 月 24 日～26 日
- 講師育成研究会 (FDI) : 日本・大阪
2023 年 4 月 28 日～30 日
- ライオンズ認定講師プログラム (LCIP) : シンガポール
2023 年 2 月 24 日～27 日上級ライオンズリーダーシップ研究会 (ALLI)
- その他国際協会指導力育成プログラム
初級ライオンズリーダーシップ研究会 (ELLI) 2 泊 3 日 複合地区単位で開催
地方ライオンズリーダーシップ研究会 (R LLI) 2 泊 3 日 複合地区 (バーチャル開催限定)

実践力のある人材育成しないと人材不足になる

利用できる研修補助金の申込忘れずに

日程変更など可能なので開催予定の報告を優先してください。

Learn で報告をすることを忘れずに。どんなライオンズ研修でも報告可 (地区コーディネーターにも伝える)

講師並びに参加者名簿及び開催スケジュールについて、報告しない場合は達成率0%となり、研修会が開催されていないことになってしまいます。

【次回開催予定】

8 複合地区 GLT コーディネーター会議は次回 9 月開催予定

議事録作成人: MD330GLT コーディネーター L. 森川明治郎



2022 年 7 月 27 日

ライオンズクラブ国際協会

議長 各位

地区ガバナー 各位

地区 GST コーディネーター 各位

ライオンズクラブ国際協会

GAT エリアリーダー	識名 安信
MD330GST コーディネーター	井田 渉
MD331GST コーディネーター	松浦 淳一
MD332GST コーディネーター	岸 秀年
MD333GST コーディネーター	星野 勝美
MD334GST コーディネーター	浜島 清美
MD335GST コーディネーター	増本 盛美
MD336GST コーディネーター	澤 辰水
MD337GST コーディネーター	久田 裕己

「思いやりは大切なこと」奉仕アワード地区推薦のお願い

拝啓 甚暑の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、表題の件につきまして、国際協会の奉仕アワードが下記の通り選考されます。昨期は 8 複合地区より 1 件ずつのノミネートをいたしました。その結果、2 件の奉仕活動がアワードを受賞されました。受賞クラブにとっては大いに励みとなる国際協会アワードです。ぜひ、全てのクラブへご周知いただき、多くのノミネートをいただきますよう、お願いいたします。

敬具

記

○ノミネート条件・基準

別紙をご参照ください

○推薦用紙提出期日

- (1) **9 月 30 日**までに地区 GST コーディネーターが署名をし、複合地区 GST コーディネーターへ提出（件数の制限はありません）
- (2) **10 月 31 日**までにガバナー協議会で審査した 1 件の推薦書に複合地区 GST コーディネーターが署名をし、国際協会へ提出

以上



ライオンズクラブ国際協会 - 奉仕事業
「思いやりは大切なこと」奉仕アワード

ライオンズクラブ国際協会「思いやりは大切なこと」奉仕アワードに関する規則

「思いやりは大切なこと」奉仕アワード（KMSA）の受賞資格を得るためには、クラブは以下の条件および基準を満たさなければなりません。

条件

- ▶ 正規の状態にある
- ▶ MyLion®でクラブの事業を報告した
- ▶ 過去 3 年間このアワードを受賞していない

基準

- ▶ ライオンズクラブ国際協会および LCIF の奉仕分野（糖尿病、環境保全、視力保護、小児がん、食料支援、災害援助、青少年支援、人道支援）のニーズを満たす
- ▶ 独創性と革新力を発揮する
- ▶ 大きなインパクトと長期的な持続可能性を持つ
- ▶ ライオンズクラブ国際協会の価値を用いて有意義な体験を構築し、ライオンズブランドとの関係やつながりを生み出す（「ライオンズのイメージアップ」と同義）

期日

推薦書はすべて、必要事項を記入の上 10 月 31 日までに E メール

（serviceactivities@lionsclubs.org）でライオンズクラブ国際本部に提出しなければなりません。

10 月 31 日を過ぎてから提出された推薦書はすべて無効となりますので、ご注意ください。

以下のスケジュールを役立てて、地域レベルでの推薦プロセスを進めてください。

- ▶ 7 月 1 日～10 月 31 日：推薦受付期間。
- ▶ 8 月 15 日：クラブ奉仕委員長とレオクラブ会長が推薦書 1 件を地区グローバル奉仕チーム（GST）コーディネーターに E メールで提出する期限。
- ▶ 9 月 15 日：地区 GST コーディネーターが推薦書 1 件を複合地区グローバル奉仕チーム（GST）コーディネーターに E メールで提出する期限。
- ▶ 10 月 31 日：複合地区 GST コーディネーターがライオンズクラブに関する推薦書 1 件および/またはレオクラブに関する推薦書 1 件を国際本部に提出する期限。



推薦用紙に関する規則

- ▶ 奉仕事業を説明するための答えは質問につき 400 字以内とし、ダブルスペースで黒のインクを使ってタイプされた補足文書として提出しなければなりません。
- ▶ 推薦用紙の残りのセクションは、ダブルスペースで黒のインクを使ってタイプされていなければなりません。
- ▶ 承認の署名は、黒のインクを使ってタイプすることができます。
- ▶ 提出される推薦書はいずれも、すべてのセクションに必要な事項が記入され、適切な承認の署名がもれなく付されていなければなりません。記入もれのある推薦書および/または適切な承認の署名が付されていない推薦書は無効となります。
- ▶ 複合地区は、年に 1 つのライオンズクラブと 1 つのレオクラブを推薦できます。
- ▶ ライオンズクラブとレオクラブの推薦書は別々に提出する必要があります。
- ▶ 30 のアワードのうち、少なくとも 3 つがレオクラブに対して贈られます。

その他の情報

- ▶ 「思いやりは大切なこと」奉仕アワードのランディングページ
- ▶ 「思いやりは大切なこと」奉仕アワード・プログラムの概要



「思いやりは大切なこと」奉仕アワード 推薦用紙

推薦書は、10月31日までにEメール（serviceactivities@lionsclubs.org）で国際本部に提出してください。

セクションA：クラブ奉仕委員長 現在クラブに奉仕委員長が存在しない場合には、クラブ役員がクラブを推薦できます。その場合には、承認の署名の横にクラブでの役職名をご記入ください。

（この推薦を受けるクラブの種類をご指定ください） ☐ライオンズクラブ ☐レオクラブ
国

ライオンズクラブ/レオクラブ名

ライオンズクラブ/レオクラブ番号

奉仕事業名

この事業は MyLion®を通じて報告されています ☐はい ☐いいえ

MyLion®での報告日 _____

奉仕受益者数 _____

奉仕時間数 _____

ボランティアの人数 _____

どの分野の奉仕事業でしょうか。該当する分野すべてに✓を入れてください。

糖尿病 ☐

視力保護 ☐

食料支援 ☐

災害援助 ☐

環境保全 ☐

青少年支援 ☐

小児がん ☐

人道支援 ☐

奉仕事業の説明

本推薦用紙の最後にある「セクションA：奉仕事業の説明 補足文書」を参照してください。質問に答えることで、奉仕事業について説明する必要があります。

私は、ライオンズクラブ国際協会が本書に記載の情報と添付の写真をPR目的で使用することに同意します。 ☐はい ☐いいえ



クラブ奉仕委員長/レオクラブ会長氏名（活字体ローマ字）

クラブ奉仕委員長/レオクラブ会長会員番号

クラブ奉仕委員長/レオクラブ会長 E メールアドレス

クラブ奉仕委員長/レオクラブ会長（署名－手書きまたはタイプ）

日付

本推薦書の承認者：

ライオンズクラブ会長/レオクラブ顧問氏名（活字体ローマ字）

会員番号

ライオンズクラブ会長/レオクラブ顧問 E メールアドレス（活字体ローマ字）

ライオンズクラブ会長/レオクラブ顧問（署名－手書きまたはタイプ）

日付

セクション B：地区 GST コーディネーターの承認 現在クラブの所属地区に地区 GST コーディネーターが存在しない場合には、地区ガバナーがこの推薦を承認すべきです。その場合には、承認の署名の横にその旨ご記入ください。

現在地区未編成地域内にあるクラブについては、コーディネーター・ライオンの承認を受けて、推薦書を国際本部に提出してもらうことができます。その場合には、承認の署名の横にその旨ご記入ください。

私は、_____地区の_____ライオンズ/レオ（いずれかを○で囲む）クラブを「思いやりは大切なこと」奉仕アワードに推薦します。以下の署名を以て、上記クラブの推薦が地区キャビネットによって合意されたことを証明いたします。

地区 GST コーディネーター氏名（活字体ローマ字）



地区 GST コーディネーター会員番号

地区 GST コーディネーターE メールアドレス（活字体ローマ字）

地区 GST コーディネーター（署名－手書きまたはタイプ）

日付

セクション C：複合地区 GST コーディネーターによる承認 現在所属複合地区に複合地区 GST コーディネーターが存在しない場合には、協議会議長がこの推薦を承認すべきです。その場合には、承認の署名の横にその旨ご記入ください。

私は、____複合地区の____ライオンズ/レオ（いずれかを○で囲む）クラブを「思いやりは大切なこと」奉仕アワードに推薦します。以下の署名を以て、上記クラブの推薦がガバナー協議会によって合意されたことを証明いたします。

複合地区 GST コーディネーター氏名（活字体ローマ字）

複合地区 GST コーディネーター会員番号

複合地区 GST コーディネーターE メールアドレス（活字体ローマ字）

複合地区 GST コーディネーター（署名－手書きまたはタイプ）

日付



セクション A :
奉仕事業の説明
補足文書

以下の質問に対する答えを、黒のインクを使ってタイプしてください。答えは質問につき 400 字を超えないものとします。

-奉仕事業について、可能な限り詳しく説明してください。

-この奉仕事業は、どのような点が独創的、特別、または革新的なのでしょうか？

-地域社会にとってこの奉仕事業が重要なのはなぜでしょうか？

-この事業の実現に役立った現地パートナーシップがあれば、ご記入ください。

-この奉仕事業は、どのようにライオンズのイメージアップにつながったのでしょうか？

-この奉仕事業の企画・遂行に使用したライオンズクラブ国際協会の奉仕リソース（アドボカシー・ツールキット、奉仕事業プランナー、プログラムのウェブページなど）がありますか？あれば説明してください。

NO.1

出席者 「国際理事 ・ 正副リーダー ・ 正副コーディネーター」

司会・進行	L村木(MD334)副	議事録	L浅井(MD330)副
-------	-------------	-----	-------------

次回開催	2022 年 7 月 19 日 火曜日 11 時 30 分 ~ ウィンクあいち
------	---

103—報告事項—

議 題	審議経過事項
2. 挨拶	
1)国際理事	L長澤 千鶴子
	6/28にモントリオール国際大会で国際理事に就任出来ました、皆様に感謝申し上げます。
	日本からの参加者は200名ほど、パレードは150名参加しましたが、まとまりのあるパレードだった
	という感じがします。参加者の方は多くの方がコロナにかかってしまいましたが、幸い私は大丈夫でした。
	L古賀氏、L鯖江市、L伊藤氏の参加ありがとうございます。
	国際理事会では私の希望するメンバーシップ(会員増強)委員会に加わる事が出来ました。
	日本で支部を作るという実績(過去5年で300支部)もあり、山田PIPの助言もあったかと
	思いますが、この委員会で頑張っていきます。
	日本で10万人を切ってしまったので気持ちを新たに活動していきたいと考えております。
2)GAT全域リーダー	L城阪 勝喜
	長澤国際理事誕生の晴れ姿を現地で祝いしたかったのですが、コロナにかかり、現地に行けず、
	残念。この会議にMD335のL田中氏も出席しています。私がDGの時、会員増強で多くの
	実績を残された方ですので、彼の力をお借りしたい。
	ライオンズは今期20,000人の会員増強を目標。毎年7,500人入会しても12,000人の退会者が
	あって差引4,500人の減が生じている。これが20年続くと20年後は90,000人の減員になり
	日本ライオンズは消滅してしまう。
	今期、長澤国際理事誕生でゲームチェンジャーとしてぬるま湯から脱却しなくてはならない。
3)GATメンター	L田中 敏朗
	皆様についていきたい。一緒に頑張れば目標達成出来る。
	リーダーから会員増強を進めていく事が大事。
4)GAT西日本副全域副リーダー	L松岡 勲
	1987年、女性の入会が認められて35年、男女の垣根を超えてGATグループとしてGLT、GMT、
	GSTと4つのグループで一緒に活動していくがFWTは重要なポジション。
	自クラブでも2つの支部、昨年、GMAとして6つの地区がパイロットプログラムに参加したが、
	スペシャリティクラブ結成等を全国に深めていきたい。
	昨年日本は98,600名の会員になったが、この3年間4,500名ほど減少していたが、
	昨年度は2,722名の減員で済んだ。
5)GATエリアリーダー(FWT及びMD330/331担当)	L小川 晶子
	今期早々の会議にご参加ありがとうございます。
	事前に多くの資料を配布した事でもお判りになるように、今期は正念場です。
	この資料の1番目に「不確実な未来 日本ライオンズは生き残れるのか」という城阪全域リーダーの
	書面がありますが、これを含めて15種類の60ページの資料をお送りしております。
	19日までの宿題を含めて勉強して把握して欲しい。
	今期はL村木氏にセクレタリーとして会の仕切りと会議用の事前資料のチェックをお願いしております。
	またL浅井とMD330宮崎事務局と4人体制で事務局運営していく。

議 題	審議経過事項
3. 自己紹介(挨拶)	
1)MD330 L鳥居正コーディネーター	
FWT3年目、昨年は小川リーダーの元、勉強してきた。 今期は複合と地区の両方の正コーディネーターで大変だが一生懸命活動する。	
2)MD330 L浅井副コーディネーター	
複合のFWTは3年目。昨年は地区の正コーディネーターとして、古本募金、支部結成、外貨両替、ヘッドネーションなど、FWTの活動を各クラブに浸透するように活動したので継続していきたい。	
3)MD331 L設楽正コーディネーター	
継続してFWTの活動を行いたい。副コーディネーターがいないので、地区のFWTメンバーの力を借りて活動していく。	
4)MD332 L吉方正コーディネーター	
今期3年目、自分として集大成と考えている。332はFWTへの認識が少し遅れているが、ようやく各地区と繋がってきている。副コーディネーターも若いので、次の人に繋げていきたい。	
5)MD333 L伊藤正コーディネーター	
昨年に引き続きコーディネーター。モンリオール大会にL鯖江氏、L古賀氏、L若柳氏と参加。 昨年度333は数字が伸ばせなかったなので、今年は努力する。	
6)MD333 L若柳副コーディネーター	
今期で8年目。毎年新しいプログラムが出来ているので、地区に紹介している。	
7)MD334 L弓矢正コーディネーター	
MD334は支部が少なく、今までL村木コーディネーターの下で活動していたが、今期は正コーディネーターになった。自分の所属していたクラブが解散になってしまい、別のクラブに転籍。 解散メンバーを戻すなど、支部づくりを含めて会員増強を目指す。	
8)MD334 L両澤副コーディネーター	
今まで地区で活動。地区ではFWTの認識が少ない。この辺の知識を広めていきたい。	
9)MD335 L鯖江正コーディネーター	
前期はパイロットプログラムの中で2つのクラブ、14の支部を作成。支部の中にクラブになれる支部もあるので、頑張りたい。	
10)MD336 L鵜飼正コーディネーター	
昨年度、自分の所属地区の数字が落ちている。高齢化で亡くなられるメンバーが多く、正会員が亡くなるとそこに紐づいていた家族会員も一緒に退会になるので、家族会員が一気に減る。 1人に4人の家族会員がついているので、減少が目立つ。 昨日、2つの支部が作成された。	
11)MD336 L片山副コーディネーター	
FWTは3年目。複合は初めて。 鵜飼コーディネーターと一緒に子供食堂、ヘッドネーション、外貨の収拾で小児がん支援をする。 レモネードスタンドも活動。FWTは奉仕と会員増強の両輪と考えている。 支部を結成したい。	

議 題	審議経過事項
	12)MD337 L古賀正コーディネーター 会員が10万人を切ったので危機感がある。 GMTとタイアップしてクラブ、支部結成に力を注ぐ。 FWT委員会が開催され、何故会員が増えないかという本質的な事を考え、解決策を見つける。 楽しいライオンズ活動を仲間と一緒に行いたい。
	4. GAT活動方針 城阪全域リーダー 女性会員を増やして頂きたい。先ほど話したように、会員減少は消滅の危機。 めるま湯からの脱却、ゲームチェンジャーになる。 そこには女性の力が必要。WE:ライオンズメンバー、SERVE:良い奉仕活動 WE=SERVEで、良いライオンズメンバーを増やし良い奉仕活動が出来るようにする。 20,000人の会員増強の(女性、家族会員の増)で、退会予測を入れても8,000人(2割up)の目標。
	5. 2022～2023年度 SCP/FWT活動方針 過去9年間のの質の向上を継続。各地区の正コーディネーターに期待。 GAT実務ガイドを熟読して身につけてください。 また前期の復習として、データを確認してください。
	6.協議事項 (1)各地区ガバナーの地区目標の確認 各ガバナーが作った会員増強の数字、トータルでマイナスになる地区があるので、再度確認して、 19日の会議で報告してください。 (2)会員増強について各コーディネーターの方針 行動計画の作成 どういう行動をとって、目標を達成するのか、 配布した書類にある行動計画表に自身の2022年～2023年の行動計画を記入して提出。 DGに国際協会に出された目標を確認して、数字を浅井まで提出。 会員増強等でトータルでマイナスになっている地区は再確認をお願いします。 (3)FWTの在り方と国際情勢 現状、FWTをなくすという考えと存続させるという考えが両立。 FWTは過去の実績があり、ヘッドネーションなどの活動を認めているが、FWTを否定している のではなく、女性が前に出る事に批判している。 排他的な立場におかれている地区もある。 今の世の中、LGBTが認められるようになっていのに女性に偏見がある事は疑問。
	※学生会員(18歳成年) 今年の4月から民法が変わり、18歳から成年扱いになった事でライオンズクラブへの入会も18歳からに なる。文部科学省と打ち合わせをして、学生のボランティア活動に単位を出すという方針が打ち出され、 国立大学に話がおりてきている。学生向けにライオンズクラブの案内パンフレットも配布されている。 私立大学も大学ごとに取り扱いはまちまちであるが、早稲田医学などは40時間のボランティアで2単位 取得出来るようになってい。それぞれの学校にアプローチして欲しい。 ライオンズクラブでは、ボランティアをした学生には「ボランティア証明書」を発行する事とし、 クラブ会長 ⇒ 地区ガバナー ⇒ 社団法人日本ライオンズ で証明書発行を予定している。 学生を入れて学生同士の横のつながりを大事にし、将来のライオンズを担う人を育てたい。 またスペシャリティクラブとして、学生会員のクラブを作る事も考えて欲しい。 ※ニューヴォイス グッドラン元国際会長時に高まった女性会員への取り組みがしぼんできているので、活性化させたい。

議 題	審議経過事項
※質疑応答	
議事録は330から順番？	
	はい、330～順番でお願いします。
スペシャリティクラブの略称は？	
	「Speciality Club Program」なので、SCPとなります。
	新規クラブ作成時にMyLCIにスペシャリティクラブなのか、チェックを入れる項目があるので、
	ここにチェックを入れる。
	FWTの報告要旨は変更予定。
	現状の活動報告等は地区のコーディネーターに任せて、MDは会員増強の数字を追求して
	ください。
7. まとめ(総括)	
	今日は方針を伝える会議でしたので、次回19日にしっかりとスタートが切れるようにしたい。
	女性のPDGは22名いましたが、現在GLTにL小高氏、GSTに濱島氏、この2名がGATで活躍。
	他のPDGをまとめていきたい。
	(L長澤国際理事)
	今日の会議でFWTのコーディネーターから心強い1年間の方針を聞く事が出来た。
	19日に再度お会いするが、この計画が1年後に皆さんと笑顔で達成出来る事を願っています。
	(L松岡西日本副全域副リーダー)
	FWTは日本独自のプログラムであるが、長澤国際理事の立場で全世界に広めていって欲しい。
8. 閉会宣言(L村木)	
	本日は長時間に渡りお疲れ様でした。
	疑問点があれば、ご連絡下さい。

ライオンズクラブ国際協会 2022-2023年度
第2回全日本SCP・FWT会議 議事録

日時：2022年7月19日（火）11:30-13:30

場所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）

司会：L村木 峰子

<出席者>

出席者数：14名

国際理事	L長澤 千鶴子
GAT日本全域リーダー/元協議会議長	L城阪 勝喜（欠席）
GAT日本全域副リーダー（東日本）/元国際理事	L川島 正行
GAT日本全域副リーダー（西日本）/元協議会議長	L松岡 勲
GATエリアリーダー（FWT及びMD330/331担当）	L小川 晶子
GATメンター（会員増強担当）/元地区ガバナー	L田中 敏朗（欠席）
330複合地区SCP・FWTコーディネーター	L鳥居 真弓
330複合地区SCP・FWT副コーディネーター	L浅井 洋一郎
331複合地区SCP・FWTコーディネーター	L設楽 幸子（欠席）
332複合地区SCP・FWTコーディネーター	L吉方 裕子
332複合地区SCP・FWT副コーディネーター	L太田 美紀
333複合地区SCP・FWTコーディネーター	L伊藤 和子
333複合地区SCP・FWT副コーディネーター	L若柳 綾子（欠席）
334複合地区SCP・FWTコーディネーター	L弓矢 直美
334複合地区SCP・FWT副コーディネーター	L村木 峰子
334複合地区SCP・FWT副コーディネーター	L両澤 正子（欠席）
335複合地区SCP・FWTコーディネーター	L鯖江 敏子
336複合地区SCP・FWTコーディネーター	L鵜飼 恵美
336複合地区SCP・FWT副コーディネーター	L片山 敏子（欠席）
337複合地区SCP・FWTコーディネーター	L古賀 京子
SCP・FWT顧問（特別アドバイザー）	L高橋 かず子（欠席）

1. 開会

2. 挨拶

(1) 国際理事 L長澤千鶴子

モントリオールで無事に国際理事となりました。皆様の応援に感謝致します。

FWTから出席していただいた、L伊藤コーディネーター、L鯖江コーディネーター、
ありがとうございました。

今回は会員増強とLCIFのために全国を回るよう指示が出ていますので、力を入れて
いきたいと思います。

(2) GAT日本全域副リーダー（東日本）/元国際理事 L川島正行

モントリオールではMD333に引き続いて国際理事が生まれました。

各地区にはFWTに否定的な人もいられるかもしれませんが、コロナ禍だからできない、
高齢化しているからできないと言わずに、サービスをどう提供するかという考え方が

求められています。地区の目標はガバナーの目標ではなく地区全体の目標なので、その意識を持っていただくことが大切です。

また、地区ガバナー、名誉顧問会、元国際理事(PID)、元協議会議長(PCC)を初め、私たちには会員を増やすことに対する責任があります。

会員数が7%増えれば9,800人の増強となります。城阪リーダーは、20,000人増えれば退会者が10,000人いても10,000人の増強になると発信しています。

新たにGATという組織ができましたが、これは新しいクラブを作ることが目的です。地区の目標が日本や世界の目標につながっていくよう、まずは地区で先に進めてください。FWTはやりやすい活動から取り組む必要があります。

ニューヴォイスの活動については、ジェンダーフリーの時代なので、男女の比率を気にするよりも、若い会員や学生を対象とするのが良いと思います。

家族会員については、国際協会で決められた会員組織であり、地区ガバナーや協議会議長の立場からは否定できませんので、FWTで仕組みを考えてみてください。家族会員の皆さまで動かせるような仕組みを作っていきましょう。

12月と4月には、成功事例を発表する大会を予定しています。日にちと場所は未定ですが、できるだけ近いうちに皆さんにお伝えしたいです。

(3) GAT日本全域副リーダー(西日本)/元協議会議長 L松岡勲

前期に中村PIDが担当していた役職を今期は城阪PCCが担当します。また、副リーダー制を採ったので、今期より東日本、西日本の担当がいます。GLT、GMT、GSTにもそれぞれエリアリーダーがいます。

今期は会員増強に特化した1年になるでしょう。Together we can!

昨年GMAは6つのパイロット地区を設けましたが、非常にいい結果が生まれています。

今期はPJT化していきます。

例年4,000人ほどの会員減でしたが、今期は2,700人まで抑えることができました。

2割アップを合言葉に、常に心がけて活動していきましょう。退会者を減らすためにも多くの事業を行いきましょう。

ちなみに昨日、国際会長は京都の支部活動を見学し、感動していました。

(4) GATエリアリーダー(FWT及びMD330/331担当) L小川晶子

皆様、本日はお忙しいところ名古屋までお越しいただき、ありがとうございました。

国際会長の公式訪問と一連のミーティングが、皆様にとって実り多く楽しいものとなるように、微力ながら努めさせていただきますので、本日はよろしくお願い致します。

3. 協議事項

(1) 各地区 地区目標の確認

何をするにもスタートダッシュが肝心。

副コーディネーターは次世代の女性リーダーを育てるためにお願いしている。次世代とつながる人選ができるよう考えてほしい。女性の地位の向上には、高い倫理基準 万人の人権 平等 開発 平和などを社会に向けて理解を促していくこと

多くの女性リーダーをクラブ会長・RC・ZC・委員長・代議員等のボードメンバーとして排出していただくよう要請をいたしました。

これに向けて、女性会員比率を全国平均の26%を34%まで上げていきたいと思います。女性をリーダーに起用することで女性会員のモチベーションアップし新会員の入会につながりたいと思います。

会議は月1度行い、すでに配布した60ページくらい資料を熟読し地区目標達成に向けて地区GATとともに努力をしてください。

支部ではなくスペシャルティクラブを作る方針を立てている地区もある。

各地区の議長には副コーディネーターを任命する権利がある。任命しないという判断は議長の責任においてなされた。GATエリアリーダーとして推薦しましたが通らなかった12ヶ月分の行動計画を作り、常に計画を確認し修正しながら計画を進める。

国際本部のHPから補助金の申請が可能(MD330地区ではPR補助金を申請する予定)。

補助金は総額が決まっており先着順となるため必要に応じて早めに検討したほうがよい。

(2) 行動計画について

いつまでに何をやるか、期限を決めて取り組む。

◆各コーディネーターより

[MD330]

ガバナーのボードポリシーをうかがって1年の方向を決めていく。

8月第1週に会議を開催したい。ガバナーに再度確認してから活動したい。

学生会員50名の増強を目標として、各地区確認していく。

[MD331] 欠席

[MD332]

毎年7月に引き継ぎを必ずやる

活動方針を伝え、継続事業については動きやすい女性会員や家族会員に勧めていきたい。

現在、山田元国際会長の時に、応援するため増やした家族会員が減少している。

地区で戦うことが増えるのでSCPを外してほしい

FWTは金食い虫である。地区ガバナーを入れて開催すると参加する方たちから集めているが交通費などがキャビネット負担になる。332C渡辺えりLが会計となるので地区コーディネーターとまめに連絡を取る。11月に青森で女性フォーラム・を開く地区のコーディネーターと連携して一緒に活動したい。

11月に女性フォーラムを開催予定。長澤国際理事に参加して頂きたいと思っている。

全地区を回ろうと思い、リクエストを聞いている。

今期は頼もしい女性会員が多いので、各地区の会員増強に力を入れていきたい。

[MD333]

女性会員を増やしていきたい。

7月27日、FWTとGMTと第一副地区ガバナーと合同で会議を行う。

現時点では上半期の行動予定を提出しているが、会議終了後、新しい行動計画を出す。

8月3日、MDのFWT会議を開催予定。9月27日、1日研修を湯沢で開催し、5人のガバナーにも出席していただく予定。

活動はGMTと合同で進める第1地区ガバナーを含んでいれていく。

1日研修を湯沢でやり5地区ガバナー参加。地区別でセミナーをやる。

去年はどの地区も目標に達成しなかった4半期で数字の変更をする。

学生会員についてはわからないので他地区の成果を見てから取り上げる。FWTが推進したものは各地区におろしてある

昨年、目標未達なので、今期のガバナーは慎重になっている。
川島、松岡副リーダーに今井GMTエリアリーダーを加えて実施予定。

[MD 334]

出来ない理由を探している人をやってみようというところまで理解させていきたい。
若者世代であっても主婦であっても「ライオンズは楽しい」というところから進めて
いきたい。地区に行動を伝達する。
ノンライオンにもライオンズを知ってもらう機会を設けていく。
学生・家族会員等が参加しやすいアクティビティを紹介したMD統一のFWTチラシを作成
し活動する。

[MD 335]

まだ、委員会が開けていない7・22以降開催する。
学生会員の話はキャビネット会議の時に資料を配布しようと思っている。
国公立の大学にそのまま行っていいのかを質問。
地区目標をそれぞれのガバナーにお尋ねしてご理解を得ながら進めていく。

[MD 336]

広島大、岡山大の学務部会に交渉。国立大学の担当者と連絡が取れ7月28日広島大学
8月2日に岡山大学と面談予定。
コーディネーター会議の開催をGMA会議と合同にしようと思ったがうけ入れられずFWT
は早めに開催することとしました。怖がらず議長の理解が良いがガバナーの意向を伺う。
FWTは人事が遅い。できる女性が先にポジションが決まってしまうので早めの指示(選出)
が必要。

[337]

全地区のすべてのコーディネーターに活動方針と事業計画を提出していただきそれに沿っ
て行動計画を立てた。
全地区を回りたい。あとは計画を実行するのみ。

(3) 学生会員へのアプローチ

ひとりの学生から広げていく。
学生の会費はクラブから出すと例会決議したところもある。
高校生は奉仕活動を内申書に書ける。資料にあるQRコードから映像を見てほしい。

(4) その他

各MDコーディネーターからの報告をこれから計画を実行に移すのにあたって
ゾーン単位でチームを作るわけですが決して上から下への話ではいけない。
ゾーン優秀賞を取ろう！という気持ちに誘導していくことが重要です
女性会員について、ジェンダーで差別が無い様にガバナーに理解していただくよう努め
る。
四半期ごとに目標を立て、定期的に計画を修正できるようにする。
ヘッドネーション、古本募金、外貨チェンジなどFWTが行ってきた奉仕活動については
地区コーディネーターからすでにクラブへ降りていて浸透している。この事業報告につ

いては地区コーディネーターにお任せしMDコーディネーターに皆様は会員増強に力を入れていただきたい

4. まとめ

5. 閉会宣言

記録：332複合地区SCP・FWTコーディネーター	L吉方 裕子
副コーディネーター	L太田 美紀

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区
2022～2023 年度 第 1 回 SCP・FWT コーディネーター会議

次 第

日 時 2022 年 7 月 28 日 (木) 15:00～17:00

会 場 岡山シティホテル桑田町別館 3F「401 会議室」

会議形式 ハイブリッド

出 欠

敬称略

役 職	氏 名	REAL	WEB
336 複合地区ガバナー協議会議長	L 池原 堅	○	
336 複合地区ガバナー協議会副議長 (A 地区ガバナー) SCP・FWT 担当ガバナー	L 市村 通夫	○	
336-B 地区第一副地区ガバナー ※オブザーバー出席 336 複合地区アラート副委員長 一社) 日本ライオンズアラート西日本統括リーダー	L 藤井 信英	○	
336 複合地区 SCP・FWT コーディネーター	L 鶴飼 恵美	○	
336 複合地区 SCP・FWT 副コーディネーター 336-C 地区 SCP・FWT コーディネーター	L 片山 敏子	○	
336-A 地区 SCP・FWT コーディネーター	L 山本 久美子	○	
336-A 地区 SCP・FWT 副コーディネーター	L 藤岡 志津恵		欠
336-B 地区 SCP・FWT コーディネーター	L 斉藤 由香	○	
336-C 地区 SCP・FWT 副コーディネーター	L 大辺 幸枝	○	
336-D 地区 SCP・FWT コーディネーター	L 佐々木 歌子	○	
336-D 地区 SCP・FWT 副コーディネーター	L 新出 千賀子	○	

司 会 336 複合地区 SCP・FWT 副コーディネーター

(兼 336-C 地区 SCP・FWT コーディネーター) L 片山 敏子

1. 開会 司会者による出席者読み上げ

2. 挨拶

(1) 336 複合地区ガバナー協議会議長

L 池原 堅

(2) 336 複合地区ガバナー協議会副議長 (A 地区ガバナー)

SCP・FWT 担当ガバナー

L 市村 通夫

3. 自己紹介 A～D 地区 SCP・FWT 正副コーディネーター

4. 2022～2023 年度スペシャルティクラブ・FWT の活動方針

L 鶴飼 恵美

5. 質疑応答

6. まとめ 336 複合地区ガバナー協議会議長

L 池原 堅

7. 閉会宣言



2022年7月27日

GAT エリアリーダー 各位
複合地区ガバナー協議会議長 各位
地区ガバナー 各位
複合地区 GAT コーディネーター 各位
地区 GAT コーディネーター 各位

GAT 日本全域リーダー 城阪勝喜
GAT エリアリーダー SCP・FWT 及び MD330/331 担当
小川晶子

「スペシャルティクラブ」の略称について

拝啓

時下ますますご清祥にてライオニズムにご精進のこととお慶び申し上げます。

さて、日本の「スペシャルティクラブ・FWT」に関し、「スペシャルティクラブ」部分の略称が「SCP」「SPC」「SC」等、ばらつきがあることが指摘されてきました。

この度、国際協会に確認した上で、略称は「SCP」で統一することと致しました。これは、国際協会の「スペシャルティクラブ・プログラム」が SCP と略されていることから、用語の統一を図ることで混乱を避けるためです。

既に「SPC」等を使用した資料も作成されておりますが、今後は「スペシャルティクラブ・FWT」を略す場合には「SCP・FWT」で統一していただきますようお願いいたします。

敬具



2022 年 8 月 4 日

複合地区ガバナー協議会議長 各位
地区ガバナー 各位

一般社団法人日本ライオンズ
理事長 村 木 秀 之
会則委員長 三 宮 秀 介

2022-2023 年度ライオンズ必携第 6 0 版発行のお知らせ

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。新年度も早や 1 か月を過ぎ、各位におかれましてはご活躍のことと推察申し上げます。

早速ですが、前年度からのご要望にお応えし、ライオンズ必携第 6 0 版を発行する運びとなりました。6 月に行われました第 1 0 4 回モントリオール国際大会の投票結果を反映し、2022-2023 年度国際役員及び国際付則の改正を盛り込みます。従来であれば、あらかじめご注文案内文書をお送りすべきところではありますが、諸物価高騰や用紙の手配が厳しい状況のため、前期会則委員会で部数を提案し、7 月 7 日の一般社団法人日本ライオンズ臨時社員総会において報告の上、過去の注文部数に少量の在庫を加えた割当部数を社員の皆様にご了承賜りました。

つきましては、下記のとおり、印刷の手配を進めておりますので、ご案内申し上げます。

敬具

記

- 第 6 0 版割当部数： 別紙のとおり
- 発行予定日：2 0 2 2 年 9 月 3 0 日（印刷の都合で変更の可能性あり）
- 発送方法：印刷工場から複合地区ガバナー協議会事務局、地区キャビネット事務局へ一括送付。
- 頒布予定単価：送料・税込み 1 冊 2 0 0 円/費用が確定した後、各事務局へ請求書を送付。

以上

写：会則委員会メンバー 各位

一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-15 JOTO ビル 9 階 TEL.03-6262-1263 / FAX. 03-3241-4388

ライオンス必携第57版～第59版注文部数および第60版割当部数一覧

年度 (FY)	FY2017-2018	FY2018-2019	FY2020-2021	FY2022-2023	2020-2021との差
地区名	第 5 7 版	第 5 8 版	第 5 9 版	第 6 0 版 (割当部数)	第60版－第59版
330-A	2,659	2,555	2,049	2,055	6
330-B	1,989	2,024	1,675	1,680	5
330-C	1,201	1,090	836	840	4
小計	5,849	5,669	4,560	4,575	15
331-A	1,734	1,657	1,578	1,580	2
331-B	1,307	1,248	1,288	1,290	2
331-C	990	946	785	790	5
小計	4,031	3,851	3,651	3,660	9
332-A	1,164	1,032	988	990	2
332-B	910	870	880	885	5
332-C	760	616	710	715	5
332-D	826	1,067	729	730	1
332-E	1,134	1,100	1,032	1,035	3
332-F	535	536	577	580	3
小計	5,329	5,221	4,916	4,935	19
333-A	1,803	1,787	1,796	1,800	4
333-B	392	519	311	315	4
333-C	1,600	1,380	1,486	1,490	4
333-D	799	918	936	940	4
333-E	1,637	2,043	1,990	1,995	5
小計	6,231	6,647	6,519	6,540	21
334-A	4,623	4,503	4,100	4,105	5
334-B	2,189	2,345	2,114	2,120	6
334-C	3,022	2,888	2,850	2,855	5
334-D	2,722	2,592	2,255	2,260	5
334-E	1,577	1,592	1,410	1,415	5
小計	14,133	13,920	12,729	12,755	26
335-A	1,763	1,851	1,780	1,785	5
335-B	5,440	5,440	5,350	5,355	5
335-C	3,687	3,619	3,404	3,410	6
335-D	1,453	1,521	1,375	1,380	5
小計	12,343	12,431	11,909	11,930	21
336-A	4,709	4,688	4,295	4,300	5
336-B	2,450	2,166	2,095	2,100	5
336-C	3,350	3,283	2,867	2,875	8
336-D	3,005	2,799	2,529	2,530	1
小計	13,514	12,936	11,786	11,805	19
337-A	3,223	3,336	3,254	3,260	6
337-B	1,414	1,683	1,760	1,765	5
337-C	1,550	1,553	1,427	1,430	3
337-D	1,053	1,150	1,110	1,115	5
337-E	837	835	801	805	4
小計	8,077	8,557	8,352	8,375	23
地区合計①	69,507	69,232	64,422	64,575	153
330	3	3	5	5	0
331	3	3	3	3	0
332	3	3	4	4	0
333	7	7	7	7	0
334	3	3	5	5	0
335	3	3	3	3	0
336	3	3	5	5	0
337	3	3	3	3	0
MD合計②	28	28	35	35	0
総合計①+②	69,535	69,260	64,457	64,610	153
印刷部数	70,000	69,700	64,700	65,000	300

(6/20会則委員会65000部印刷提案、7/7臨時社員総会報告・了承済み)

390

事務所在庫分

※2022 年 8 月 8 日 OSEAL 調整事務局マーズ局長からの配信内容

複合地区ガバナー協議会議長各位

地区ガバナー各位

一般社団法人日本ライオンズご担当者様

(元国際会長、国際理事、LCIF 理事、社団理事長には B C C でお送りしています。)

OSEAL フォーラム開催について

お世話になります。2022 年韓国済州島（354-D 地区）で開催が予定されているオセアルフォーラムについて、当事務局に質問が多く寄せられておりますので、現在の状況についてご説明申し上げます。

チョイ元国際会長からのご連絡により、本年は 11 月 24 日から 27 日での開催が予定されております。これに先立ち、例年であれば開催年の 2 月に予定される第 1 回のステアリング委員会会議が 8 月 24 日に予定されておりますが、昨今の新型コロナウイルス再流行、ビザ取得の必要性及びフライトがまだコロナ前の状況にはほどとおいことから、公式には中止、実際には韓国の参加者のみが集まった会議が開催される予定です。本来は、このステアリング委員会において、当年度のフォーラムのプログラムや概要がステアリング委員により承認され、実際のプロモーションその他が開始されます。

今年の開催については、上記のような状況を見定めながらとなりますので、組織委員会にとっても非常に判断が難しいものと思います。現在は、開催をめざし、ウェブサイトも再構築されております。英語と韓国語しかありませんが、下のリンクからご確認いただけます。

www.oseal2020.com/en/intro/intro.php

来週、オセアル地域の元国際会長が会議を行う予定がありますので、その際今後の方向性について協議したうえで韓国の組織委員会と協議されるものと思います。

なお、オセアルフォーラムを含むエリアフォーラムについては、国際理事会方針第 23 章に規定されております通り、国際協会が直接開催するものではなく、その運営の一切は当該会則地域から選出された国際理事にあり、その委任により設置された委員会が企画、行事内容を含めた一切の運営を行うものとなっております。（添付理事会方針書をご参照ください。）オセアル会則地域においては、言葉の壁等の問題から、伝統的にフォーラム組織委員会に運営等は委任され、必要に応じて国際本部でサポートを提供してまいりました。当事務局の名称から、こちらでフォーラムの詳細の運営に関わっていらっしゃると思われる場合があるように見受けられますが、運営についてはあくまでチェジュ（済州）の組織委員会が進めているため、当事務局の提供できる情報も二次的なものである点、ご理解ください。そのうえで、できるだけフォーラム委員会と連絡を取り、何か新たな情報が入りましたらお知らせいたします。

各複合地区および準地区の大会委員長、地区に置かれましては所属クラブへのご案内をよろしくお願い申し上げます。

オセアル調整事務局

マーズ佐子

第 23 章 エリア・フォーラム

A. エリア・フォーラム

1. 国際協会は、下記の目的においてエリア・フォーラムを認める。
 - a. ライオンズクラブ国際協会の目的と目標を推進する。
 - b. 地区及びクラブ役員の指導・教育、及び意欲喚起を行う。
 - c. 合同奉仕事業の機会を含む、奉仕活動について情報や意見を交換する場を提供する。
 - d. LCIF に対する理解と認識の向上をはかる。
2. 将来予定される国際理事会会議の日程と重ならないよう、フォーラム開催日及び場所については、確定する前に旅程課と調整する。

以下の推奨期間内におけるエリア・フォーラムの開催が要請されるものとする。

- a. アメリカ／カナダ - 9 月の第 2 週又は第 3 週のいずれか一週間
 - b. ヨーロッパ - 10 月最後の週から 11 月の第 1 週にかけて
 - c. OSEAL - 11 月の第 2 週又は第 3 週のいずれか一週間
 - d. ISAME - 12 月の第 2 週又は第 3 週のいずれか一週間
 - e. 中南米 - 1 月の第 2 週又は第 3 週のいずれか一週間
 - f. ANZI - 8 月の最後の一週間又は 9 月の最初の一週間
 - g. アフリカ - 11 月の最終週又は 12 月の第 1 週のいずれか一週間
3. フォーラムの企画、議題、行事内容を含むがこれらに限定されることなく、フォーラムの運営の一切は、フォーラムが開催される会則地域より選出された国際理事の責任である。これらの国際理事は、必要に応じて、フォーラム運営のために設けられた委員会にフォーラム運営を委任することができるが、理事会方針の目的が履行されるよう確認する責任を持つ。国際会長が一年目国際理事 1 名を次回のフォーラムの企画委員会のメンバーに任命する。フォーラムが開催される会則地域からの一年目国際理事がいない場合には、国際会長は、フォーラム開催が予定されている会則地域の元国際理事を任命することができる。いかなる不正事項もライオンズクラブ国際協会の執行委員会に報告し、本方針の意図に沿ってフォーラムが開催されるよう、必要な手段を講じなければならない。被任命者は、連絡役として下記の任務を行う。
 - a. 被任命者は、本部職員とフォーラム委員長との間の連絡役を務める。また講演が行われる会合場所又は時間についての国際本部からの要請は、フォーラム委員会の承認が受けられるよう、連絡役に送られなければならない。

- b. 被任命者は、同じ会則地域に所属する理事とフォーラム委員会の間の連絡役も務める。被任命者は、フォーラム参与の要請を含むフォーラムの詳細事項について、これらの他の理事と書面にて連絡を保たなければならない。
 - c. 被任命者は、あらゆる事柄への適切な対応を可能とするため、理事会方針書第 19 章に記載されるライオンズクラブ国際協会プロトコールをフォーラム企画委員会に提供する。
 - d. 各フォーラムは使命声明文を掲げるものとし、被任命者は、フォーラム委員長と協力して必要に応じてそれを更新する。
 - e. 被任命者は、ライオンズクラブ国際協会の旅程課職員と協力し、フォーラムに出席する執行役員、理事、理事会アポインティが入手可能な情報をすべて確実に受取れるようにする。また、今後のフォーラムの開催日を、その情報が手に入った際に国際協会職員に知らせ、役員が今後の年度の旅行も計画できるように計らわなければならない。
 - f. 被任命者は、フォーラムが開催された直後の理事会会議において書面による報告書を提出しなければならない。報告内容は、フォーラムの行事、並びに執行役員及びその会則地域に所属する理事がフォーラムで果たした役割などを要約したものでなければならない。報告書は、理事会メンバーのために翻訳する時間を考慮し、フォーラム終了後できるだけ早急に事務総長宛に提出する。
- 4. いかなるフォーラムも経済的に自立していなければならず、資金面における不足については、一切フォーラムの責任とする。各フォーラムには、適当な金額の登録費を徴収する権限がある。
 - 5. フォーラムが開かれる会則地域のすべてのライオンズ会員が出席できるものとする。
 - 6. フォーラムは、会則地域に所属するライオンズ会員が自由に登録でき、それぞれの地区や国を代表できる場所で開催されなければならない。
 - 7. 国際会長をフォーラムに招待する。各フォーラムは、国際会長又はその代理人に下記の機会を提供しなければならない。
 - a. 出席しているライオンズ会員全員に対して演説を行う。
 - b. 別の会合において、出席している現職の地区ガバナー全員に話をする。
 - 8. 会長から任命されたライオンが、国際会長のプログラムと目標を各フォーラムで発表する。
 - 9. フォーラムは、国際会長又はその代理人に、寝室 1 部屋付きのスイートと食事を提供する。食費及び宿泊費は、本協会によって支払われ、国際会長の旅行予算で賄われる。

10. 前国際会長及び第一副会長は、すべてのエリア・フォーラムに参加することができる。第二及び第三副会長は、各自の所属会則地域のエリア・フォーラムに参加することができる。食費及び宿泊費は、本協会によって支払われ、各役員の旅行予算で賄われる。
11. フォーラムは、隣接する会則地域のライオンズの参加を可能としてもよい。
12. 二つの会則地域にまたがってクラブが存在する複合地区においては、もし一方の会則地域がフォーラムを開催しない場合、その複合地区の会員は全員、他方の会則地域のフォーラムに参加することができる。
13. フォーラムは、下記事項を行ってはならない。
 - a. 国際会則及び付則に違反して運営する。
 - b. 会費を徴収する。ただし各フォーラムには、適切な額の登録費を徴収する権限がある。
 - c. 自由意志以外の方法で参加を強要する。
 - d. 通常の地区及び複合地区以外の行政機構を編成する。
 - e. 非ライオンの活動に従事する。
14. フォーラムが開催される会則地域に所属する国際理事、元国際会長、理事会アポインティ、及び会長により任命された者（並びに成人同伴者）への旅行関連経費の支払い（一般経費払戻し方針に従って）を除き、ライオンズクラブ国際協会はエリア・フォーラムの経費支払いを一切行わない。

国際会長よりフォーラム企画委員会メンバーに任命された者に対しては、フォーラム企画委員会会議出席 2 回分までの旅費、宿泊費、食事代が一般経費払戻し方針に従って支払われる。

ライオン誌日本語版委員会 新旧合同会議 2022-23年度第1回会議報告書

日 時：2022年7月14日（木）14:00～16:00

場 所：ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	藏 大介（石川県・金沢伏見ライオンズクラブ）
国際理事	永田 賢司（京都洛陽ライオンズクラブ）
国際理事	長澤千鶴子（千葉県・柏なの花ライオンズクラブ）
一般社団法人理事長	村木 秀之（東京数寄屋橋ライオンズクラブ）
一般社団法人副理事長 PRマーケティング委員長	古川 隆（福岡くしだライオンズクラブ）
一般社団法人常務理事	池原 堅（336複合地区議長／広島県・福山久松ライオンズクラブ）
21-22年度委員長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
21-22年度編集長	星野 勝美（333複合地区／群馬県・太田ライオンズクラブ）
21-22年度委員	大屋 保（330複合地区／埼玉県・川越ライオンズクラブ）
21-22年度委員	吉原 成昌（331複合地区／北海道・苫小牧ハスカップライオンズクラブ）
21-22年度委員	高堂 裕（332複合地区／秋田中央ライオンズクラブ）
21-22年度委員	山邊 正重（334複合地区／長野県・上田城南ライオンズクラブ）
22-23年度委員	金子 義人（330複合地区／さいたま南口イタル ライオンズクラブ）
22-23年度委員	本所 光男（331複合地区／北海道・室蘭東ライオンズクラブ）
22-23年度委員	藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）
22-23年度委員	矢内 久男（333複合地区／群馬県・高崎和田ライオンズクラブ）
22-23年度委員	飯田 重光（334複合地区／長野みすずライオンズクラブ）
22-23年度委員	堀口 清隆（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
21-22、22-23年度委員	玉浦 巖（336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズクラブ）
22-23年度委員	富永 健司（337複合地区／大分県・中津ライオンズクラブ）
事務総長	菅原 雅雄（東京堀留ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘 英隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）
欠 席：元国際理事	川島 正行（茨城県・土浦北ライオンズクラブ）
元国際理事	渡部 雅文（岡山県・倉敷西ライオンズクラブ）
21-22年度委員	吉田 勲（337複合地区／福岡県・北九州紫水ライオンズクラブ）



新年度第1回会議の招集者である一般社団法人日本ライオンズの村木秀之理事長、モントリオール国際大会で就任された長澤千鶴子国際理事からのあいさつに続き、団英男2021-22年度委員長から出席者の紹介が行われ、議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2021年7月～22年5月ライオン誌関係会計報告

社団の正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。5月にはライオン誌印刷版の発行がなかったため、直接出版費の累計は38,116,065円、予算消化率は83.5%で前月末からほぼ変動なし。毎月発行のデジタル版関連費は11回発行完了時点で4,544,771円、予算消化率は72.9%と、コロナ禍で取材回数が減ったことが影響し費用が抑えられている。

2. 2021-22年度ライオン誌日本語版委員会からの引き継ぎ

団英男2021-22年度委員長から、ウェブマガジン12回、印刷版6回を発行した同年度委員会の年次報告と、2022-23年度委員会への引き継ぎ事項4項が説明された。引き継ぎ事項のうち印刷版発行回数について、2022-23年度は年6回発行を維持し、2023-24年度から年4回発行とする方針が申し送られた。一方、社団理事会では印刷版発行回数を年4回とする決定がなされており、団委員長から印刷版の回数を早期に確定させて滞りなく発行を継続するため、前期委員会が決定した年4回への移行を半年前倒し、2022年中は現在の年6回発行のペースで9・10月号、11・12月号を発行し、2023年からは年4回発行とすることにより、2022-23年度の印刷版発行回数を4回とする案が提示された。

3. 2022-23年度ライオン誌日本語版委員会委員長、編集長選出

委員長に336複合地区の玉浦巖委員、編集長に334複合地区の飯田重光委員を選出した。

4. 印刷版関係

●2022-23年度印刷版発行回数

2022年中は現在の年6回発行のペースで9・10月号、11・12月号を発行、2023年から年4回発行に移行し、年度内の発行回数を4回とすることを決定した。

●2022年7・8月号(6月20日発行／83,800部)出来

印刷版7・8月号の出来を確認した。

●2022年9・10月号(8月20日発行)台割(案)

基本36ページの台割を確認した。新年度最初の発行号として、国際協会指定の国際会長ポートレートを表紙写真、「2022-23年度国際会長テー

マ」要約版（2ページ）、「モントリオール国際大会」記事を掲載。「国際理事だより：長澤国際理事」、「編集室：玉浦委員長」。

5. ウェブマガジン関係

- 2022年7月号（7月1日更新）出来

ウェブマガジン7月号の出来を確認した。

- 2022年8月号（8月1日更新）更新予定（案）

- 2022年9月号（9月1日更新）更新予定（案）

8、9月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、外注経費が提出され、承認した。

6. 主要記事予定

- 2022-23年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2022年5、6月取材経費

5、6月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。

- 2022年7、8月取材経費概算

7、8月に予定している取材経費概算が提出され、承認した。

7. その他

- 2022年クラブ・アンケート

前年度会員動静や今年度のアクティビティ情報を収集し編集資料とするため、毎年7月に全クラブを対象に行っているクラブ・アンケートを、今年度も実施することを決定した。例年のアンケート項目を確認し、会員増強の事例に関する質問項目を1項追加することとした。

- サバンナ（ServannA）関係

330-C地区は昨年度から地区版サバンナの使用をやめ、今年度10月からはライオン誌の発行・発送に必要な機能だけに特化したサバンナ・サイトに切り替えていた。しかし今年度330-C地区から、地区版サバンナの利用再開を希望する文書が提出され、これを了承した。

- ITアドバイザー委嘱

昨年度に続きL荘英隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）にライオン誌ITアドバイザーとして協力していただくことを決定した。

閉会あいさつ 村木理事長

【次会委員会開催予定】

8月8日（月）14:00～16:00 第2回会議（ウェブ）

2022-23年度ライオン誌日本語版委員会 第2回会議（ウェブ） 報告書

日 時：2022年8月8日（月）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事

藏 大介（石川県・金沢伏見ライオンズクラブ）

委員長

玉浦 巖（336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズクラブ）

編集長

飯田 重光（334複合地区／長野みすずライオンズクラブ）

委員

本所 光男（331複合地区／北海道・室蘭東ライオンズクラブ）

委員

藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）

委員

堀口 清隆（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）

委員

富永 健司（337複合地区／大分県・中津ライオンズクラブ）

一般社団法人副理事長
PRマーケティング委員長

古川 隆（福岡博多みらいライオンズクラブ）

一般社団法人常務理事
PRマーケティング副委員長

池原 堅（336複合地区議長／広島県・福山久松ライオンズクラブ）

ウェブマガジン専門部会
部会長

団 英男（兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）

欠席者：国際理事

永田 賢司（京都洛陽ライオンズクラブ）

国際理事

長澤千鶴子（千葉県・柏なの花ライオンズクラブ）

委員

金子 義人（330複合地区／さいたま南ロイヤルライオンズクラブ）

委員

矢内 久男（333複合地区／群馬県・高崎和田ライオンズクラブ）

ウェブマガジン専門部会
ITアドバイザー

荘 英隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）



玉浦委員長の開会あいさつの後、藏国際理事からあいさつと国際理事会関係の報告を受けたの続き、会議冒頭に参加した一般社団法人日本ライオンズの村木秀之理事長と、社団のオブザーバー出席者からあいさつがあった。その後、玉浦委員長と飯田編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2021年7月～22年6月ライオン誌関係会計報告

社団の2021-22年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を

確認した。ライオン誌関連の年間収入（国際協会補助金、国際協会翻訳料、ライオン誌送料収益、広告料）の合計は43,435,792円（予算の99.8%）だった。直接出版費は予定通り印刷版を6回発行し、年間支出は45,699,903円（同100.1%）。毎月発行のデジタル版関連費は5,062,448円（同81.3%）で、コロナ禍で予定通りに取材が行えなかった影響で費用が抑えられた。ライオン誌委員会は対面で2回開催し、費用は663,600円（同105.3%）だった。全体として、予算に沿って運営されたことを確認した。

ライオン誌の会計報告について玉浦委員長から、2020-21年度までは社団内部でライオン誌と社団の部門別収支計算書が作成されていたが、21-22年度からそれが無くなってライオン誌発行に関する収支が把握出来なくなり、委員会として健全な財政運営を図ることが困難になったとの指摘があった。そこで社団の古川副理事長に対し、ライオン誌部門の収支を確認出来るようにする方策を講じてほしいと依頼した。

●2021-22年度下半期国際協会補助金

7月15日に2021-22年度下半期国際協会補助金が振り込まれたことを確認した。

●国際協会提出用2021-22年度下半期収支計算報告書

国際協会から補助金を受けるためには、半期ごとに報告書を提出しなければならない。星野勝美2021-22年度編集長が署名した国際協会提出用の2021-22年度下半期収支計算報告書を確認した。委員会終了後、国際協会へ提出する。

2. ウェブマガジン関係

●2022年8月号(8月1日更新)出来

ウェブマガジン8月号の出来を確認した。

●2022年9月号(9月1日更新)更新予定(案)

9月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され承認した。

●2022年10月号(10月1日更新)更新予定(案)

10月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容が提出された。現時点で実施日が確定していない活動もあり、変更の可能性があるとの報告を受けた。

●ウェブマガジン専門部会報告

ウェブマガジン専門部会で検討を進めているウェブマガジンのリニューアルについて、団部会長から過去3回開かれた専門部会の報告資料が提出され説明を受けた。ウェブマガジンはこれまで外部向け広報を強く意識した内容としていたが、2023年から印刷版発行回数が年4回になるのを踏まえ、印刷版のみに掲載していたコンテンツも取り入れて会員向け情報を充実させるこ

と、従来の「ウェブマガジン」「ライオン誌電子版」の名称の再検討を行っていることなどの報告があった。今後は2023年1月からのリニューアルを目指し、10月委員会に専門部会から答申を行い、12月委員会で最終確認をするスケジュールが示され、これを了承した。

3. 印刷版関係

●2022年9・10月号(8月20日発行)台割

台割に従い編集した記事を確認した。表3「ライオンズクラブ分布図」は国際協会の7月末集計を掲載予定だが、本日時点でデータ未発表であり、色校校了日の10日朝までに発表がない場合は6月末集計に差し替える。

●2022年11・12月号(10月20日発行)台割(案)

基本36ページの台割を確認した。表2に2023年からの印刷版年4回発行とウェブマガジン・リニューアルの告知を掲載。また、9月7日に愛知県名古屋市で開催されるLCIF理事長公式訪問は飯田編集長が取材し、ウェブマガジン及び本号に記事を掲載する。

4. 主要記事予定

●2022-23年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。11・12月号以降の「国際理事だより」及び「編集室」の執筆担当を以下の通り決定した。

「国際理事だより」 11・12月号：藏国際理事

23年1月下旬発行号：永田国際理事

23年4月下旬発行号：長澤国際理事

「編集室」 11・12月号：飯田編集長(334)

23年1月下旬発行号：金子委員(330)、本所委員(331)、藤谷委員(332)

23年4月下旬発行号：矢内委員(333)、堀口委員(335)、富永委員(337)

●2023年以降台割(案)

11・12月号までと同じページ数(36ページ)・構成内容で作成した台割案と、36ページ・40ページ・44ページの3パターンの印刷費概算を示す資料を確認した。2023年から印刷回数が2回減るのに伴い、適切なページ数は何ページか、各号の呼称をどのようにするか、次回委員会で更に検討した上で決定する。

●2022年7月取材経費

7月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。

6. その他

●ライオン誌公式SNS

ライオン誌が運用している各種SNS登録者数の資料を確認した。このうちウェブマガジン普及に活用中のLINE公式アカウントは、登録者増加に伴い近くライトプラン（月額5,000円）からスタンダードプラン（月額15,000円）への変更が必要となることが報告された。切り替えの目安である登録者数4,250人を超える前に、プラン変更を行うことを承認した。

閉会あいさつ 玉浦委員長

【次回開催予定】

9月12日（月） 14:00～16:00（ウェブ）

一般社団法人 日本ライオンズ
2021-2022 年度 第 6 回 YCE 委員会【WEB 会議】要録

◎日時：2022 年 6 月 13 日（月）13:30－16:00

◎場所：一般社団法人日本ライオンズ事務所（ZOOM 併催）

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	仁 科 良 三 (334-E 地区	長野みすず LC)【欠席】
委員長 (MD334 議長)	山 本 基 博 (334-B 地区	恵那 LC)
委員 (MD330 YCE 委員長)	青 木 秀 茂 (330-A 地区	東京吉祥寺 LC)
委員 (MD331 YCE 委員長)	大 澤 勝 雄 (331-B 地区	釧路ぬさまい LC)
委員 (MD332 YCE 委員長)	高 堂 裕 (332-F 地区	秋田中央 LC)
委員 (MD333 YCE 委員長)	小 吹 勇 (333-E 地区	石岡 LC)【欠席】
委員 (MD334 YCE 委員長)	加藤 万寿夫 (334-B 地区	土岐織部 LC)
委員 (MD335 YCE 委員長)	吉 川 二 郎 (335-C 地区	奈良 LC)
委員 (MD336 YCE 委員長)	高 橋 淳 (336-C 地区	広島デルタ LC)【WEB 参加】
委員 (MD337 YCE 委員長)	北 由 美 子 (337-D 地区	鹿児島第一 LC)

オブザーバー：

333 複合地区 YCE 副委員長	藤 川 清 幸 (333-E 地区	前橋中央 LC)【代理参加】
334 複合地区 YCE 副委員長	川 嶋 秀 典 (334-C 地区	浜松葵 LC)【WEB 参加】

一般社団法人日本ライオンズ

専務理事	村 木 秀 之 (330-A 地区	東京数寄屋橋 LC)
事務総長	菅 原 雅 雄 (330-A 地区	東京堀留 LC)

◎ 本日の出席者確認及び進行について

- 山本委員長は開会を宣言し、出席者は配布資料による確認とした。
- 山本委員長は高橋委員 (MD336) の WEB 参加を確認した。
- 山本委員長は MD333 藤川清幸 YCE 副委員長のオブザーバー参加を許可した。
- 山本委員長は MD334 川嶋秀典 YCE 副委員長の WEB オブザーバー参加を許可した。
- 村木専務理事はあいさつをした。

(村木専務理事)

- 今日が今年度最後の会議になります。一年間お疲れ様でした。皆様には今年度も多くの課題について協議していただきました。この YCE 事業の再開に向けて、山本委員長を始め、皆様にはライオンズクラブの重要な YCE 事業の火が消えぬよう十分に検討していただき、前に進めていかれることを祈ります。

- 山本委員長はあいさつをした。

(山本委員長)

- 今日のご参加いただきありがとうございました。未熟な委員長ではありましたが、皆さんの協力をいただき、長年の懸案事項についてある程度の結論を出させ

内部資料

ていただいたかと思います。実際の交換事業が出来なかったことは残念でしたが、様々な状況や環境から安心、安全を確保しながら行っていく事業という観点からみると、致し方ない判断だったかと思います。（一社）日本ライオンズの社員総会ではまだ承認されていませんが、執行理事会では承認を得ているという段階での発言として次年度の体制について若干触れさせていただきます。本年度までは協議会議長が、（一社）日本ライオンズの一年理事として各委員会の委員長となり、また日本ライオンズの常務理事として活動にかかわらせていただきました。私に限らず議長の皆様は大変多忙な年を過ごしてきました。その状況を改善するために次年度から（一社）日本ライオンズの体制が変わります。協議会議長であります一年目理事がそれぞれの委員会の副委員長として、その所属する委員会に携わり、二年目理事の時に委員長となり委員会の運営に携わるという体制になります。1年目に副委員長として委員会に携わることより、2年目にある程度、知識を持って委員長として委員会を運営するという流れにすることがどの委員会も有効であろうということで、先日の理事会で承認されました。次年度に限り、今年度の委員長が次年度も委員長をするという形になります。よって、次年度も私がこの YCE 委員会の委員長をさせていただくことになりますので、よろしくお願いします。

◎ 議事録作成人の指名

- 山本委員長は加藤委員（MD334）と吉川委員（MD335）を議事録作成人に指名した。

◎ 前回の要録の確認

- 山本委員長は前回の要録を確認した。

◎ 議案

1. （一社）日本ライオンズ YCE 委員会資料の改訂について

- 山本委員長は 2022 年 4 月 25 日に改訂した「幹事旅行代理店業務内容（例）」を含む「日本ライオンズ YCE 委員会資料」の統合版の確認を各委員に依頼した。

2. 過去 3 年間交換実績が無い国（地域）の扱いについて

- 山本委員長は過去 3 年間交換実績が無い国（地域）の取り扱いについて各委員の意見を求めた結果、現状維持との回答を得、次年度に申し送ることとした。
- 吉川委員（MD335）は、過去 3 年間交換実績が無い国（地域）の取り扱い関連にて、MD335 が担当する交渉通信窓口国について調査をした結果を報告した。

3. 海外交渉通信窓口業務について

- 山本委員長は加藤委員（MD334）に「海外交渉通信窓口業務」資料について説明を求め、加藤委員（MD334）はこの資料は MD334 の YCE 委員長引継ぎ資料で、参考資料として参照されたいとした。

4. その他

◎海外交渉通信窓口業務の情報共有について

- 藤川 MD333YCE 副委員長は MD333YCE 委員会において海外から来日の要望があった場合には交渉通信窓口担当 MD ではなく直接要望を受けた MD が交渉をしてはどうかとの意見があり、また、各 MD の YCE 担当事務局員間でも情報共有し

てはどうかとの意見があったと述べた。

- 高堂委員（MD332）は全日本レベルで業務を担当する仕組み作りを要望した。
- 加藤委員（MD334）は将来的に全日本レベルのコーディネーターを置き、運営する仕組み作りの提案をした。
- 山本委員長は各 MD の YCE 担当事務局員の情報共有ネットワークの構築や各事務局員が本委員会各委員をサポートする仕組み作りの必要性について言及し、次年度に申し送ることとした。

◎2023 年夏期交換について

- 藤川 MD333YCE 副委員長は 2023 年夏期交換実施について山本委員長に尋ね、山本委員長は次年度の本委員会会議で協議すると回答した。また、それに関連して、2022 年冬期交換については今年度の本委員会で次年度へ「中止」の申し送りをしたが、最終的には次年度の本委員会で決定する必要があると述べた。

◎派遣費用について

- 青木委員（MD330）は山本委員長に派遣費用について下記のように尋ねた。
 - 現在、MD330 は幹事旅行代理店である名鉄観光にフランスへの派遣費用を 20 万円代に抑えて提案するように依頼しているが、その場合、MD334 の担当のドイツへの派遣費用が 40 万円代、フランスへの派遣費用が 20 万円代となる可能性があるが同じヨーロッパ派遣でも大きく差がある状況でもよいのか？
- 山本委員長は上記、青木委員（MD330）の質問に下記のように回答した。
 - 従来、通信担当 MD とその MD の指定旅行代理店である幹事旅行代理店が協議の上、派遣費用を算定している。また、ヨーロッパ諸国担当の MD334 はこれまで各国への派遣が少人数であること、そして安心安全な派遣を条件として派遣費用を提案していると認識している。
- 加藤委員（MD334）は派遣費用について下記のように述べた。
 - 従来、派遣費用は幹事旅行代理店が提案する派遣費用について本委員会で内容を説明し承認している。よって、フランスへの派遣費用が 20 万円代にて提案されることは担当 MD の努力の結果であり、本委員会にて承認され決定されると認識している。
- 青木委員（MD330）は山本委員長に派遣費用算出条件の安心安全レベルについて、本委員会での統一した条件は必要ではなく、各 MD の判断でよいかと質問した。
- 山本委員長は上記の青木委員（MD330）の質問に対し、下記のように回答した。
 - 安心安全の統一した条件を決めることは困難である。これまで各 MD が積み上げてきた安心安全レベルがあり、それを維持した上で派遣費用を安く抑えることが出来るのであればよいと思う。今まで積み上げてきた安心安全レベルを下げてでも派遣費用を抑えたいということであれば、本委員会で協議すべきである。

◎来日生の旅行保険について

- 高橋委員（MD336）はコロナ禍における来日生の旅行保険について各委員の意見を求めた。
- 上記、高橋委員（MD336）の質問に対して、山本委員長は調べて回答するとした。

- 加藤委員（MD334）は来日生の旅行保険はその来日生が自分でかけることが原則であるが、それとは別に各 MD の判断で来日生に旅行保険をかけていると認識しているとした。
- 藤川 MD333YCE 副委員長は MD333 では YCE 事業に緊急事態対応費用として毎年 100 万円を積み立てていると述べた。
- 北委員（MD337）は MD337 も緊急事態対応費用を確保しており、また、来日生が自身でかけてくる旅行保険に加え、MD337 内各準地区が来日生に対して旅行保険をかけていると述べた。

◎（一社）日本ライオンズ YCE 委員会の立ち位置について

- 山本委員長は青木委員（MD330）から書面で届いた「（一社）日本ライオンズ YCE 委員会の立ち位置」について下記のように回答した。
 - 本委員会は各 MD 間の調整役と認識している。各 MD の YCE 委員長が各 MD を代表して本委員会の委員として参加し、各 MD から上程された、もしくは全日本レベルでの共通の認識や対応をしなければならない事由について本委員会で協議し、決定をしていくのが本委員会であると考えている。

◎（一社）日本ライオンズ委員会の会議要録の取り扱いについて

- 藤川 MD333YCE 副委員長は本年度、（一社）日本ライオンズ委員会会議要録が各 MD ガバナー協議会事務局に届いていない件について質問した。
- 上記の藤川 MD333YCE 副委員長の質問に対して、菅原（一社）日本ライオンズ事務総長は下記のように回答した。
 - 今年度、第一回（一社）日本ライオンズ理事会にて委員会会議要録は内部資料として委員会委員にだけ配信するとした。必要であれば各 MD の委員長である（一社）日本ライオンズ委員会委員はその資料を基に各 MD にて協議していただくようお願いをしている。
- 本委員会委員は YCE 事業実施、中止についてすみやかに各 MD ガバナー協議会に報告し協議する必要があるとして、本年度の本委員会は本委員会会議要録をすみやかに各 MD ガバナー協議会事務局に配信することを（一社）日本ライオンズに要望し、次年度に申し送ることとした。

◎YCE 事業実施、中止の決定プロセスについて

- 北委員（MD337）は本委員会で決議した YCE 事業実施もしくは中止についてすみやかに（一社）日本ライオンズ執行理事会、理事会に答申し、すみやかに各 MD に回答を伝えるよう山本委員長に要望した。

◎2023 年夏期交換実施について

- 吉川委員（MD337）は 2023 年夏期交換実施の可能性について各委員に尋ね、高橋委員（D336）は呼吸器科医師として種々条件はあるが交換実施の可能性はあるとした。

◎次年度本委員会会議の日程について

- 加藤委員（MD334）は 2023 年夏期交換実施の有無を早期に決定するため、次年度、本委員会の第一回会議を 7 月に開催することを提案した。

◎各 MD の取り組みについて

- 吉川委員 (MD335) は 335-B 地区は 2023 年夏季ユースキャンプに備え、2022 年 8 月 1 日～8 月 7 日まで日本人高校生を対象としたユースキャンプを開催すると報告した。
- 北委員 (MD337) は MD337 では 2 泊 3 日で 11 月 12 日～14 日まで YCE サポート研修会を開催予定であると報告した。
- 北委員 (MD337) は 337-D 地区はシンガポールのレオクラブ、シンガポール YCE・OB 生、337-D 地区のレオクラブと YCE・OB 生を集めウェブ交流会を開催した経験があるので、要望があれば海外の学生とのウェブ交流会のお手伝いすることが出来ると述べた。

◎本年度の振り返りについて

- 山本委員長は各委員に本年度の振り返りの感想を求め、各委員が本年度の振り返りと挨拶をし、村木専務理事の挨拶をもって本委員会を閉会した。

2022 年 6 月 22 日

議事要録作成人：

YCE 委員 (MD334) 加 藤 万 寿 夫

YCE 委員 (MD335) 吉 川 二 郎

2022～2023 年度
第 1 回 336 複合地区 YCE・国際関係・レオ委員会 議事録

開催日時：2022 年 7 月 7 日（木）16:00～17:30
開催場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局
岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F
TEL 086-234-0695

出 欠

2022-2023 年度 336 複合地区ガバナー協議会議長	池原 堅	欠
2022-2023 年度 336 複合地区ガバナー協議会副議長（B 地区ガバナー）	西尾 慎一	欠
2022-2023 年度 336 複合地区 YCE・国際関係・レオ委員会担当ガバナー		
2021-2022 年度 336 複合地区ガバナー協議会幹事（A 地区ガバナー）	蔵本 守雄	REAL
2022-2023 年度 336 複合地区 YCE・国際関係・レオ委員会副委員長		
2021-2022 年度 336 複合地区 YCE・国際関係委員会委員長	高橋 淳	REAL
2022-2023 年度 336 複合地区 YCE・国際関係・レオ委員会委員長		
2021-2022 年度 336-A 地区 YCE・国際関係委員会委員長	香川 洋二	WEB
2022-2023 年度 336-A 地区 YCE・国際関係・ライオンズレオ委員長	川田 博文	WEB
2021-2022 年度 336-B 地区 YCE・青少年健全育成	伊澤 新一	欠
2022-2023 年度 336-B 地区 YCE 青少年健全育成委員長	江原 忍	WEB
2021-2022 年度 336-C 地区 YCE・国際関係委員長	川西 和雄	REAL
2022-2023 年度 336-C 地区 YCE・国際関係委員長	藤井 一仁	REAL
2021-2022 年度 336-D 地区 YCE 委員長	瀧本 和宏	REAL
2022-2023 年度 336-D 地区 YCE 委員長	今川 和男	REAL

司会進行：336 複合地区 YCE 委員会委員長 高橋 淳

前担当ガバナー挨拶	
2021-2022 年度 336 複合地区ガバナー協議会幹事（A 地区ガバナー）	蔵本 守雄
2022-2023 年度 336 複合地区 YCE・国際関係・レオ委員会副委員長	

モントリオール国際大会で体験した状況から、新型コロナウイルス感染症に係る制限措置を考えると、やはり国際的な人の往来再開はまだ困難であると感じる。YCE 活動についても当面は無理ではないかと考える。

議 題 1.
マニュアル改訂の報告

高橋委員長より、資料に基づいて説明があった。
・コロナ禍、YCE 活動停滞中に日本レベルでマニュアルを時代に即したものに改訂した。
・334 複合地区（事務局：名古屋）のヨーロッパ交渉窓口が他複合地区へ振り分けられた。

議 題 2.
各地区活動報告

A 地区（2021-2022 年度 香川委員長）
・Zoom を利用してオンライン YCE を開催した。1 名 5000 円×6 名参加で支出は 30000 円。
・LINE グループを組み、各委員と情報共有を密に行い、今後の方向性が見い出せた。

A 地区（2022-2023 年度 川田委員長）
・YCE と国際関係委員会、レオ委員会、2 つの委員会で構成。
・四国 4 県在住外国人の方とキャンプの中で現在の国際情勢等についてセッションを行うかたちで交流を図りたい。また、アラートに特化し、炊出しとしてバーベキューを行い、調理、着火

方法等取り入れたい。

- ・各クラブにレオ組織を構築していただくことを依頼している。また、災害時に備えてアラートに特化したレオチームの組織化を働き掛けている。

B 地区 (2022-2023 年度 江原委員長)

- ・鳥取と岡山での引継ぎが難しい。中止である旨のみが連絡されている。鳥取では留学生受け入れを積極的に行っているクラブがあり、農作業を通しての交流等を独自に進めている。

C 地区 (2021-2022 年度 川西委員長)

- ・国内に滞在している留学生を対象に交流活動を実施しようと計画していたが実行出来ないままとなった。
- ・当面は SON への協力を行う。

C 地区 (2022-2023 年度 藤井委員長)

- ・現在は主に SON のトーチラン準備に携わっている。

D 地区 (2021-2022 年度 瀧本委員長)

- ・長門市出身伝説の家政婦志麻さん(ご主人がフランス人)に依頼し、フランス現地のシェフと学生をコーディネートしていただき、Zoom にてフランス郷土料理調理交流会を実施、高校生達と大変有意義時間を過ごした。

D 地区 (2022-2023 年度 今川委員長)

- ・瀧本前委員長からしっかり引き継ぎたい。

議 題 3.

2022～2023 年度冬期交換に関して

高橋委員長より下記話があった。

- ・2022～2023 年度冬期交換に関しては前年度委員会より中止の申し送りがされた。
- ・一般社団法人日本ライオンズの組織が今期変更され、前年度の理事(議長)が各委員会の委員長となり、今年度の理事(議長)が各委員会の副委員長となる。したがって YCE 委員会は MD334 山本前委員長が引き続き今期も YCE 委員長を留任する。
- ・モンリオールでコロナに感染し出国出来ないガバナーが 36 名の内 6 名、成田空港で陽性が判明した方が 3 名、成田空港をスルーした方が 1 名、3 分の 1 が感染、日本レベル、国際レベル役員の中にも感染者が多数いると聞いている。

議 題 4.

2022～2023 年度夏期交換の準備について

高橋委員長より下記話があった。

- ・2022～2023 年度夏期交換については、実施の可能性はあるのでとりあえず準備を進めたい。
- ・万が一来日生が予定通り帰国出来なかった時の為に、来日生受入クラブが保険をかけておくことを考慮する必要がある。
- ・日本からの派遣生についても現地で即座に使用可能な保険をスポンサークラブがかけるべきである。
- ・保険の問題をクリアすることも交換再開の重要な条件となる。

※キャンプローション：2020/10/15 開催 YCE 委員会(WEB)にて確認された。

開催年度	冬期	夏期	備考
2020～2021 年度	D	B,C	※冬期・夏期とも中止
2021～2022 年度	B	A,D	※冬期・夏期とも中止
2022～2023 年度	A	C,D	
2023～2024 年度	C	A,B	
2024～2025 年度			

⇒ キャンプローテーションについては、2020～2021 年度担当地区へ戻すことが仮決定された。
2023～2024 年度冬期以降については **2022～2023 年度夏期担当 B,C 地区** の状況を確認した後、本決定とする。

開催年度	冬期	夏期	備考
2022～2023 年度	中止予定	B,C	※2022～2023 年度は冬期中止の方向 ※担当地区は仮決定
2023～2024 年度	B	A,D	
2024～2025 年度	A	C,D	
2025～2026 年度	C	A,B	

その他

蔵本副委員長より、モントリオール国際大会での感染対策状況について報告があった。

閉会挨拶

2021-2022 年度 336 複合地区 YCE・国際関係委員会委員長
2022-2023 年度 336 複合地区 YCE・国際関係・レオ委員会委員長

高橋 淳

YCE 委員会はコロナの感染拡大状況と世界情勢に左右されるが、不測の事態についての対策を含め準備をお願いしたい。

議事録署名人：336 複合地区 YCE・国際関係・レオ委員会 委員長 高橋 淳
承認年月日：2022 年 7 月 15 日

高橋 淳

(一社日本ライオンズ アラート委員会) 会 議 要 録

作成日 2022 年 8 月 5 日

議 題	2022～2023 年度アラート準備会議			Zoom システムで開催
作 成 者	MD335 団 英男委員	開催日時	2022 年 8 月 5 日(金)15:00～16:35	
出 席 者	別紙参照 MD331 浅野班長 参加あり			

議 事

1. 山川アラート委員長挨拶

2. メンバー自己紹介

各自自己紹介と今期の抱負について発言した

3. 村木日本ライオンズ理事長挨拶

4. 今期アラート委員会について

山川委員長

- 年間スケジュールの報告依頼 各複合地区ガバナー協議会開催日及び委員会の開催
予定日を佐々木日本全域コーディネーターに報告
- アラート委員会の開催予定 委員会の開催は偶数月 (8・10・12・2・4・6 月)
6 月の委員会は 5 日までに開催したい
出席要請者は、アラート委員 (複合委員長) 以上とする
- 合同(全体)会議 会議の開催は奇数月 (9・11・3・5 月 7 月と 1 月は開催しない)
出席要請者は、各複合地区班長並びに副班長以上とする
- 情報交換のためのグループ LINE
 - ① 委員会用 (一社)JL アラート連絡網 2021～2022(現在のところ)……委員会連絡網
 - ② コミュニティ用 LIONS アラートコミュニティ……様々な意見交換など
- 今期より組織の変更があり、委員長は二年目となる理事が就任、副委員長は一年目の理事
が就任して、引き継ぎをスムーズにする
- 組織図を早急に確定、作成したい
⇒ 6 月に準備会議を開催して、7 月の社団理事会で承認されることでタイムラグを防げる
- アラート運営規則(社団社員総会で承認済み)を改正・見直しをする
- 行動マニュアルの策定を 10 月までに決定して、理事会→社員総会を経て発効させる
- ライオンズのプロトコールにアラートメンバーを加える件とともに、各複合地区、準地区の組織図

にもアラートメンバーを加えてもらえるよう複合地区、準地区に働きかける

- アラート委員会出向者にたいする委嘱状は次年度より社団の委員長が出すことが決まっているが、今期は社団理事長名で委嘱状を出してもらうことにしたい
- アラートフォーラムの開催 2023年2月を予定している 東西で開催したいが、今期は東で開催する 《MD332 が開催希望ありとのこと》
今期、東の複合(MD330～MD333)が集まり協議してはどうだろうかとの意見があった
- アラートセミナーは、各複合地区で開催されたい
- ライオンズ必携にアラート関係の情報を掲載してもらうことは可能か？
→今期の必携はすでに発効準備が終わっているため不可能である

依 頼 事 項

山川委員長 若林 MD333 班長 他

- 副班長まで含めたアラート委員会の名簿を作成中 各委員にチェックしてもらうためにメールで連絡を入れるので、確認、未記入の部分を記入の上、MD333 班長 L若林に返信を依頼
- LINE でも連絡を取れるようにしたい →緊急時は携帯電話がつながりにくいことがある
- 至急、班長、副班長の選任をガバナー協議会議長、地区ガバナーをお願いしてもらいたい
- 今期、アラート委員会の名刺は作らないので、個別に対応してもらいたい
- 現在発生している災害について報告

MD333 333-A 地区アラート委員長 L中田より

新潟ではまだ被災地に入ることができていない

→アラート委員会は、クラブ、地区から要請があってから社団が動くというルールがある

必要と判断した時は連絡をいただきたい

MD332 332-A 地区アラート班長 L 木村より

社協との連絡を密にして連絡体制は取れている

まずはライオンズメンバーの安否確認とそのサポートが大切である

次回委員会の確認

2022年8月 現段階では未定のため調整後各位に連絡をする

2022-2023 一般社団法人日本ライオンズ

アラート委員会準備会議【WEB】

日時：2022 年 8 月 5 日 15:00-17:00

場所：ZOOM システム

参加者リスト

アラート委員会委員長 山川 洋 (牛久茎崎 LC)
アラート委員会副委員長 吉本 晴夫 (藤沢中央 LC) 【欠席】

シニアアドバイザー 柿原 勝彦 (高槻 LC)
アドバイザー 森川 明次郎 (坂戸 LC)
アドバイザー 坂本 恵市 (松原 LC)

日本ライオンズ アラートチーム

東日本統括リーダー 橋本 修一 (郡山東 LC) 【欠席】
同 西日本統括リーダー 藤井 信英 (岡山みらい LC) 【欠席】

日本全域コーディネーター

佐々木健太 (吹田江坂 LC)

アラート委員

MD330 委員 大屋 保 (川越 LC)
MD331 委員 能澤 正明 (札幌トラスト LC)
MD332 委員 木川田 明弘 (仙台高砂 LC) 【欠席】
MD333 委員 中田 泰範 (新潟東 LC)
MD334 委員 西村 和之 (鯖江王山 LC)
MD335 委員 団 英男 (神戸みなと LC)
MD336 委員 高岡 英治 (松山湯築 LC)
MD337 委員 中田 隆洋 (沖永良部 LC)

委員長補佐・MD333 アラート班長

若林 純也 (水戸葵 LC)

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 村木秀之 (東京数寄屋橋 LC)
専務理事 山本基博 (恵那 LC)

以上

2022～2023 年度
336 複合地区第 1 回アラート委員会 次第
日 時：2022 年 8 月 17 日（水）13：30～15：30
場 所：岡山シティホテル桑田町別館 3F「302 会議室」
岡山市北区桑田町 3-30 TEL：086-221-0001

出 欠

役 職	氏 名	
336 複合地区ガバナー協議会議長	池原 堅	○
336 複合地区アラート委員会担当ガバナー(B 地区ガバナー)	西尾 慎一	欠
336 複合地区アラート委員会委員長	高岡 英治	○
336 複合地区アラート委員会副委員長	小野 宗次	○
一社) 日本ライオンズアラート委員会西日本統括リーダー 336 複合地区アラート委員会副委員長	藤井 信英	○
一社) 日本ライオンズアラート委員会 336 複合地区班長	畑中 隆之	○
一社) 日本ライオンズアラート委員会 336 複合地区副班長	田中 元	○
一社) 日本ライオンズアラート委員会 336 複合地区副班長 336-B 地区アラート実動部門実動リーダー	井上 哲孝	○
一社) 日本ライオンズアラート委員会 336 複合地区副班長 336-C 地区アラート実動部門実動リーダー	廿日出 一晴	○
一社) 日本ライオンズアラート委員会 336 複合地区副班長 336-D 地区アラート実動部門実動リーダー	吉村 あとむ	○
336-A 地区アラート運営部門運営リーダー	橋本 孝志	欠
336-B 地区アラート運営部門運営リーダー	眞治 憲之	○
336-C 地区アラート運営部門運営リーダー	徳毛 直文	○
336-D 地区アラート運営部門運営リーダー	青谷 和彦	○
336-A 地区アラート実動部門実動リーダー	出射 隆文	○

司会進行：一社) 日本ライオンズアラート委員会西日本統括リーダー
336 複合地区アラート委員会副委員長 藤井 信英

1. 開会挨拶 336 複合地区アラート委員会委員長 高岡 英治
2. 出席者紹介
3. 議長挨拶 336 複合地区ガバナー協議会議長 池原 堅
4. 議 題

①336 複合地区アラート規約（案）について 別添資料

②336 複合地区アラートフォーラム開催について

開催日時：2022 年 10 月 7 日（金）14：00～16：30

開催場所：杜の街グレース会議室 岡山市北区下石井 2-10-107

参加見込み数：336 複合地区内外 200～250 名を予定

準備・設営サポート：336 複合地区アラート委員会

募集方法：未定

登録料：未定

登録料集金方法：未定

懇親会：未定

会場費概算：ホール利用料 ¥204,600（6 ホール分 13：00～17：00）

冷暖房 ¥18,150 固定スクリーン ¥5,500 **計 ¥228,250**

5. 質疑応答
6. その他
7. 閉会挨拶